

Data Projector

取扱説明書 _____

JP

使用说明书 _____

CS

お買い上げいただきありがとうございます。



警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の
取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのう
え、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつ
でも見られるところに必ず保管してください。

VPL-CS6

VPL-CX6

VPL-EX1

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることもあり、危険です。

事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

4～9ページの注意事項をよくお読みください。

定期点検をする

5年に1度は、内部の点検を、お買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターにご依頼ください(有料)。

故障したら使わない

すぐに、お買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターにご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- ・ 煙が出たら
- ・ 異常な音、においがしたら
- ・ 内部に水、異物が入ったら
- ・ 製品を落としたりキャビネットを破損したときは



- ① 電源を切る。
- ② 電源コードや接続コードを抜く。
- ③ お買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターに連絡する。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながる可能性があります。



注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



注意



火災



感電



高温



破裂



指挟み

行為を禁止する記号



接触禁止



禁止



分解禁止



水ぬれ禁止



ぬれ手禁止

行為を指示する記号



指示



プラグをコンセントから抜く

目次

⚠ 警告	4
⚠ 注意	6
電池についての安全上のご注意	8
ランプについての安全上のご注意	9
設置時のご注意	10
設置に適さない場所	10
使用に適さない状態	11
高地で使用する場合	11

概要

本機の特長	12
各部の名称と働き	14
天面 / 前面 / 左側面	14
後面 / 右側面 / 底面	14
コントロールパネル	17
コネクターパネル	18
リモートコマンダー	19

設置・接続と投影

設置する	23
接続する	24
コンピューターを接続する	24
ビデオ機器 / 15k RGB/ コンポーネント機器を 接続する	26
メニュー表示言語を切り換える ..	28
スクリーンに画像を映す	30
プレゼンテーションに便利な 機能	37

メニューで行う調整と設定

メニューの操作方法	39
画質設定メニュー	41
信号設定メニュー	42
初期設定メニュー	44
メニュー設定メニュー	46
設置設定メニュー	47
情報メニュー	48

保守・点検

メンテナンス	49
ランプを交換する	49
エアフィルターの クリーニングについて	51
トラブル時の対処	52
警告メッセージ	55
注意メッセージ	56

その他

使用上のご注意	57
保証書とアフターサービス	59
仕様	59
索引	66



下記の注意を守らないと、火災や感電により死亡や大けがにつながる可能性があります。

電源コードを傷つけない



禁止

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- ・ 設置時に、製品と壁やラック(棚)などの間に、はさみんだりしない。
- ・ 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- ・ 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- ・ 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- ・ 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターに交換をご相談ください。

指定された電源コード、接続ケーブルを使う



注意

取扱説明書に記されている電源コード、接続ケーブルを使わないと、感電や故障の原因となることがあります。

内部を開けない



分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットや裏ぶたを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となることがあります。内部の調整や設定、点検、修理はお買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

レンズをのぞかない



禁止

投影中にプロジェクターのレンズをのぞくと光が目に入り、悪影響を与えることがあります。

内部に水や異物を入れない



禁止

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。

万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いて、お買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

排気口、吸気口をふさがない



禁止

排気口、吸気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。また、手を近づけるとやけどをする場合があります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- ・ 壁から 30cm 以上離して設置する。
- ・ 密閉された狭い場所に押し込めない。
- ・ 布などで包まない。
- ・ たてて使用しない。
- ・ プロジェクターの下に布や紙を敷かない。

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く



電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜く

天井への取り付け、移動は絶対に自分でやらない



禁止

天井への取り付け、移動は必ずお買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください（有料）。

天井の強度不足、取り付け方法が不十分のときは落下し大けがの原因となります。

プロジェクターの上に水が入ったものを置かない



禁止

内部に水が入ると火災や感電の原因となります

長時間の外出、旅行のときは、電源プラグを抜く



安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

プラグをコンセントから抜く

電源プラグおよびコネクターは突きあたるまで差し込む



指示

まっすぐに突きあたるまで差し込まないと、火災や感電の原因となります。

床置き、または天井つり金具を使った天井つり以外の設置をしない



禁止

それ以外の設置をすると火災や大けがの原因となることがあります。



下記の注意を守らないと、**けが**をしったり周辺の**物品**に損害を与えることがあります

不安定な場所に設置しない



禁止

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

ぬれた手で電源プラグにさわらない



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。

水のある場所に置かない



水ぬれ禁止

水が入ったり、濡れたり、風呂場などで使うと、火災や感電の原因となります。雨天や降雪中の窓際でのご使用や、海岸、水辺でのご使用は特にご注意ください。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や虫の入りやすい場所、直射日光が当たる場所、熱器具の近くに置かない。



禁止

火災や感電の原因となることがあります。

スプレー缶などの発火物や燃えやすいものを排気口やレンズの前に置かない。



禁止

火災の原因となることがあります。

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない



接触禁止

感電の原因となります。

アジャスター調整時に指を挟まない



指挟み

本機は、電源を入れると電動チルトアジャスターが自動的に伸張し、電源を切ると自動的に収納されます。電動チルトアジャスターの自動動作中はアジャスター付近に手や指などを近づけないでください。また、自動動作が終了した後、電動チルトアジャスターを調整する場合は、アジャスターに手などが触れないよう慎重に行ってください。電動チルトアジャスターに指を挟み、けがの原因になることがあります。

排気口周辺には触れない



高温

排気口周辺はランプの熱で温度が高くなっています。手などを触れると火傷の原因となります。特に本体の MENU キー、矢印キーを操作する場合は注意してください。

定期的 에어フィルターをクリーニングする



注意

約 300 時間使用したら、必ずエアフィルターのクリーニングをしてください。クリーニングを怠るとフィルターにごみがたまり、内部に熱がこもって火災の原因となることがあります。

定期的内部の掃除を依頼する



注意

長い間掃除をしないと内部にほこりがたまり、火災や感電の原因となることがあります。1 年に 1 度は、内部の掃除をお買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターにご依頼ください(有料)。特に、湿気の多くなる梅雨の前に掃除をすると、より効果的です。

運搬する際は、キャリングケースを使用する



注意

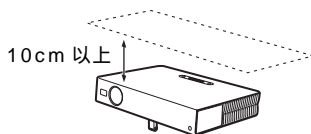
本機をキャリングケースに入れずに運搬すると、落下してけがの原因となることがあります。

本体上部には 10cm 以上の空間をあけて設置する



注意

本機は電動でチルトアジャスターが伸び、それに応じて本体の高さが高くなります。本体上部に十分な間隔をとって設置しないと、本体が設置された場所の上部の壁、棚などの間に手を挟み、けがの原因となることがあります。



電池についての安全上のご注意

ここでは、本機での使用が可能なソニー製乾電池についての注意事項を記載しています。

万一、異常が起きたら

- | | | |
|--------------------|---|-----------------------------------|
| ・ 電池の液が目に入ったら | → | すぐにきれいな水で洗い、ただちに医師の治療を受ける。 |
| ・ 煙が出たら | → | お買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターに連絡する。 |
| ・ 電池の液が皮膚や衣服に付いたら | → | すぐにきれいな水で洗い流す。 |
| ・ バッテリー収納部内で液が漏れたら | → | よくふき取ってから、新しい電池を入れる。 |



下記の注意事項を守らないと、破裂・発熱・液漏れにより、死亡や大けがなどの人身事故になることがあります。



- ・ 乾電池は充電しない。
- ・ 火の中に入れてない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- ・ 指定された種類の電池を使用する。



下記の注意事項を守らないと、破裂・液漏れにより、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。



- ・ 投げつけない。
- ・ 使用推奨期限内(乾電池に記載)の乾電池を使用する。
- ・ ⊕ と ⊖ の向きを正しく入れる。
- ・ 電池を入れたまま長期間放置しない。
- ・ 新しい電池と使用した電池は混ぜて使わない。
- ・ 種類の違う電池を混ぜて使わない。
- ・ 水や海水につけたり濡らしたりしない。

ランプについての安全上のご注意

プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。高圧水銀ランプには、つぎのような特性があります。

- ・衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などにより大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりすることがある。
- ・個体差や使用条件によって、寿命に大きなバラツキがある。指定の時間内であっても破裂、または不点灯状態になることがある。
- ・交換時期を越えると、破裂の可能性が高くなる。
「ランプを交換してください」というメッセージが表示されたら、ランプが正常に点灯している場合でも速やかに新しいランプと交換してください。



下記の注意を守らないと、**火災**や**感電**により**死亡**や**大けが**につながる可能性があります。



ランプ交換はランプが十分に冷えてから行う



電源を切った直後はランプが高温になっており、さわるとやけどの原因となることがあります。ランプ交換の際は、**電源を切ってから1時間以上**たって、十分にランプが冷えてから行なってください。



下記の注意を守らないと、**けが**をしたり**周辺**の**物品**に**損害**を与えることがあります。

ランプが破裂したときはすぐに交換を依頼する



動作中に大きな音が入って画像が映らなくなった場合は、ランプが破裂した可能性があります。ランプが破裂した際には、プロジェクター内部やランプハウス内にガラス片が飛散している可能性があります。すみやかに使用を中止し、**テクニカルインフォメーションセンターにランプの交換と内部の点検を依頼**してください。また、排気口よりガスや粉じんが出たりすることがあります。ガスには微量の水銀が含まれていますので、万が一吸い込んだり、目に入った場合は、けがの原因となることがあります。

お願い

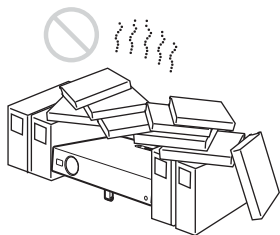
ソニーは**環境保全**のため、プロジェクターの**使用済みランプ**の回収を行なっています。使用済みのランプは、最寄りのソニーサービスステーションまたはお買い上げのソニー特約店までお持ちくださるよう、ご協力をお願いいたします。

設置時のご注意

設置に適さない場所

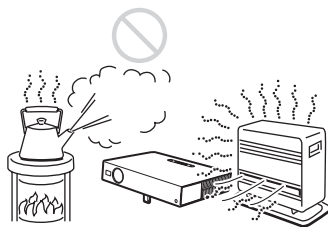
次のような場所には設置しないでください。本機の故障や破損の原因となります。

風通しが悪い場所



- ・ 吸気口および排気口は、内部の温度上昇を防ぐためのものです。風通しの悪い場所を避け、通風口をふさがないように設置してください。
- ・ 吸気口や排気口がふさがって、内部の温度が上昇すると、温度センサーが働き、「セット内部温度が高いです。1分後に LAMP オフします。」という警告メッセージが表示され、1分後に自動的に電源が切れます。
- ・ 本機の周囲から 30cm 以内には物を置かないようにしてください。
- ・ 吸気口には小さな紙などが吸い込まれやすいのでご注意ください。

温度や湿度が高い場所



温度や湿度が非常に高い場所や温度が著しく低い場所での使用は避けてください。

ほこりが多い場所

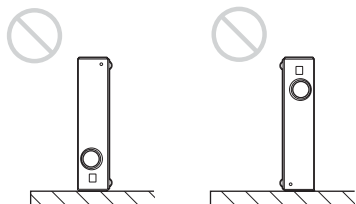


ほこりの多い場所での使用は避けてください。ちりやほこりの多い場所で使用すると、エアフィルターがつまりやすくなります。また、エアフィルターの汚れは、内部の温度が上昇する原因になるので定期的に掃除してください。

使用に適さない状態

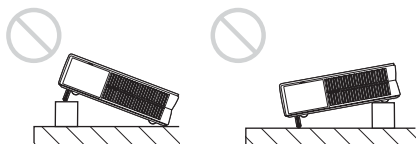
次のような状態では使用しないでください。

本機を立てて使用する



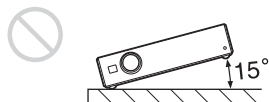
プロジェクターを立ててお使いになることは避けてください。故障の原因となります。

本機を極端に傾ける



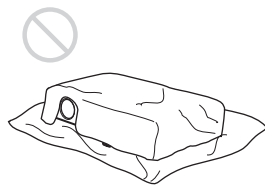
プロジェクターをアジャスターの範囲を超えて極端に傾けて設置すると、色むらやランプの寿命を著しく損ねる原因となることがあります。

本機を左右に傾ける



プロジェクターを 15 度以上傾けたり、床置きおよび天つり以外の設置でお使いになることは避けてください。色むらやランプの寿命を著しく損ねる原因となることがあります。

吸排気口を覆う



吸排気口をふさぐような覆いやカバーを使用しないでください。吸排気口がふさがれると、内部の温度が上昇します。

吸排気口の位置については、「各部の名称と働き」(14 ページ)をご覧ください。

高地で使用する場合

海拔 1500m 以上でのご使用に際しては、設置設定メニューの「高地モード」で設定を「入」にしてください。「切」のままご使用になりますと、部品の信頼性などに影響を与える恐れがあります。

ご注意

本機は精密機器です。本機をソフトケースに入れて持ち運ぶときは、衝撃を与えたり、落としたりしないでください。破損の原因となります。また、本機をソフトケースに収納する際には、電源コード及び全ての接続ケーブルを外し、付属品は付属品入れに入れて収納してください。

本機の特長

操作性の向上

インテリジェントオートセットアップ機能

電源ボタンを押すと、プロジェクターを使用する前に必要な設定が完了します。自動的にレンズプロテクターを開き、本体の傾きに応じて V キーストーン（垂直台形歪み）補正を行い、投影に最適な状態に調整します（インテリジェントオートセットアップ機能）。使用頻度が高いキーを天面に配置して、操作性を向上させました。

短焦点レンズ搭載（VPL-CS6/CX6のみ）

短焦点レンズの搭載により、限られたスペースでもより大画面で投射することができます。

様々な入力信号に対応

スキャンコンバーターを搭載

スキャンコンバーターを内蔵、入力された信号を 1024 × 768 ドット（VPL-CX6/EX1）、800 × 600 ドット（VPL-CS6）内にアップ/ダウンコンバートします。

対応入力信号

コンポジット、S ビデオ、コンポーネントのビデオ信号をはじめ、VGA、SVGA、XGA、SXGA¹⁾、SXGA+¹⁾ 信号を表示することができます。

6 つのカラー方式に対応

自動切り換えで NTSC、PAL、SECAM、NTSC_{4.43}²⁾、PAL-M、PAL-N の 6 つのカラー方式に対応します。

プレゼンテーションに便利な機能

手軽に外部機器を接続

あらかじめ 38 種類³⁾（VPL-CX6/EX1）の入力信号がプリセットされているので、付属のケーブル 1 本を接続するだけで、外部機器の映像を映すことができます。

本機をコンピューターと USB 接続することで、付属のリモートコマンダー⁴⁾をワイヤレスマウスとしてお使いいただけます。付属のアプリケーションソフトウェア（Projector Station⁵⁾）を使用して、Windows 98、Windows 98 SE、Windows ME、Windows 2000 および Windows XP を標準搭載したコンピューターからプロジェクターをコントロールすることができます。

1) SXGA、SXGA+ 信号は、VPL-CX6/EX1 のみに対応しています。

2) NTSC_{4.43} とは、NTSC 方式で録画されたビデオカセットを、NTSC_{4.43} 方式のビデオデッキで再生したときのカラー方式です。

3) VPL-CS6 は 25 種類

4) ワイヤレス対応のリモートコマンダーと USB ケーブルは、VPL-CS6/CX6 に付属しています。

5) アプリケーションソフトウェア（Projector Station）は、VPL-CX6 のみに対応しています。

手軽に操作できるリモートコマン ダー

画面上の希望の位置を拡大できる
D ZOOM キー、接続をはずしても投影
している画面をそのまま出し続けられ
る FREEZE キーなど、付属のリモート
コマンダーには便利なキーが装備され
ています。

メモリースティックスロット搭載 (VPL-CX6 のみ)

メモリースティックを使用して、コン
ピュータなしでも簡易プレゼンテー
ションが可能です。

高輝度・高画質映像

高輝度

ソニー独自の新規光学システムの採用
により高効率な光学システムを実現。
165W UHP ランプで 2000 ANSI
ルーメン (VPL-CX6) 1800 ANSI
ルーメン (VPL-CS6) 1500 ANSI
ルーメン (VPL-EX1) の投射光量を達
成しました。

高解像度

VPL-CX6/EX1:約 79 万画素のマイク
ロレンズ付き 0.7 インチ XGA 超高開
口パネルを 3 枚採用し、RGB 入力時
には、水平解像度 1024 ドット、垂直解
像度 768 ドットを、ビデオ入力時には、水
平解像度 750TV 本を実現しました。

VPL-CS6:約 48 万画素の 0.7 インチ
SVGA 超高開口パネルを 3 枚採用し、
RGB 入力時には、水平解像度 800 ド
ット、垂直解像度 600 ドットを、ビ
デオ入力時には、水平解像度 600TV
本を実現しました。

モバイルに最適

重さ約 2.7kg、B5 ファイルサイズで小
型で軽量、オフィスのインテリアにとけ
込むシンプルで美しいデザインを実現
しました。

持ち運びに便利で、コンピューターと一
緒に手軽に持ち運べます。

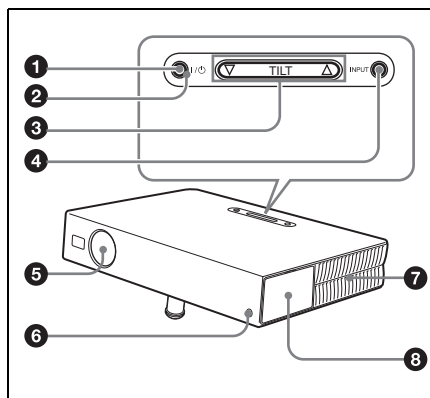
セキュリティロック

パスワードを設定すると、本機にセキュ
リティロックをかけることができます。

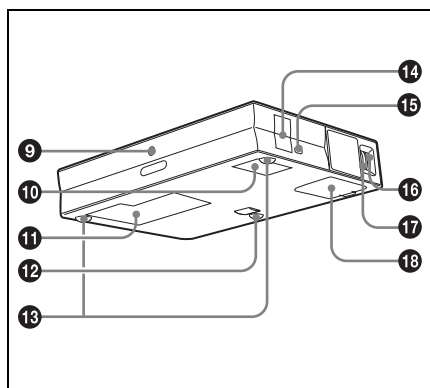
- Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- IBM PC/AT と VGA、SVGA、XGA、SXGA は米国 International Business Machines Corporation の登録商標です。
- Kensington は Kensington 社の登録商標です。
- Macintosh は Apple Computer 社の登録商標です。
- VESA は Video Electronics Standard Association の登録商標です。
- Display Data Channel は Video Electronics Standard Association の商標です。
- Memory Stick (メモリースティック) および  は、ソニー株式会社の商標です。

各部の名称と働き

天面 / 前面 / 左側面



後面 / 右側面 / 底面



- 1 I / O (オン / スタンバイ) キー
本体がスタンバイ状態のときに押すと、本体の電源が入り、I / O キー周囲の ON/STANDBY インジケータが緑色に点灯します。

電源を切るときは、画面の表示にしたがって I / O キーを 2 度押すか、I / O キーを約 2 秒押したままにしてください。

電源を切る手順について詳しくは、「電源を切る」(35 ページ) をご覧ください。

- 2 ON (電源) / STANDBY (スタンバイ) インジケータ (I / O キー周囲のインジケータ)

以下の状態のとき、点灯または点滅します。

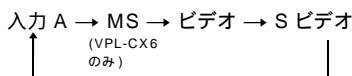
赤色に点灯: 電源コードをコンセントに差し込んだとき。この状態をスタンバイと呼び、I / O キーで電源を入れることができます。

緑色に点灯: 電源が入っているとき。
緑色に点滅: I / O キーで電源を切った後の約 90 秒間。(本機内部の温度を下げるために、約 90 秒間ファンが回り続けます。) はじめの 60 秒間は、ON/STANDBY インジケータが早い間隔で点滅します。この間は再び I / O キーを押してもランプを点灯させることはできません。

LAMP/COVER、TEMP/FAN インジケータについて詳しくは、55 ページをご覧ください。

③ TILT(チルト)傾き調整キー
詳しくは「電動チルトアジャスターの調整のしかた」(16ページ)をご覧ください。

④ INPUT(入力選択)キー
入力信号を選びます。押すたびに、映像信号が以下のように切り換わります。



⑤ レンズプロテクター(レンズカバー)
電源を入れると自動的に開きます。

⑥ 前面リモコン受光部

⑦ 排気口

⑧ コントロールパネル / コネクターパネル

詳しくは、「コントロールパネル」(17ページ)と「コネクターパネル」(18ページ)をご覧ください。

⑨ 後部リモコン受光部

⑩ 吸気口

⑪ 吸気口 / ランプカバー

⑫ 電動チルトアジャスター

⑬ アジャスター(後ろ足)
アジャスターを左右に回して、投影された画像の傾きを微調整します。

⑭ スピーカー

⑮ 盗難防止用ロック
市販の盗難防止用ケーブル(Kensington社製)などを接続することができます。

Kensington Web ページアドレス:
<http://www.kensington.com/>

⑯ フォーカスリング
画像のフォーカスを調整します。

⑰ ズームリング
画像の大きさ(ズーム)を調整します。

⑱ 吸気口 / エアーフィルターカバー
排気口 / 吸気口について

警告

- ・ 排気・吸気口をふさがないでください。排気・吸気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。
- ・ 排気口に手を触れたり、近くに物を置かないでください。排気口は高温になるので、やけどや火災の原因となることがあります。

ご注意

本機の性能を保持するために、約300時間ごとに必ずエアーフィルターのクリーニングを行ってください。

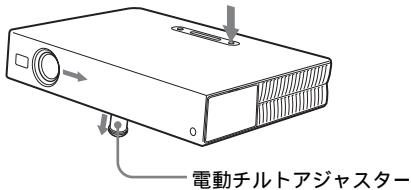
詳しくは、「エアーフィルターのクリーニングについて」(51ページ)をご覧ください。

電動チルトアジャスターの調整のしかた

プロジェクターの高さを調整するには以下の手順で調整します。

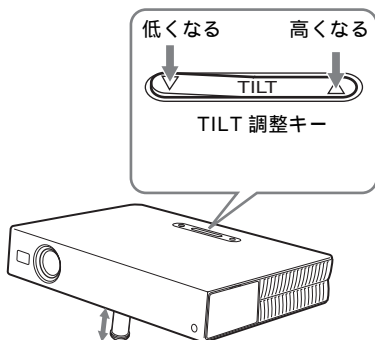
1 I / ⏻ キーを押す。

自動的にレンズプロテクターが開き、電動チルトアジャスターが立ち上がります。前回の調整時と同じ位置で止まります。



2 TILT調整キーの△または▽を押して、プロジェクターの傾きを調整する。

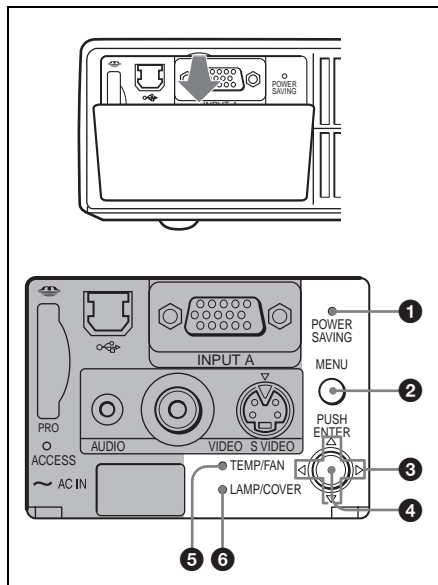
リモートコマンドーのKEYSTONEキー(VPL-CS6/CX6)またはD KEYSTONEキー(VPL-EX1)を押して、傾き調整メニューを表示し、↑/↓/←/→キーで調整することもできます。



ご注意

- ・電動チルトアジャスターを調整するときは、手をはさまないようにしてください。
- ・電動チルトアジャスターを出した状態で、プロジェクターを上から強くおさえないでください。故障の原因になります。

コントロールパネル



① POWER SAVING(節電モード)インジケータ

節電モード時に点灯します。初期設定メニューの「パワーセービング」を「入」に設定し、本体に信号が入力されない状態が10分以上続くと節電モードになり、ランプが消え、ファンが回り続けます。節電モードは、信号が入力されたり、キー操作をすると解除されます。ただし、節電モードに入りランプが消えた直後から60秒間はすべてのキーを受け付けません。

② MENU(メニュー)キー

メニューを画面に表示したいときに押します。もう1度押すとメニューは消えます。

③ Δ/▽/◀/▶(矢印)キー

メニューに表示されるカーソルを動かすとき、メニュー項目の数値を変えるときに使います。

④ ENTER(確定)キー

メニューの設定項目を確定するときに押します。

⑤ TEMP(温度)/FAN(ファン)インジケータ

以下の状態のとき、点灯または点滅します。

TEMP(温度)/FAN(ファン)インジケータについて詳しくは、55ページをご覧ください。

点灯: プロジェクター内部の温度が上がったとき。

点滅: ファンが故障したとき。

⑥ LAMP(ランプ)/COVER(カバー)インジケータ

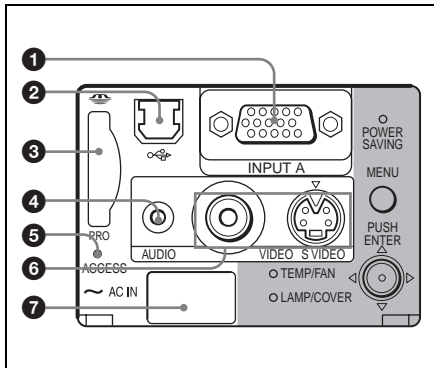
以下の状態のとき、点灯または点滅します。

LAMP(ランプ)/COVER(カバー)インジケータについて詳しくは、55ページをご覧ください。

点灯: ランプの交換時期がきたとき、またはランプの温度が高いとき。

点滅: ランプカバーがはずれているとき、またはエアフィルターが正しく装着されていないとき。

コネクターパネル



- ① INPUT A (入力 A) 端子 (HD D-sub 15 ピン、メス)**
コンピュータなどの映像を入力します。
コンピュータのモニター出力端子に付属のケーブルで接続します。
別売りの接続ケーブルを使用するとコンポーネント信号や 15k RGB 信号を入力することもできます。

詳しくは、「15k RGB/ コンポーネント機器を接続する場合」(27 ページ)をご覧ください。

- ② USB 端子 (USB プラグ、アップストリーム用、4 ピン)**
コンピュータの USB 端子と接続します。
コンピュータと本機を接続すると、コンピュータのマウスを付属のリモートコマンダーから操作できます。(VPL-EX1 をご使用の場合には、別売りのリモートコマンダーが必要になります。) また、付属のアプリケーションソフトウェア (VPL-CX6 のみ) は、この端子につないだ

コンピュータにインストールして使用します。

- ③ メモリースティックスロット (VPL-CX6 のみ)**
メモリースティックを挿入します。
メモリースティック以外のもの (異物) を入れないでください。

詳しくは、別冊の「メモリースティック編」をご覧ください。」

- ④ AUDIO (音声入力) 端子 (ステレオミニジャック)**

コンピュータからの音声を聞くときは、コンピュータの音声出力端子と接続します。

ビデオデッキなどの音声を聞くときは、ビデオデッキなどの音声出力端子と接続します。

- ⑤ アクセスランプ (VPL-CX6 のみ)**
メモリースティックにアクセス中に点灯します。

アクセスランプ点灯中は、メモリースティックを抜かないでください。

- ⑥ ビデオ入力端子**
ビデオデッキなどの映像を入力します。

VIDEO 端子 (ピンジャック):

ビデオデッキなどの映像出力端子と接続します。

S VIDEO 端子 (ミニ DIN4 ピン):

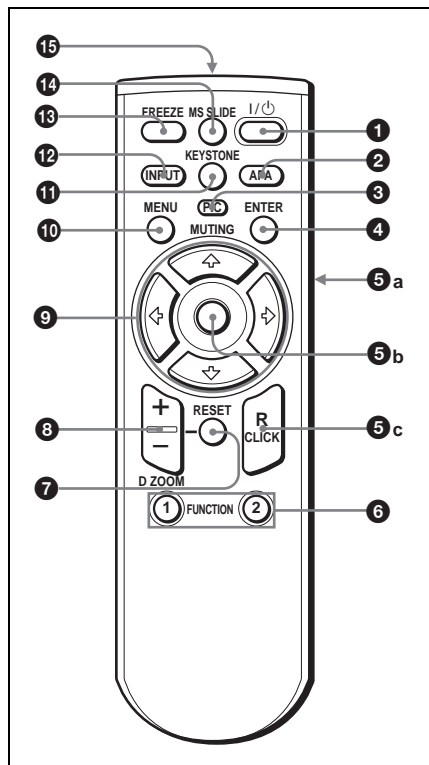
ビデオデッキなどの S 映像出力端子と接続します。

- ⑦ AC IN (電源コンセント)**
付属の電源コードを接続します。

リモートコマンダー

本体のコントロールパネルと同じ名前のキーは本体と同じ働きをします。

VPL-CS6/VPL-CX6 用



- ① I/O (オン / スタンバイ) キー
- ② APA (Auto Pixel Alignment) キー
コンピューターから信号を入力している際に、自動的にくっきり見える位置を得るために押します。初期設定メニューの「スマート APA」が「切」に設定されているときなどに使います。通常は「入」に設定されています。

ご注意

- ・APA キーは、スクリーンいっぱいに画像が映っているときに押してください。画像のまわりに黒い部分が映っている状態で押すと、正しく APA 機能が働かず、画像がスクリーンからはみだしてしまうことがあります。
- ・調整中にもう 1 度 APA キーを押すと、調整が取り消され、元の状態に戻ります。
- ・信号によっては、正しく調整されないことがあります。
- ・画質を手動で調整するときは、信号設定メニューの「ドットフェーズ」、「水平サイズ」、「シフト」の調整をしてください。

- ③ PIC MUTING (ピクチャーミュート) キー
映像を一時的に消すとき使います。もう一度押すと解除されます。
- ④ ENTER (確定) キー
- ⑤ コンピューターのマウス操作に関するキー
 - a) L CLICK (左クリック) (後面) キー: マウスの左ボタンの働きをします。
 - b) ジョイスティック
 - c) R CLICK: (右クリック) キー: マウスの右ボタンの働きをします。

ご注意

プロジェクター本体とコンピュータが USB ケーブルで接続されている場合に、コンピュータのマウスボタンとして働きます。詳しくは、「コンピューターを本機のリモートコマンダーから操作するには」(33 ページ)をご覧ください。

- ⑥ FUNCTION 1、2 (ファンクション 1、2) キー (VPL-CX6 のみ)
付属のアプリケーションソフトウェアを使って、あらかじめ任意のファイルファンクションキーに登録しておく、このキーを押すだけでファイルを開くことができます。

付属のアプリケーションソフトウェアについて詳しくは、アプリケーションソフトウェアに付属の Read me ファイルおよびヘルプをご覧ください。

ご注意

この機能をお使いになるときは、プロジェクターとコンピュータを USB ケーブルで接続してください。

詳しくは、「IBM PC/AT 互換機を接続する場合」(25 ページ)をご覧ください。

- ⑦ RESET (リセット) キー
メニューをリセットしたり、調整した項目の調整値を初期設定状態に戻すとき、ズームした画像を一度で元の大きさに戻すとき使います。
メニュー画面、または項目を調整中 (画面に表示中) に働きます。

- ⑧ D ZOOM (デジタルズーム) + / - キー
画面上の希望の位置を拡大することができます。(デジタルズーム機能)
+ キー: + キーを 1 度押すと、拡大する位置を示すアイコンが表示されます。↑/↓/←/→ キーを使って拡大したい位置にアイコンを移動し、もう 1 度 + キーを押すと、画像が拡大されます。
- キー: - キーを押すと、D ZOOM + キーで拡大した画面が縮小されます。

- ⑨ ↑/↓/←/→ (矢印) キー

- ⑩ MENU (メニュー) キー

- ⑪ KEYSTONE (台形補正) キー
プロジェクターの傾き調整と台形補正を手動で調整するとき使います。押す度に、傾き調整メニューと台形補正メニューが交互に表示されます。↑/↓/←/→ キーを使って調整します。

- ⑫ INPUT (入力選択) キー

- ⑬ FREEZE (フリーズ) キー
投影している画面を静止させます。解除するには、もう 1 度押します。

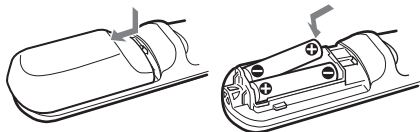
- ⑭ MS SLIDE (メモリースティックスライド) キー (VPL-CX6 のみ対応)
スライドショーを実行したいとき押します。入力が MS 以外のときは、入力が MS に切り換わり、再度押すとスライドショーを実行します。

15 リモートコマンダー発光部

電池の入れかた

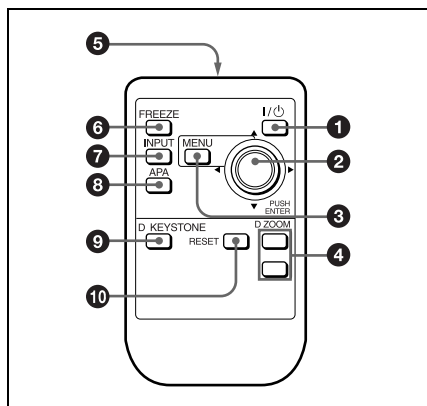
- 1 ふたをはずし、⊕ と ⊖ の方向を確認して単 3 形 (R6) 乾電池 2 個 (付属) を入れる。

上から押してスラ必ず ⊖ 極側から電池を
イドさせる。入れてください。



- 2 ふたを閉める。

VPL-EX1 用



- 1 I / ⏻ オン / スタンバイ キー
- 2 ENTER (確定) ↑ / ↓ / ← / → (矢印) キー
ENTER 機能を使うときは、キーのまん中を押します。
- 3 MENU (メニュー) キー

- 4 D ZOOM (デジタルズーム) + / - キー

画面上の希望の位置を拡大することができます。(デジタルズーム機能)

+ キー: + キーを 1 度押すと、拡大する位置を示すアイコンが表示されます。↑ / ↓ / ← / → キーを使って拡大したい位置にアイコンを移動し、もう 1 度 + キーを押すと、画像が拡大されます。

- キー: - キーを押すと、D ZOOM + キーで拡大した画面が縮小されます。

- 5 リモートコマンダー発光部

- 6 FREEZE (フリーズ) キー

投影している画面を静止させます。解除するには、もう 1 度押します。

- 7 INPUT (入力選択) キー

- 8 APA (Auto Pixel Alignment) キー

コンピューターから信号を入力している際に、自動的にくっきり見える位置を得るために押します。初期設定メニューの「スマート APA」が「切」に設定されているときなどに使います。通常は「入」に設定されています。

- 9 D KEYSTONE (デジタル台形補正) キー

プロジェクターの傾き調整と台形補正を手動で調整するとき使います。押す度に、傾き調整メニューと台形補正メニューが交互に表示されます。↑ / ↓ / ← / → キーを使って、角度の調整をします。

10 RESET(リセット)キー

メニューをリセットしたり、調整した項目の調整値を初期設定状態に戻すとき、ズームした画像を一度で元の大きさに戻すとき使います。

メニュー画面、または項目を調整中(画面に表示中)に働きます。

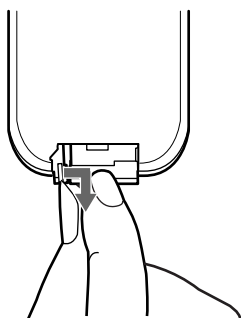
リモコンを使用する前に

電池部の透明フィルムを引き抜いてください。

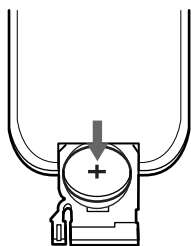
リチウム電池を交換するには

1 リチウム電池入れを引き出す。

つまんでロックをはずしながら手前に引いてください。



2 リチウム電池をはめ込む。



3 リチウム電池入れを差し込む。

リチウム電池についてのご注意

- ・ボタン型電池を誤って飲み込むことのないよう、リモートコマンダーおよび電池は幼児の手の届かないところに置いてください。
- ・万一電池を飲み込んだ場合には、直ちに医師と相談してください。

電池についての安全上のご注意



8 ページの「電池についての安全上のご注意」をよくお読みください。

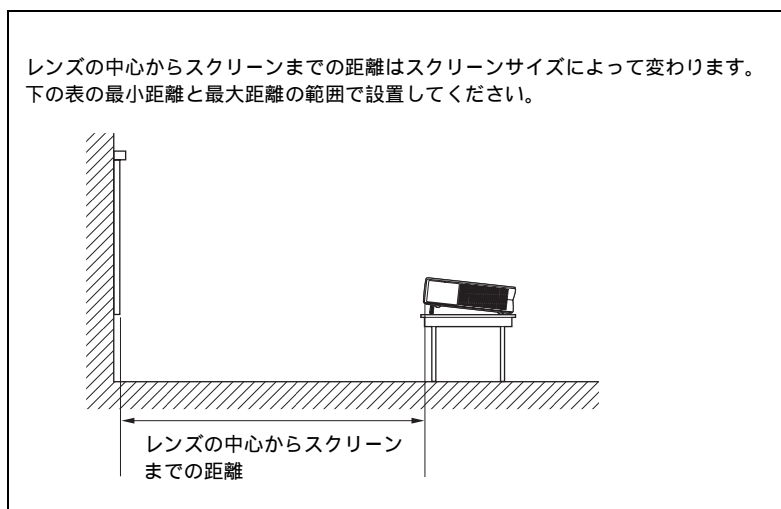
リモートコマンダーが正常に働かなかったら、電池を交換してください。

リモートコマンダーのご注意

- ・リモートコマンダーと本体のリモコン受光部の間に障害物があると、操作できないことがありますので、本機の前後にあるリモコン受光部に向けてリモートコマンダー - を操作してください。
- ・リモートコマンダーで操作できる範囲は限られています。本体に近いほど、操作が可能な角度が広がります

設置する

本機の設置方法を説明します。



VPL-CS6/VPL-CX6

単位:m

スクリーンサイズ(インチ)		40	60	80	100	120	150
距離	最小	1.2	1.9	2.5	3.2	3.8	4.7
	最大	1.5	2.3	3.0	3.8	4.6	5.7

(設計値のため多少の誤差があります。)

VPL-EX1

単位:m

スクリーンサイズ(インチ)		40	60	80	100	120	150
距離	最小	1.5	2.3	3.1	3.9	4.7	5.9
	最大	1.9	2.9	3.8	4.8	5.7	7.2

(設計値のため多少の誤差があります。)

ご注意

天つりでご使用になる場合は、お買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください(有料)。

接続する

接続するときは

- ・ 各機器の電源を切った状態で接続してください。
- ・ 接続ケーブルは、それぞれの端子の形状に合った正しいものを選んでください。
- ・ プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は画像の乱れや雑音の原因になります。抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。

接続図は次ページ以下をご覧ください。

コンピューターを接続する

ここではコンピューターを本機に接続する方法を説明します。

接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

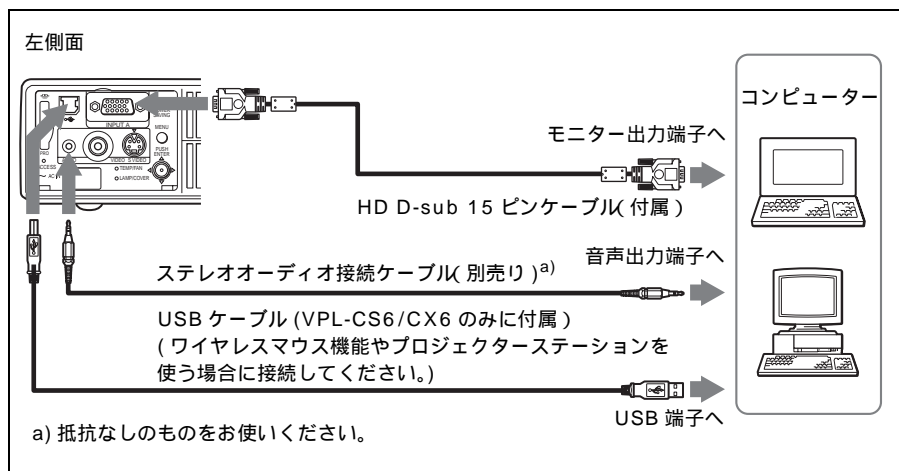
ご注意

- ・ 本機は、VGA、SVGA、XGA、SXGA(VPL-CX6/EX1 のみ)、SXGA+ (VPL-CX6/EX1 のみ) 信号に対応していますが、接続するコンピューターの外部モニターの出力信号を XGA(VPL-CX6/EX1) または SVGA(VPL-CS6) に設定することをおすすめします。
- ・ ノート型のコンピューターなどで、出力信号をコンピューターの液晶ディスプレイと外部モニターの両方に出力するように設定すると、外部モニターに正しく映像が出ない場合があります。この場合は、外部モニターにのみ信号が出力されるように、コンピューターを設定してください。

詳しくは、お使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

- ・ 本機は DDC2B (Display Data Channel 2B) に対応しています。お使いのコンピューターが DDC に対応している場合は以下の手順に従って電源を入れてください。
 - 1 プロジェクターとコンピューターを付属の HD D-sub 15 ピンケーブルで接続する。
 - 2 プロジェクターの電源を入れる。
 - 3 コンピューターを起動する。

IBM PC/AT 互換機を接続する場合



USB 機能について

USB ケーブルを使ってプロジェクターとコンピューターを初めて接続すると、以下のデバイスがコンピューターに自動認識されます。

- 1 汎用 USB ハブ (VPL-CX6 のみ)
- 2 USB ヒューマンインターフェースデバイス(ワイヤレスマウス機能)
- 3 USB ヒューマンインターフェースデバイス(プロジェクターコントロール機能)(VPL-CX6 のみ)

推奨動作環境

USB 機能を使用する場合は、上の図のように USB ケーブルを接続してください。アプリケーションソフトウェアおよび USB 機能は、Windows 98、Windows 98 SE、Windows ME、Windows 2000 および Windows XP を標準搭載したコンピューター上でご使用いただけます。

ご注意

- 本機とコンピューターを USB ケーブルで接続したままコンピューターを起動させると、正しく起動しない場合があります。その場合は、一度接続を外し、コンピューターを再起動してから、USB ケーブルを接続してください。
- 本機はサスペンド・スタンバイモードを保証していません。サスペンド・スタンバイモードを行うときは、本機を USB ポートから外してください。
- VPL-EX1 でワイヤレスマウス機能を使用する場合は、別売りのリモートコマンダーと USB ケーブルが必要です。

- ・推奨環境のすべてのコンピューターについて、動作を保証するものではありません。

Macintosh を接続する場合

ビデオ出力端子のピン配列が2列タイプのものを接続する場合は、市販のアダプターをご使用ください

また、USB 機能に対応している Macintosh の場合は、USB ケーブルを接続するとワイヤレスマウス機能を使うことができます。

ご注意

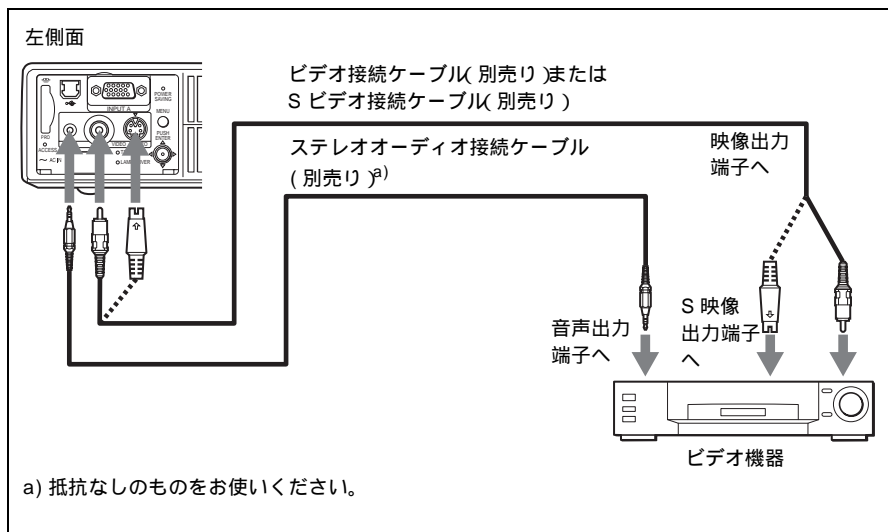
付属のアプリケーションソフトウェアは、Macintosh には対応していません。

ビデオ機器 / 15k RGB/ コンポーネント機器を接続する

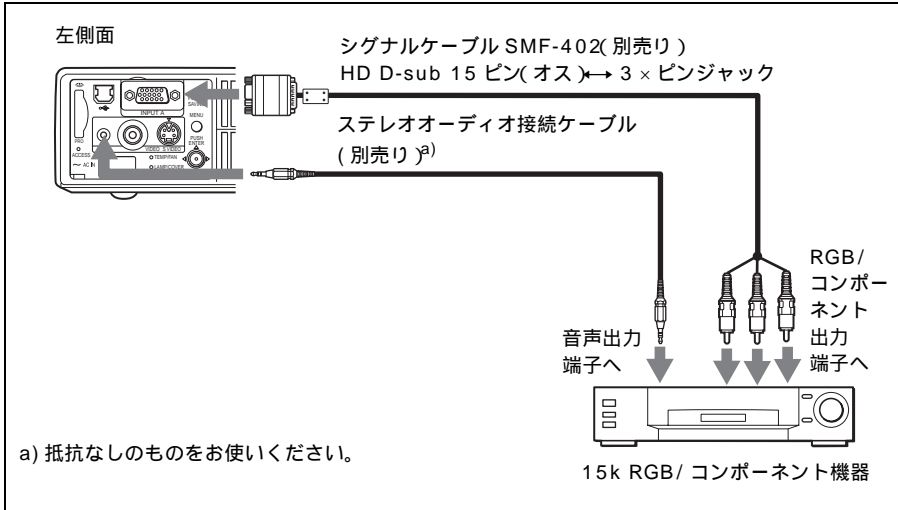
ここではビデオ機器や、15k RGB/ コンポーネント機器を本機に接続する方法を説明します。

接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ビデオ機器を接続する場合



15k RGB/ コンポ - ネット機器を接続する場合

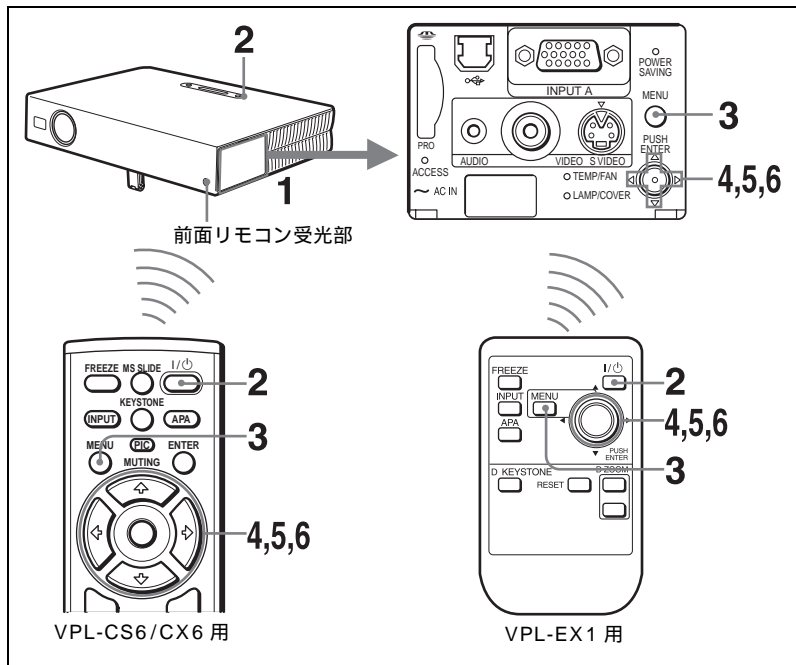


ご注意

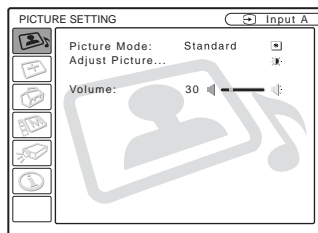
- 入力する信号に応じて、信号設定メニューの「ワイドモード」を設定してください。
- 15k RGB 機器を接続する場合は初期設定メニューの「入力 A 信号種別」をビデオ GBR に、15k コンポーネット機器を接続する場合はコンポーネットに切り換えてください。
- 15k RGB/ コンポーネット信号を外部同期信号で入力する場合は、複合同期信号にしてください。

メニュー表示言語を切り換える

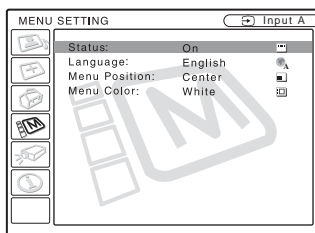
メニュー画面やメッセージの表示言語を 13 言語の中から選ぶことができます。お買い上げ時は「English」(英語) に設定されています。表示言語を変更したいときは、以下の手順で変更します。



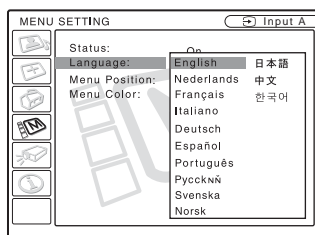
- 1 コネクターパネルを開け、電源コードをコンセントに差し込む。
- 2 I/ \odot キーを押して、電源を入れる。
- 3 MENU キーを押す。
メニュー選択画面が表示されます。
現在選択されているメニュー - が黄色いボタンで表示されます。



- 4 ↑または↓キーを押して MENU SETTING (メニュー設定) メニューを選び、→または ENTER キーを押す。
選んだメニューの設定項目が表示されます。



- 5 ↑または↓キーを押して「Language」(表示言語)を選び、→または ENTER キーを押す。



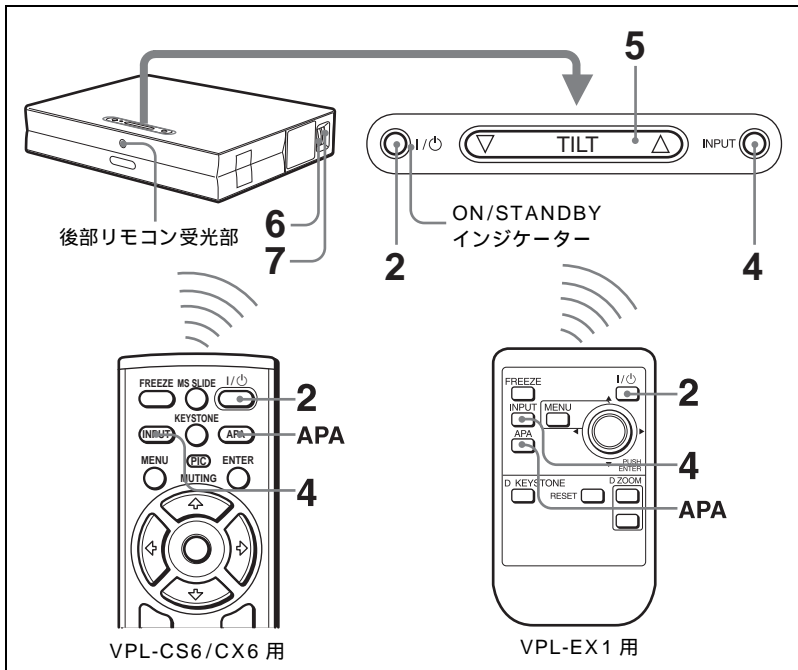
- 6 ↑、→、←、↓キーを押して表示させたい言語を選び、ENTER キーを押す。
画面表示が、選んだ言語に切り換わります。

メニュー画面を消すには

MENU キーを押す。

約 1 分間操作をしない場合もメニューは自動的に消えます。

スクリーンに画像を映す




- 1 コネクターパネルを開け、電源コードをコンセントに差し込み、各機器の接続をする。
ON/STANDBY インジケーターが赤色に点灯し、スタンバイ状態になります。

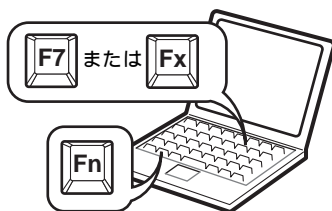
- 2 I / ⏻ キーを押して、電源を入れる。
ON/STANDBY インジケーターが緑色に点灯し、インテリジェントオートセットアップ機能が働きます。レンズプロテクターが開き、電動チルトアジャスターが立ち上がり、前回の調整時と同じ位置(傾き)で止まります。

ご注意

電源を入れるとスタートアップ画面が投影されます (VPL-CX6 のみ)。
スタートアップ画面について詳しくは、別冊の「メモリースティック編」をご覧ください。

3 接続した機器の電源を入れる。

ノートタイプや液晶一体型のコンピューターを接続したときには、キー(LCD/VGA、) など) や設定によって映像信号の出力先を切り換える必要のあるものがあります。



4 INPUT キーを押して投影する機器を選ぶ。





投影する機器	画面の表示
コンピューターなど(入力 A 端子につないだ機器)	入力 A
メモリスティック(メモリスティックスロットに装着した場合)(VPL-CX6 のみ)	MS
ビデオ機器(VIDEO 端子につないだ機器)	ビデオ
ビデオ機器(S VIDEO 端子につないだ機器)	S ビデオ

スマート APA(Auto Pixel Alignment)が働き、接続されている機器の画像をくっきりと調整します。

ご注意

- ・オート入力サーチが「入」に設定されていると、接続されている機器の信号を自動的にサーチし、入力信号のあるチャンネルを表示します。詳しくは、初期設定メニューの「オート入力サーチ」(45 ページ)をご覧ください。
- ・スマート APA は、コンピューター信号入力時のみ働きます。

5 TILT 調整キーを押して画像の位置を調整する。

リモートコマンダーの KEYSTONE キー(VPL-CS6/CX6) または D KEYSTONE キー(VPL-EX1) を押して傾き調整メニューを表示し、
/// キーで調整することもできます。

TILT 調整キーについて詳しくは、「電動チルトアジャスターの調整のしかた」(16 ページ)をご覧ください。

ご注意

電動チルトアジャスターを TILT 調整キーで調整すると、オートキーストーン補正が自動的に働きます。オートキーストーン補正を実行したくない場合は、設置設定メニューの V キーストーンを「マニュアル」に設定します。(47 ページ参照)

6 ズームリングを動かして、画像の大きさを調整する。

7 フォーカスリングを動かして、フォーカスを調整する。

ご注意

V キーストーン補正の自動調整は、室温やスクリーンの傾きなどにより適正な補正が得られない場合があります。この場合は、マニュアルで調整を行います。画面に「V キーストーン」が表示されるまでリモートコマンダーの KEYSTONE キー(VPL-CS6/CX6) または D KEYSTONE キー(VPL-EX1) を押して、↑/↓/←/→ キーで値を調整してください。調整された値は電源を切るまで有効です。

注意

投影中にレンズをのぞくと光が目に入り、人体に悪影響を与えることがあります。

インテリジェントオートセットアップ機能を手動調整に切り換えるには

インテリジェントオートセットアップの以下の機能は、メニュー操作で手動に切り換えることができます。

- ・ **V キーストーン補正 (垂直台形補正)**
設置設定メニューの「V キーストーン」を「マニュアル」に設定する。
- ・ **スマート APA (Auto Pixel Alignment)**
初期設定メニューの「スマート APA」を「切」に設定する。
- ・ **オート入力サーチ**
初期設定メニューの「オート入力サーチ」を「切」に設定する。
メニュー操作について詳しくは、「メニューの操作方法」(39 ページ) をご覧ください。

音量を調節するには

音量はメニュー画面で調節することができます。画質設定メニューの「音量」(41 ページ) をご覧ください。



映像を一時的に消すには (VPL-CS6/CX6 のみ)

リモートコマンダーの PIC MUTING キーを押してください。再び映像を出すには、もう一度 PIC MUTING キーを押します。

コンピュータを本機のリモートコマンダーから操作するには

IBM PC/AT 互換機を本機に USB 接続すると、本機のリモートコマンダーからコンピュータのマウス機能を操作することができます。R CLICK キーと L CLICK キー、ジョイスティックは以下のように働きます。USB 接続について詳しくは、「IBM PC/AT 互換機を接続する場合」(25 ページ) をご覧ください。

キー	機能
R CLICK(前面)	右ボタン
L CLICK(後面)	左ボタン
ジョイスティック	マウスの動きに対応

ご注意

リモートコマンダーと本体のリモコン受光部の間に障害物があると、操作できないことがあります。

セキュリティロックをかけるには

- 1 MENU キーを押して設置設定メニューの「セキュリティロック」を「入」にする。
- 2 パスワードを入力する。
MENU、←/→/↑/↓/、ENTER の 6 つのキーを使用して 4 桁のパスワードを入力してください。
(出荷時には「ENTER, ENTER, ENTER, ENTER」が設定されています。)



次に新しいパスワードの入力画面が表示されます。
(現在のパスワードと同じで良い場合でも、ここで入力してください。)

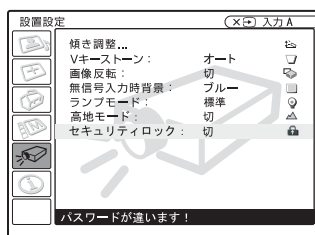
パスワードを入力画面に入れる。



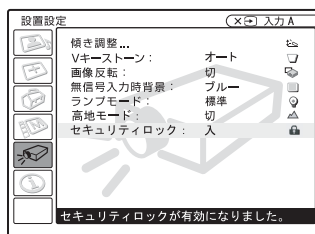
3 確認の為もう一度パスワードを入力する。



間違えたパスワードを入力した場合、「パスワードが違います！」というメッセージが MENU 画面に表示されます。



4 セキュリティロックが完了しました。



ご注意

- パスワードを忘れてしまったり、パスワード管理者が不在の場合、プロジェクトを使用することができなくなります。この機能をご使用の場合は予め以上のことをご承知のうえお使いください。設定したパスワードはメモなどに残すことをお勧めします。

- ・セキュリティロックをかけた後に主電源をぬくと、次に電源を入れるときにパスワードの入力画面が表示されます。設定されているパスワードを入力してください。パスワードの入力に3回続けて失敗すると、これ以降の操作ができません。その場合、I / ⏻ キーを押し、電源を切ってください。
- ・2、3の手順において正しいパスワードが入力されなかったり、MENU、← / → / ↑ / ↓、ENTER キー以外のキーが入力された場合セキュリティロックは設定されません。
- ・パスワードを忘れてしまったためテクニカルインフォメーションセンターへお問い合わせをするときは、シリアル番号とお客様の確認が必要になります(国によって異なる)。お客様の確認ができるとパスワードをご案内致します。

電源を切る

1 I / ⏻ キーを押す。

「パワーオフしますか?もう一度I / ⏻ キーを押してください。」というメッセージが表示されます。

ご注意

確認のメッセージはI / ⏻ キー以外のキーを押すか、5秒間何もキーを押さないと消えます。

2 I / ⏻ キーを再び押す。

電動チルトアジャスターが本体に収納され、レンズプロテクターが閉まります。ON/STANDBY インジケーターが緑色に点滅し、本機内部の温度を下げるために、ファンが約90秒間回り続けます。はじめの60秒間は早い間隔で点滅します。この間は再びI / ⏻ キーを押しても、再度ランプを点灯させることはできません。

3 ファンが止まり、ON/STANDBY インジケーターが赤く点灯するのを確認してから、電源コードを抜く。

画面のメッセージを確認できない場合は

状況により画面のメッセージを確認できない場合は、手順1、2の操作のかわりにI / ⏻ キーを約2秒押したままにしても電源を切ることができます。

ご注意

ファンが回っている間は、電源コードを抜かないでください。本機内部の温度が充分下がらないうちにファンが止まるため、故障の原因となることがあります。

エアフィルターについて

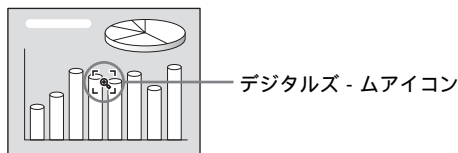
本機の性能を保持するために、約 300 時間ごとに必ずエアフィルターのクリーニングを行ってください。

詳しくは、「エアフィルターのクリーニングについて」(51 ページ)をご覧ください。

画面を拡大する（デジタルズーム機能）

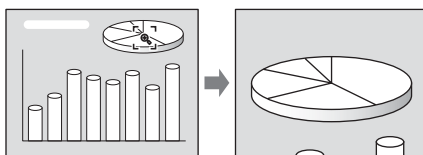
画面上の希望の位置を拡大できます。この機能はコンピューターからの信号を入力しているときや、メモリースティック（VPL-CX6 のみ）に保存されている静止画像を投影しているときに働きます。ビデオ信号を入力しているときは働きません。

- 1 通常の画面を映し、リモートコンマダーのD ZOOM + キーを押す。画面中央にデジタルズームのアイコンが表示されます。

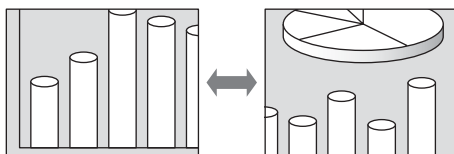


- 2 ↑/↓/←/→ キーを使って、拡大したい位置にアイコンを移動する。
- 3 もう一度 D ZOOM + キーを押す。

アイコンのある位置を中心に画像が拡大され、拡大率が数秒間画面に表示されます。+ キーを押すごとに拡大率が上がります（最大 4 倍）。



また、この状態で ↑/↓/←/→ キーを押すと、拡大されたまま画像の位置が移動します。



拡大した画像を元の大きさに戻すには

D ZOOM - キーを押します。一度で元の大きさに戻すには、リモートコマンダーの RESET キーを押します。

投影している画面を静止させる（フリーズ機能）

リモートコマンダーの FREEZE キーを押すと、投影している画面を静止させて表示することができます。キーが押されると、画面に「フリーズ」と表示されます。この機能はコンピューターからの信号を入力しているときやメモリースティック (VPL-CX6 のみ) に保存されている静止画像を投影しているときに働きます。

元の画面に戻すには、FREEZE キーをもう 1 度押します。

メニューの操作方法

本機では、画質調整や入力信号の設定、初期設定の変更など、各種調整や設定をメニュー画面で行います。選択するメニューによって、設定項目がポップアップメニューに表示されるものと、次の階層に表示されるものがあります。項目名の後にドット (...) が付いた項目を選ぶと、次の階層に設定項目が表示されます。お好みに応じて、メニュー表示のトーンを変えたり、メニュー画面表示の言語を切り換えることもできます。

表示言語を変えるには、「メニュー表示言語を切り換える」(28 ページ)をご覧ください。

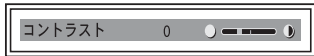
画面に表示される項目について

入力信号表示



入力信号設定表示

画質の調整などを行う調整メニュー



入力信号表示

選択されている入力チャンネルを表示します。信号が入力されていないときは x(→) 表示になります。メニュー設定メニューの「画面表示」で非表示にすることもできます。

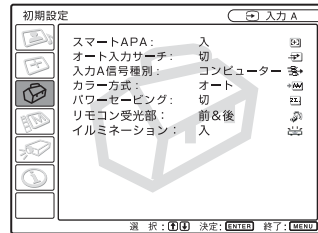
入力信号設定表示

入力 A の場合: コンピューター / コンポーネント / ビデオ GBR のいずれかが表示されます。

ビデオ / S ビデオの場合: オートまたはメニュー設定されているカラー方式が表示されます。

1 MENU キーを押す。

メニュー選択画面が表示されます。現在選択されているメニューボタンが黄色で表示されます。



2 ↑または↓キーを押してメニューを選び、→またはENTER キーを押す。

選んだメニューの設定項目が表示されます。

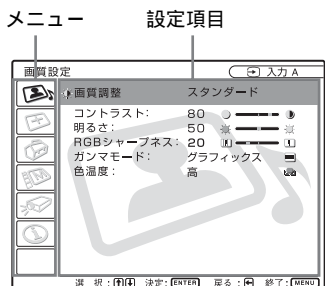
3 ↑または↓キーを押して設定したい項目を選び、→またはENTER キーを押す。

選んだ項目の設定項目がポップアップメニューまたは次の階層に表示されます。

ポップアップメニュー表示画面
メニュー 設定項目 現在の入力信号



次の階層に表示された画面



4 設定項目の調整や設定をする。

数値を変更する項目の場合：

数値を大きくするときは、↑または
→ キーを押す。

数値を小さくするときは、↓または
← キーを押す。

ENTER キーを押すと元の画面に戻ります。

設定を選ぶ場合：

↑または ↓ キーを押して設定を選び、
← または ENTER キーを押す。
元の画面に戻ります。

表示言語項目については、設定が異なります。詳しくは、「メニュー表示言語を切り換える」(28 ページ)をご覧ください。

メニュー画面を消す

MENU キーを押す。

約 1 分間操作をしない場合もメニューは自動的に消えます。

設定値をリセットする

リモートコマンダーの RESET キーを押す。

「終了しました!」というメッセージが表示され、画面に表示中の設定値が工場出荷時の値に戻ります。

リセットできる項目は以下のとおりです。

- ・「画質調整...」の「コントラスト」、「明るさ」、「色の濃さ」、「色あい」、「シャープネス」と「RGB シャープネス」
- ・「入力信号調整...」の「ドットフェーズ」、「水平サイズ」と「シフト」

設定値の記憶について

設定値は自動的に本体に記憶されます。

入力信号がない場合

入力信号がない場合は、「この項目は調整できません。」というメッセージが表示されます。

メニューの表示について

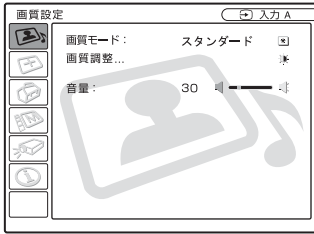
メニューの表示位置、背景色の濃さ、メニューの色をお好みに応じて変更することができます。

詳しくは、メニュー設定メニュー(46 ページ)をご覧ください。

画質設定メニュー

画質や音量を調整するメニューです。入力信号によって調整できない項目はメニューに表示されません。

調整できない項目について詳しくは、62ページをご覧ください。



メニュー項目

画質モード

画質モードを「ダイナミック」、「スタンダード」の中から選択します。
ダイナミック: 明暗のはっきりしたメリハリのある画質になります。
スタンダード: 通常はスタンダードに設定されています。また、「ダイナミック」で画質にザラツキ感があるとき、ざらつきを抑えた画質になります。

音量

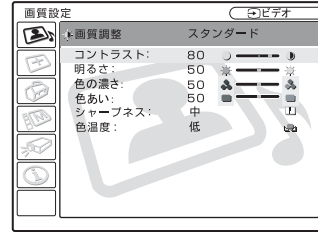
音量を調節します。

画質調整 ... メニュー項目

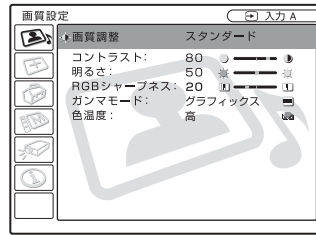
下記の項目は、「画質モード」(「ダイナミック」、「スタンダード」)ごとに設定値が記憶されます。

画質調整

ビデオ信号を入力しているとき



RGB 信号を入力しているとき



コントラスト

コントラストを調整します。設定値が大きくなると画像の明暗の差が大きくなり、小さくなると画像の明暗の差が小さくなります。

明るさ

明るさを調整します。設定値が大きくなると明るくなり、小さくなると暗くなります。

色の濃さ

色の濃さを調整します。設定値が大きくなると濃くなり、小さくなると薄くなります。

色あい

色あいを調整します。設定値が大きくなると緑がかり、小さくなると紫がかります。

シャープネス

シャープネスを「強」、「中」、「弱」の中から選択します。「強」にすると映像がくっきりし、「弱」にすると映像が柔らかくなります。

RGB シャープネス

RGB 信号の入力時にシャープネスを調整します。
設定値が大きくなるとくっきりし、小さくなると柔らかくなります。

ガンマモード

ガンマ補正曲線を選びます。
グラフィックス：中間調の再現性が高くなります。写真を自然な階調で再現します。
テキスト：白と黒の対比をはっきりさせます。文字の多い画像に適しています。

色温度

画像に合わせて好みの色温度を選びます。
高：画像の白い部分を青みがかった白にします。
低：画像の白い部分を赤みがかった白にします。

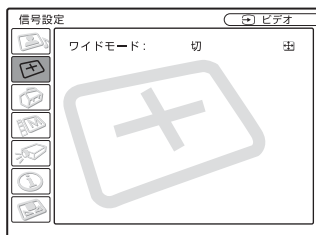
信号設定メニュー

入力信号の設定を変更するメニューです。

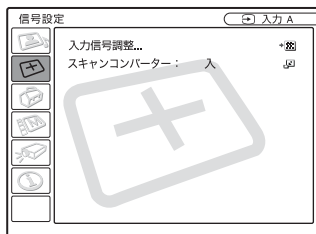
入力信号によって調整できない項目はメニューに表示されません。

調整できない項目について詳しくは、62 ページをご覧ください。

ビデオ信号を入力しているとき



RGB 信号を入力しているとき



メニュー項目

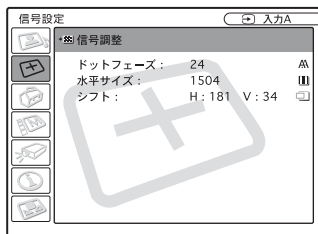
ワイドモード

画面のアスペクト(縦横比)を選びます。DVD プレーヤーなどから 16:9 (スクイーズ) 信号を入力する場合、「入」に設定してください。

切：4:3 の映像を入力しているときに選びます。

入：16:9(スクイーズ)の映像を入力しているときに選びます。

入力信号調節 ... メニュー項目 (RGB 信号入力時のみ)



ドットフェーズ

LCD パネルとコンピューターから出力される信号の位相を調整します。APA キーを押して調整した後、さらに画像をくっきりさせたい場合に調整します。画像がいちばんくっきりと見える位置に合わせます。

水平サイズ

コンピューターから出力される信号の画像の水平方向の大きさを調整します。設定値が大きくなると画面の水平方向の大きさが大きくなり、小さくなると画面の水平方向の大きさが小さくなります。入力信号のドット数と同じ数値に合わせてください。

プリセット信号に対するサイズについて詳しくは、63 ページをご覧ください。

シフト

画像の位置を調整します。H で水平方向の位置を、V で垂直方向の位置を調整します。

H の設定値が大きくなると画面が右に、小さくなると画面が左に移動します。V の設定値が大きくなると画面が上に、小さくなると画面が下に移動します。
←または→キーで水平方向の位置を、↑または↓キーで垂直方向の位置を設定します。

スキャンコンバーター

入力信号をスキャンコンバートして画面いっぱいに表示します。

入：画像を画面の大きさに合わせて表示します。画像は少しぼやけた感じになります。

切：入力画素数を LCD の 1 ピクセルに合わせて表示します。画像が鮮明になります。この場合、画面に表示される画像は小さくなります。

ご注意

- ・ XGA、SXGA、SXGA+ 信号を入力した場合、この項目は表示されません。(VPL-CX6/EX1)
- ・ SVGA、XGA 信号を入力した場合、この項目は表示されません。(VPL-CS6)

プリセットメモリーナンバーについて

本機は、あらかじめ 38 種類 (VPL-CX6/EX1) (VPL-CS6 は 25 種類) の映像データをプリセットしています(プリセットメモリー)。プリセットされた信号の入力時は、本機が入力信号を自動的に判別し、プリセットメモリー内のデータを読み出し、最適な画面に調整します。入力信号のメモリーナンバーと信

号種類は情報メニュー画面(48ページ)に表示されます。

プリセットされたデータを信号設定メニューで調整することもできます。

また、プリセットメモリーとは別に、20個のユーザーメモリーがあり、プリセットされていない入力信号に対する設定を登録できます。プリセットされていない信号が初めて入力された場合は、メモリーナンバー0と表示され、信号設定メニューで設定を変更した場合、本機に登録されます。登録数が20個を越えると、古いデータから順番に上書きされます。

プリセットされている信号について詳しくは、「プリセット信号一覧」(63ページ)をご覧ください。

下記の信号に対しては、プリセットメモリーからデータが呼び出された後、下の表に従って、「水平サイズ」を変更してください。

「水平サイズ」を調整したあと、「シフト」で微調整してください。

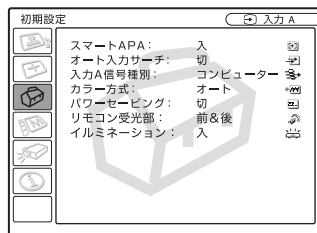
信号	メモリーナンバー	サイズ
Super Mac-2	23	1312
SGI-1	23	1320
Macintosh 19"	25	1328
以下の信号は VPL-CX6/EX1 のみ		
Macintosh 21"	27	1456
Sony News	36	1708
PC9821 1280 × 1024	36	1600
WS Sunmicro	37	1664

ご注意

アスペクト(縦横比)が4:3以外の場合、画面の一部が黒で表示されます。

初期設定メニュー

初期設定を変更するメニューです。



メニュー項目

スマート APA

APA (Auto Pixel Alignment)¹⁾ の設定を「入」、「切」の中から選択します。

入: 通常は、「入」に設定されています。コンピュータ信号が入力されると自動的に APA の機能が働き画像がくっきり見えるように自動調整が始まります。ただし、一度自動調整された信号は、ケーブルを抜き差ししたり、入力切換をした場合でも自動調整されません。「入」に設定されているときでも、リモートコマンドの APA キーを押して調整することができます。

切: リモートコマンドの APA キーを押したときのみ調整が始まります。

1) APA (Auto Pixel Alignment) とは、コンピュータ信号入力時に、画像をくっきり見えるように自動調整する機能です。信号設定メニューの「ドットフェーズ」、「水平サイズ」、「シフト」の3つの項目を自動で調整します。

オ - ト入力サーチ

通常は「切」に設定されています。

「入」に設定した場合、電源投入時または INPUT キーが押されたときに、入力 A / MS (VPL-CX6 のみ) ビデオ / S ビデオの順に入力信号の有無を検出し、入力信号のあるチャンネルを表示します。

入力 A 信号種別

INPUT A 端子に入力される信号をコンピューター信号、コンポーネント信号とビデオ GBR 信号から選びます。

ご注意

「入力 A 信号種別」の設定を正しく行わないと色がおかしくなったり、「入力 A 信号種別」の設定を確認してください。」というメッセージが出て映像が出ないことがあります。

カラー方式

カラーシステムを選びます。

「オート」にすると、自動的にカラーシステムを判断します。信号の状態が悪く、画像が乱れたり、色がつかない場合は、入力信号のカラー方式を選択してください。

パワーセービング (節電モード)

「入」に設定した場合、本体に信号が入力されない状態で 10 分以上何も操作しないと節電モードになります。

リモコン受光部

本体前面と後面のリモコン受光部 (IR 受光部) の設定をします。

前&後: 前面と後面のリモコン受光部を両方働かせるとき。

前: 前面のリモコン受光部だけを働かせるとき。

後: 後面のリモコン受光部だけを働かせるとき。

イルミネーション

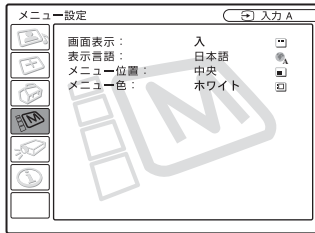
セット後部の SONY ロゴが通電時光っていますが、これを入 / 切します。

通常は「入」に設定されています。

真っ暗な場所で使用する時など、気になる場合は「切」に設定してください。

メニュー設定メニュー

プロジェクターの表示のしかたを変更するメニューです。



メニュー項目

画面表示

画面表示の設定をします。

入：画面表示をすべて表示します。

切：メニューの表示、電源を切るときの確認メッセージ、警告メッセージ以外の画面表示が出ないようにします。

表示言語

メニュー画面表示の言語を変えることができます。

「English」(英語)、「Nederlands」(オランダ語)、「Français」(フランス語)、「Italiano」(イタリア語)、「Deutsch」(ドイツ語)、「Español」(スペイン語)、「Português」(ポルトガル語)、「Русский」(ロシア語)、「Svenska」(スウェーデン語)、「Norsk」(ノルウェー語)、「日本語」、「中文」(中国語)、「한국어」(韓国語)から選ぶことができます。

メニュー位置

メニューの表示位置を変えることができます。

「左上」、「左下」、「中央」、「右上」、「右下」から選択します。

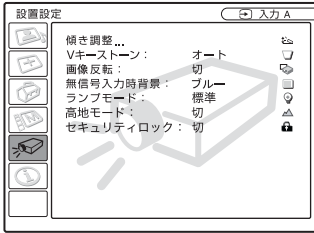
メニュー色

メニュー表示のトーンを変えることができます。

「ホワイト」、「ブラック」から選択します。

設置設定メニュー

設置設定を変更するメニューです。



メニュー項目

傾き調整

投影画面の位置 (高さ) を調整します。TILT 調整キーの△またはリモートコマンドの↑または→キーを押すと、本体の傾きが大きくなり、画像を投影する位置は上になります。また TILT 調整キーの▽またはリモートコマンドの↓または←キーを押すと、傾きは小さくなり、投影する位置は下になります。

V キーストーン

投影角度によって画像が台形になってしまった場合にこれを補正します。自動で調整する場合は「オート」に設定し、手動で調整する場合は「マニュアル...」に設定します。

← または → キーで調整します。

画面の上辺より下辺が長い場合 □

マイナス方向に数値を設定します。

画面の下辺より上辺が長い場合 □

プラス方向に数値を設定します。

ご注意

V キーストーン補正の自動調整は、室温やスクリーンの傾きなどにより適正な補正が得られない場合があります。

画像反転

画像を水平または垂直方向に反転します。「切」、「上下左右」、「左右」、「上下」の中から選びます。

切: 画像は反転しません。

上下左右: 画像を水平、垂直方向に反転します。

左右: 画像を水平方向に反転します。

上下: 画像を垂直方向に反転します。

ご注意

画像反転メニューで「上下左右」または「上下」を設定した場合、ランプモードは常に「標準」で動作します。

無信号入力時背景

プロジェクターに信号が入力されていない場合の画面の色を「ブラック」、「ブルー」の中から選択します。

通常は「ブルー」に設定してください。

ランプモード

投影時のランプの明るさを設定します。

高: 画面が明るくなります。

標準: 投影時のファン音が静かになり、消費電力を軽減します。画面は「高」に設定した場合よりも暗くなります。

高地モード

切: 平地でのご使用の場合の設定です。

入: 1500m 以上の高地でのご使用の場合の設定です。

セキュリティロック

セットにセキュリティロックをかけます。

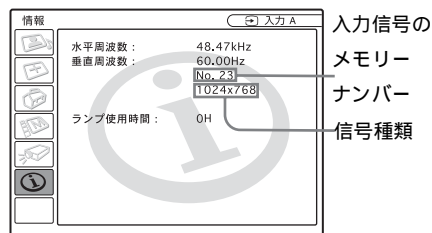
切:「切」の時は動作しません。

入:「入」にし、パスワードを設定するとロックがかかります。

詳しくは、「セキュリティロックをかけるには」(33 ページ)をご覧ください。

情報メニュー

投影時の画像の水平、垂直周波数やランプ使用時間などの情報を見ることができます。



メニュー項目

水平周波数

水平周波数を表示します。
周波数表示は絶対値ではなく目安となる値です。

垂直周波数

垂直周波数を表示します。
周波数表示は絶対値ではなく目安となる値です。

ランプ使用時間

ランプの使用時間を累積して表示します。

ご注意

これらの項目は、表示のみです。変更はできません。

メンテナンス

ランプを交換する

次のような場合は新しいランプと交換してください。

- ・光源のランプが切れたとき
- ・光源のランプが暗くなったとき
- ・「ランプを交換してください。」というメッセージが表示されたとき
- ・LAMP/COVER インジケーターが点灯したとき

ランプ交換時期はその使用条件によって変わってきます。

交換ランプは、別売りのプロジェクターランプ LMP-C150 をお使いください。

プロジェクターを使用した後にランプを交換する場合は

プロジェクターの電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。ランプを冷やすため、1 時間以上たってからランプを交換してください。

⚠ 警告

1 / ⏻ キーで電源を切った直後はランプが高温になっており、**さわるとやけどの原因** となることがあります。ランプを十分に冷やすため、**ランプ交換は、プロジェクターの電源を切ってから 1 時間以上たってから行ってください。**

⚠ 注意

- ・ランプが破損している場合は、最寄りのソニーサービスステーションまたはお買い上げのソニー特約店にご相談ください。
- ・ランプを取り出すときは、必ず取り出し用のハンドルを持って引き出してくだ

さい。他の部分を持って引き出すと、けがややけどの原因となることがあります。

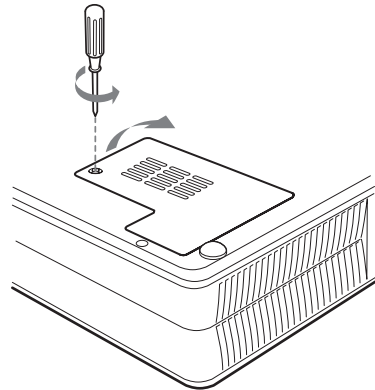
- ・ランプを取り出すときは、ランプを水平に持ち上げ、傾けないでください。ランプを傾けて持つと、万一ランプが破損した場合に、ランプの破片が飛び出し、けがの原因となることがあります。

- 1 プロジェクターや机に傷がつかないように布などを敷き、その上でプロジェクターを裏返す。

⚠ ご注意

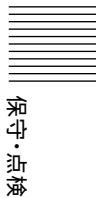
プロジェクターを、しっかりと安定させてください。

- 2 ランプカバーのネジ(1本)をプラスドライバー(プロジェクターランプに付属)でゆるめ、ランプカバーを開きます。

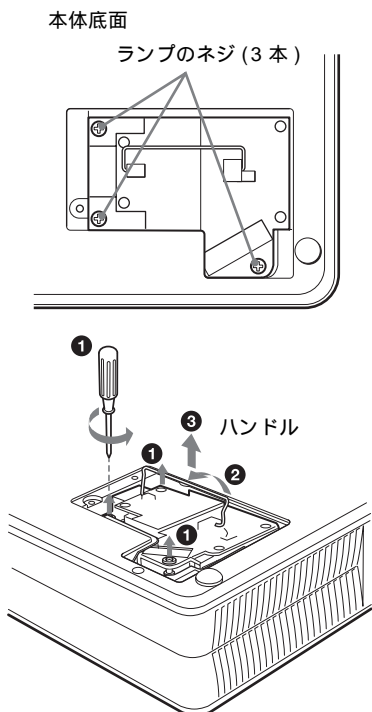


⚠ ご注意

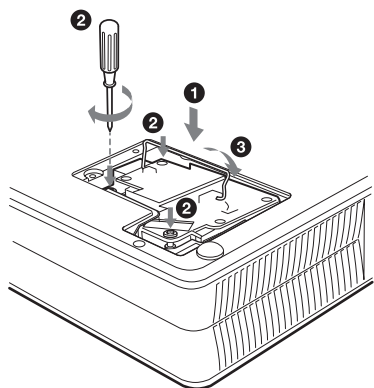
安全のため、他のネジは絶対にはずさないでください。



- 3 ランプのネジ(3本)をプラスドライバーでゆるめ、取り出し用ハンドルを持ってランプを引き出す。



- 4 新しいランプを確実に奥まで押し込み、ネジを締め、取り出し用ハンドルを元に戻す。



ご注意

- ・ランプのガラス面には触れないようご注意ください。
- ・ランプが確実に装着されていないと、電源が入りません。

- 5 ランプカバーを閉め、ネジを締める。
- 6 プロジェクターの向きを元にもどす。
- 7 電源コードを接続する。
I/Oキー周囲のON/STANDBYインジケーターが赤色に点灯します。
- 8 リモートコマンドーのキーをRESETキー、←キー、→キー、ENTERキーの順に、それぞれ5秒以内に押す。

警告

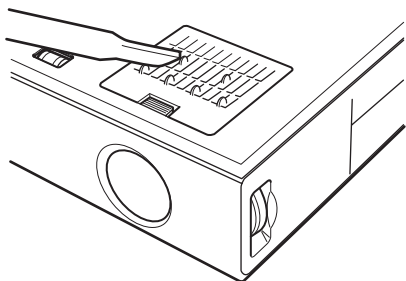
ランプをはずした後のランプの収納部に金属類や燃えやすい物などの異物を入れないでください。火災や感電の原因となります。また、やけどの危険がありますので手を入れないでください。

ご注意

- ・新しいランプは、必ず交換用ランプ **LMP-C150** をお使いください。それ以外のものをお使いになると、故障の原因になります。
- ・ランプを交換する前に必ずプロジェクターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

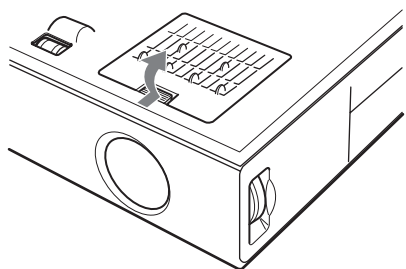
エアフィルターのクリーニングについて

約 300 時間ごとにエアフィルターのクリーニングが必要です。吸気口の外側から掃除機で掃除してください。

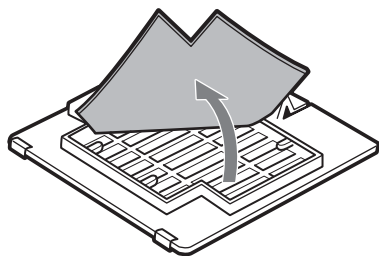


掃除機で掃除しても汚れが取れにくいときは、フィルターをはずし洗ってください。

- 1 電源を切り、電源コードを抜く。
- 2 プロジェクターや机に傷がつかないように布などを敷き、その上でプロジェクターを裏返す。
- 3 エアフィルターカバーをはずす。



- 4 エアフィルターをはずす。



- 5 中性洗剤を薄めた液で洗ったあと日陰で乾かす。
- 6 エアフィルターをはめて、エアフィルターカバーをプロジェクトに取り付ける。

ご注意

- ・エアフィルターのクリーニングを怠ると、ゴミがたまり、内部に熱がこもって、故障・火災の原因となることがあります。
- ・フィルターを洗っても汚れが落ちないときは、付属の交換用エアフィルターと交換してください。
- ・エアフィルターカバーはしっかり取り付けてください。きちんと取り付けられていないと、電源が入りません。
- ・エアフィルターには表裏があります。フィルターを入れるときは、フィルターカバーの切り欠きのある部分に合わせて入れてください。

トラブル時の対処

修理に出す前に、もう 1 度次の点検をしてください。以下の対処を行っても直らない場合は、お買い上げ店にお問い合わせください。

電源に関する項目

症状	原因と対処
電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none">・ I / ⏻ キーで電源を切った後すぐに電源を入れた。 → 約 90 秒たってから電源を入れてください。(35 ページ)・ ランプカバーがはずれている。 → ランプカバーをしっかりとはめてください。(49 ページ)・ エアフィルターカバーがはずれている。 → エアフィルターカバーをしっかりとはめてください。(51 ページ)
LAMP/COVER、TEMP/FAN インジケーターが2つとも点灯している。	<ul style="list-style-type: none">・ 電気系統の故障です。 → お買い上げ店にご相談ください。
電動チルトアジャスター、レンズプロテクターが閉まらない。	<ul style="list-style-type: none">・ 電源を切らずに電源プラグを抜いた。 → もう一度電源プラグをコンセントに差し、通電状態にしてから電源を切ってください。
電動チルトアジャスターが全く動作しない。	<ul style="list-style-type: none">・ 電気系統の故障です。 → お買い上げ店にご相談ください。緊急でご使用になる必要がある場合は、エマージェンシーモードでご使用になってください。(57 ページ)

映像に関する項目

症状	原因と対処
映像が映らない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ケーブルがはずれている。または正しく接続されていない。 → 接続を確認してください。(24 ページ) ・入力切り換えが正しくない。 → INPUT キーで正しく選んでください。(31 ページ) ・映像が消画 (ミュート) されている。 → PIC MUTING キーを押して、ミュートを解除してください。(33 ページ) ・出力信号がコンピューターの外部モニターに出力されるように設定されていない。あるいは外部モニターとコンピューターの液晶ディスプレイの両方に出力するように設定されている。 → 出力信号をコンピューターの外部モニター のみ に出力するように設定してください。(24 ページ)
画面にノイズが出る。	<ul style="list-style-type: none"> ・入力信号のドット数と LCD パネルの画素数の関係により、特定の画面の背景にノイズが出ることもある。 → お使いの機器のデスクトップパターンを変えてください。
INPUT A 端子から入力している映像の色がおかしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・初期設定メニューの「入力 A 信号種別」の設定が入力信号と合っていない。 → 入力信号に合わせて初期設定メニューの「入力 A 信号種別」でコンピューター、ビデオ GBR、コンポーネント信号の設定を正しく合わせてください。(45 ページ)
INPUT A 端子から正しく信号を入力しているのに「入力 A 信号種別の設定を確認してください。」というメッセージが表示される。	<ul style="list-style-type: none"> ・初期設定メニューの「入力 A 信号種別」が入力信号と合っていない。 → 入力信号に合わせて初期設定メニューの「入力 A 信号種別」でコンピューター、ビデオ GBR、コンポーネント信号の設定を正しく合わせてください。(45 ページ)
画面表示が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ・メニュー設定メニューの「画面表示」が「切」に設定されている。 → 「画面表示」の設定を「入」にしてください。(46 ページ)
色がおかしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・画質の調整をしていない。 → 画質の調整をしてください。(41 ページ) ・入力信号のカラー方式が合っていない。 → 入力信号に合わせて初期設定メニューの「カラー方式」で正しく設定してください。(45 ページ)

症状	原因と対処
画面が暗い。	<ul style="list-style-type: none"> ・コントラスト、明るさの設定が正しくない。 → 画質調整...メニューで正しく設定してください。(41 ページ) ・ランプが消耗している。 → ランプを交換してください。(49 ページ)
画面がぼやける。	<ul style="list-style-type: none"> ・フォーカスが合っていない。 → フォーカスを合わせてください。(32 ページ) ・結露が生じた。 → 電源を入れたまま約 2 時間そのままにしておいてください。(57 ページ)
画像がスクリーンからはみでている。	<ul style="list-style-type: none"> ・画像のまわりに黒い部分が残っている状態で APA キーを押した。 → スクリーンいっぱい画像を映してから APA キーを押してください。 → 信号設定メニューの「シフト」で正しく調整してください。(43 ページ)
画面がちらつく。	<ul style="list-style-type: none"> ・信号設定メニューのドットフェーズの設定が合っていない。 → 信号設定メニューの「ドットフェーズ」の数値を設定しなおしてください。(43 ページ)

音声に関する項目

症状	原因と対処
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ケーブルがはずれている。または正しく接続されていない。 → 接続を確認してください。(24 ページ) ・正しいケーブルで接続されていない。 → 抵抗なしのステレオオーディオ接続ケーブルをお使いください。(25 ページ) ・音量が正しく調整されてない。 → 正しく調整してください。(32 ページ)

リモートコマンダーに関する項目

症状	原因と対処
リモートコマンダーが機能しない。	<ul style="list-style-type: none"> ・電池の交換時期がきた。 → 新しい電池と交換してください。(21、22 ページ)

その他に関する項目

症状	原因と対処
LAMP/COVER インジケーターが点滅する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ランプカバーまたはエアフィルターカバーがはずれている。 → カバーをしっかりとはめてください。(49、51 ページ) ・故障によりレンズプロテクターが開かない。 → お買い上げ店にご相談ください。緊急でご使用になる必要がある場合は、エマージェンシーモードでご使用になってください。(57 ページ)
LAMP/COVER インジケーターが点灯する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ランプの交換時期がきた。 → ランプを交換してください。(49 ページ) ・ランプが高温になっている。 → 90 秒以上たって、ランプが冷えてから、もう 1 度電源を入れてください。(35 ページ)
TEMP/FAN インジケーターが点滅する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ファンが故障している。 → お買い上げ店にご相談ください。
TEMP/FAN インジケーターが点灯する。	<ul style="list-style-type: none"> ・内部が高温になっている。 → 排気口、吸気口がふさがれていないか確認してください。
LAMP/COVER、TEMP/FAN インジケーターが 2 つとも点灯している	<ul style="list-style-type: none"> ・電気系統の故障です。 → お買い上げ店にご相談ください。



警告メッセージ

以下のメッセージが画面に出ます。メッセージの意味を以下の表で確認してください。

メッセージ	意味と対処
セット内部温度が高いです。 1 分後に LAMP オフします。	<ul style="list-style-type: none"> ・内部の温度が高くなった。 → 電源を切ってください。 → 排気口、吸気口をふさいでいないかどうか確認してください。
入力信号の周波数が対応範囲をこえています！	<ul style="list-style-type: none"> ・対応範囲を越えた周波数の信号が入力された。 → 対応範囲内の信号を入力してください。 ・接続するコンピューターの外部モニターの出力信号の設定が高い。 → 出力信号の設定を XGA(VPL-CX6/EX1) または SVGA(VPL-CS6) にしてください。(24 ページ)

メッセージ	意味と対処
入力 A 信号種別の設定を確認してください。	<ul style="list-style-type: none"> 初期設定メニューの「入力 A 信号種別」が「コンポーネント」に設定されているのに、コンピューターから RGB 信号を入力した。 → 「入力 A 信号種別」を正しく設定してください。(45 ページ)
ランプを交換してください。	<ul style="list-style-type: none"> ランプの交換時期がきた。 → ランプを交換してください。

注意メッセージ

以下のメッセージが画面に出ます。メッセージの意味を以下の表で確認してください。

メッセージ	意味と対処
無効キーが押されました。	<ul style="list-style-type: none"> 操作が正しくない。 → 正しいキーを押してください。

使用上のご注意

液晶プロジェクターについて

液晶プロジェクターは非常に精密度の高い技術で作られています。黒い点や現われたり、赤と青、緑の点が消えないことがあります。また、すじ状の色むらや明るさのむらが見える場合もあります。これらは、**液晶プロジェクターの構造によるもので、故障ではありません。**

結露について

プロジェクターの設置してある室内の**急激な温度変化は結露を引き起こし、故障の原因**となりますので冷暖房にご注意ください。

結露とは、寒いところから急に暖かい場所へ持ち込んだとき、本体の内部に水滴がつくことです。**結露が起きたときは、電源を入れたまま本機をそのまま約2時間放置**しておいてください。

ファンの音について

プロジェクターの内部には温度上昇を防ぐためにファンが取り付けられており、電源を入れると多少音を生じます。これらは、液晶プロジェクターの構造によるもので、故障ではありません。しかし、異常音が発生した場合にはお買い上げ店にご相談ください。

部屋の照明について

直射日光や室内灯などで直接スクリーンを照らさないでください。美しく見やすい画像にするために、以下の点を参考にしてください。

- ・ 集光形のダウンライトにする。

- ・ 蛍光灯のような散光照明にはメッシュを使用する。
- ・ 太陽の差し込む窓はカーテンやブラインドでさえぎる。
- ・ 光を反射する床や壁はカーペットや壁紙でおおう。

お手入れについて

- ・ キャビネットやパネルの汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときには、水でうすめた中性洗剤に柔らかい布をひたし、固くしぼってから汚れをふき取り、乾いた布で仕上げてください。なお、お手入れの際は必ず電源コードをコンセントから抜いてください。
- ・ レンズに手を触れたり、固いもので傷をつけたりしないようにご注意ください。
- ・ 必ず定期的にフィルターのクリーニングをしてください。

エマージェンシーモードについて

以下の操作を行う前に、「トラブル時の対処（52 ページ）でもう一度点検してください。それでも直らないときは下記の手順をよくお読みになって操作してください。

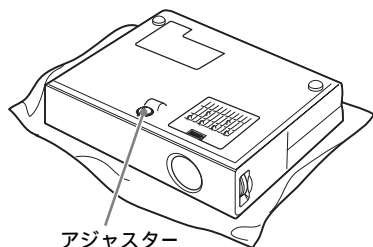
本機は、レンズプロテクター及び電動チルトアジャスターのために、エマージェンシーモードを備えています。万が一、電動で動作しなくなった場合に、以下の操作で手動でレンズプロテクター及びチルトアジャスターを動作させることができます。（エマージェンシーモード）

ご注意

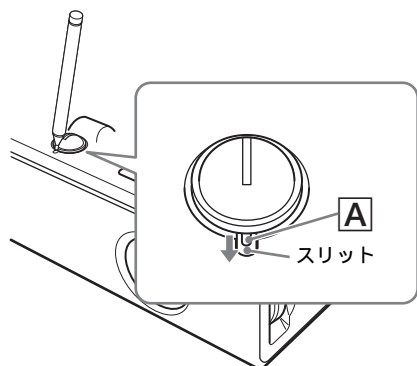
この操作は、緊急時のみに行ってください。緊急時以外に行った場合でも、お客様ご自身で電動動作を復帰させることはできませんのでご注意ください。エマージェンシーモードでご使用の後は、すみやかにお買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

エマージェンシーモードにするには、以下の手順で行います。

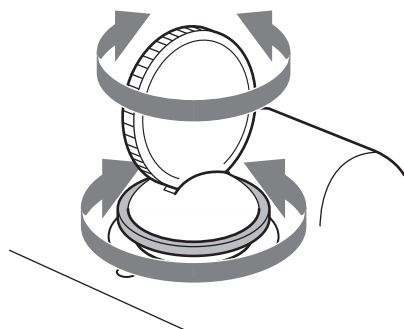
- 1 プロジェクターや机に傷がつかないように布などを敷き、その上でプロジェクターを裏返す。



- 2 アジャスター手前のスリット内のスイッチ **A** をボールペンの先などで矢印方向(本体前面側)にスライドさせる。
レンズプロテクター及びチルトアジャスターがエマージェンシーモードになります。



- 3 レンズプロテクターの開閉時は、アジャスターの溝をコインなどで回す。
レンズプロテクター開放、及びチルトアジャスター伸張時は反時計(矢印)方向に回転させてください。



保証書とアフターサービス

保証書

- ・ この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- ・ 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを → この説明書をもう 1 度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは → お買い上げ店にご相談ください。

保証期間中の修理は → 保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は → 修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

仕様

光学系

投影方式	3LCD パネル、1 レンズ、 3 原色光シャッター方式
LCD パネル	VPL-CS6: 0.7 インチ SVGA 超高開口パネル、144 万画素 (480,000 × 3) VPL-CX6/EX1: 0.7 インチマイクロレンズアレイつき XGA 超高開口パネル、約 236 万画素 (786,432 × 3)
レンズ	1.2 倍ズームレンズ(マニュアル) VPL-CS6/CX6: f23.0 ~ 27.6mm/F1.8 ~ 2.1 VPL-EX1: f 28.2 ~ 33.8 mm/F 1.8 ~ 2.15
ランプ	165 W UHP
投影画面サイズ	40 インチ ~ 150 インチ
光出力	VPL-CS6: 1800 ANSI ¹⁾ lm VPL-CX6: 2000 ANSI ¹⁾ lm VPL-EX1: 1500 ANSI ¹⁾ lm (ランプモード 高のとき)

¹⁾ ANSI 基準ルーメンは、American National Standard IT7.228 に定められた測定方法によります。

投影距離(床置き)

XGA 入力時

スクリーンサイズ (インチ)	距離(m)	
	VPL-CS6/CX6	VPL-EX1
40	1.2 ~ 1.5	1.5 ~ 1.9
60	1.9 ~ 2.3	2.3 ~ 2.9
80	2.5 ~ 3.0	3.1 ~ 3.8
100	3.2 ~ 3.8	3.9 ~ 4.8
120	3.8 ~ 4.6	4.7 ~ 5.7
150	4.7 ~ 5.7	5.9 ~ 7.2

(設計値のため多少の誤差あり)

電気系

カラー方式 NTSC_{3.58}、PAL、SECAM、
NTSC_{4.43}、PAL-M、PAL-N
自動切り換え / 手動切り換
え

解像度 VPL-CS6: 水平解像度 600TV
本(ビデオ入力時)800 ×
600 ドット(RGB 入力時)
VPL-CX6/EX1: 水平解像度
750TV 本(ビデオ入力時)
1,024 × 768 ドット(RGB
入力時)

対応コンピューター信号¹⁾

VPL-CS6: fH: 19 ~ 72 kHz、
fV: 48 ~ 92 Hz

VPL-CX6/EX1: fH: 19 ~ 92
kHz、fV: 48 ~ 92 Hz

(最高入力解像度信号:

XGA 1024 × 768

fV: 85Hz (VPL-CS6)、

SXGA+ 1400 × 1050

fV: 60Hz (VPL-CX6/EX1))

1) 接続するコンピューターの信号の解像度
と周波数は、プリセット信号の範囲内に
設定してください。

対応ビデオ信号

15kHz RGB/ コンポーネント

50/60Hz、コンポジットビ
デオ、Y/C ビデオ

スピーカー モノラルスピーカーシステム
40 × 20 mm、最大 1 W

入出力

ビデオ

VIDEO: ピンジャック

コンポジットビデオ 1 Vp-p
± 2 dB 同期負(75 終端)

S VIDEO: Y/C、ミニ DIN4 ピ
ン(オス)

Y(輝度)信号: 1 Vp-p ± 2
dB 同期負(75 終端)

α(クロマ)信号:

バースト 0.286 Vp-p ± 2
dB (NTSC) 75 終端)

バースト 0.3 Vp-p ± 2 dB
(PAL) 75 終端)

INPUT A(入力 A): HD D-sub 15 ピン

アナログ RGB/ コンポーネン
ト:

R/R-Y: 0.7 Vp-p ± 2 dB
(75 終端)

G: 0.7 Vp-p ± 2 dB(75
終端)

同期付 G/Y: 1 Vp-p ± 2
dB 同期負(75 終端)

B/B-Y: 0.7 Vp-p ± 2 dB
75 終端)

SYNC/HD: 複合同期入力:

1 ~ 5 Vp-p ハイインピー
ダンス、正負極性

水平同期入力: 1 ~ 5 Vp-p
ハイインピーダンス、正負極
性

VD: 垂直同期入力: 1 ~ 5

Vp-p

ハイインピーダンス、正負極
性

AUDIO:ステレオミニジャック
500 mVrms、インピーダンス 47 k 以上

USB: アップ(アップストリーム)×1

メモリスティックスロット(VPL-CX6のみ) × 1

安全規格 電安法、VCCI クラス B
本機は「高調波ガイドライン適合品」です。

ソフトケース(1)
電源コード(1)
交換用エアフィルター(1)
取扱説明書(1)
早わかりカード(1)
保証書(1)
セキュリティラベル(1)

本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

一般

外形寸法 285 × 68 × 228 mm(幅 / 高さ / 奥行き) (突起部含まず)

質量 約 2.7 kg

電源 AC100 ~ 240 V、50/60 Hz

消費電力 最大 240 W
(スタンバイモード時:
VPL-CS6/EX1: 5W
VPL-CX6: 7W)

発熱量 819.0 BTU

動作温度 0 ~ + 35

動作湿度 35 % ~ 85 % (結露しないこと)

保存温度 - 20 ~ + 60

保存湿度 10 % ~ 90 %

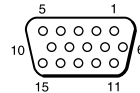
付属品 リモートコマンダー(1)
単 3 形乾電池(2) (VPL-CS6/CX6のみ)
リチウム電池 CR2025(1)
(VPL-EX1のみ)
HD D-sub 15 ピンケーブル
(2 m) (1) (1-791-992-21)
USB ケーブル A タイプ - B
タイプ(1) (1-790-081-31)
(VPL-CS6/CX6のみ)
CD-ROM(アプリケーション
ソフトウェア) (VPL-CX6のみ) (1)

別売りアクセサリ

プロジェクターランプ LMP-C15(交換用)
シグナルケーブル
SMF-40(2) (HD D-sub 15 ピン
(オス) → 3 × ピンジャック
(オス))

ピン配列

INPUT A 端子(HD D-sub 15 ピン、メス)



1	映像入力 (赤) R/R-Y	9	N.C
2	映像入力 (緑) G/Y	10	接地
3	映像入力 (青) B/B-Y	11	接地
4	接地	12	DDC/SDA
5	接地	13	水平同期信号 / 複合同期信号
6	接地(赤用)	14	垂直同期信号
7	接地(緑用)	15	DDC/SCL
8	接地(青用)		

その他

入力信号と調整・設定項目

メニューによっては、入力信号の種類によって調整・設定できる項目が限られます。詳しくは、下の表をご覧ください。

調整・設定できない項目はメニューに表示されません。

画質調整メニュー

項目	入力信号				
	ビデオ またはSビデオ	コンポー ネント	ビデオ GBR	コンピューター	白黒信号
コントラスト					
明るさ					
色の濃さ				×	×
色あい	(NTSC 3.58/ 4.43のみ)	×	×	×	×
シャープネス				×	
RGB シャープ ネス	×	×	×		×
ガンマモード	×	×			×
色温度					
音量					

:調整・設定できる項目 ×:調整・設定できない項目

信号設定メニュー

項目	入力信号				
	ビデオ またはSビデオ	コンポー ネント	ビデオ GBR	コンピューター	白黒信号
ドットフェーズ	×	×	×		×
水平サイズ	×	×	×		×
シフト	×	×	×		×
スキャンコン バーター	×	×	×	(VPL-CS6 はVGA以下、 VPL-CX6/EX1 はSVGA以下)	×
ワイドモード				×	

:調整・設定できる項目 ×:調整・設定できない項目

プリセット信号一覧

メモリー ナンバー	プリセット信号		fH (kHz)	fV (Hz)	同期	サイズ	
1	ビデオ 60 Hz		15.734	59.940	/		
2	ビデオ 50 Hz		15.625	50.000			
3	15k RGB/ コンポーネント 60 Hz		15.734	59.940			S on G/Yまたは コンボジットシンク
4	15k RGB/ コンポーネント 50 Hz		15.625	50.000			S on G/Yまたは コンボジットシンク
6	640 × 350	VGA モード 1	31.469	70.086	H- 正 V- 負	800	
7		VGA VESA 85Hz	37.861	85.080	H- 正 V- 負	832	
8	640 × 400	PC9801 ノーマル	24.823	56.416	H- 負 V- 負	848	
9		VGA モード 2	31.469	70.086	H- 負 V- 正	800	
10		VGA VESA 85Hz	37.861	85.080	H- 負 V- 正	832	
11	640 × 480	VGA モード 3	31.469	59.940	H- 負 V- 負	800	
12		Macintosh 13"	35.000	66.667	H- 負 V- 負	864	
13		VGA VESA 72Hz	37.861	72.809	H- 負 V- 負	832	
14		VGA VESA 75Hz	37.500	75.000	H- 負 V- 負	840	
15		VGA VESA 85Hz	43.269	85.008	H- 負 V- 負	832	
16		800 × 600	SVGA VESA 56Hz	35.156	56.250	H- 正 V- 正	1024
17	SVGA VESA 60Hz		37.879	60.317	H- 正 V- 正	1056	
18	SVGA VESA 72Hz		48.077	72.188	H- 正 V- 正	1040	
19	SVGA VESA 75Hz		46.875	75.000	H- 正 V- 正	1056	
20	SVGA VESA 85Hz		53.674	85.061	H- 正 V- 正	1048	
21	832 × 624	Macintosh 16"	49.724	74.550	H- 負 V- 負	1152	
22*	1024 × 768	XGA VESA 43Hz	35.524	86.958	H- 正 V- 正	1264	
23		XGA VESA 60Hz	48.363	60.004	H- 負 V- 負	1344	
24		XGA VESA 70Hz	56.476	69.955	H- 負 V- 負	1328	
25		XGA VESA 75Hz	60.023	75.029	H- 正 V- 正	1312	
26		XGA VESA 85Hz	68.677	84.997	H- 正 V- 正	1376	

その他

メモリー ナンバー	プリセット信号		fH (kHz)	fV (Hz)	同期	サイズ
27	1152 × 864	SXGA VESA 70Hz	63.995	70.019	H- 正 V- 正	1472
28		SXGA VESA 75Hz	67.500	75.000	H- 正 V- 正	1600
29		SXGA VESA 85Hz	77.487	85.057	H- 正 V- 正	1568
30	1152 × 900	Sunmicro LO	61.795	65.960	H- 負 V- 負	1504
31		Sunmicro HI	71.713	76.047	コンボジットシンク	1472
32	1280 × 960	SXGA VESA 60Hz	60.000	60.000	H- 正 V- 正	1800
33		SXGA VESA 75Hz	75.000	75.000	H- 正 V- 正	1728
34*	1280 × 1024	SXGA VESA 43Hz	46.433	86.872	H- 正 V- 正	1696
35		SGI-5	53.316	50.062	S on G	1680
36		SXGA VESA 60Hz	63.974	60.013	H- 正 V- 正	1696
37		SXGA VESA 75Hz	79.976	75.025	H- 正 V- 正	1688
38		SXGA VESA 85Hz	91.146	85.024	H- 正 V- 正	1296
52		1400 × 1050	SXGA+ 60Hz	63.981	60.020	H- 負 V- 負

VPL-CS6: Memory No. 1 ~ No. 26

VPL-CX6/EX1: Memory No. 1 ~ No. 38、No. 52

ご注意

- 上記記載のプリセット信号以外の信号を入力した場合、画像を正しく表示できないことがあります。
- メモリーナンバー22 と 34 は、インターレース信号です。
- SXGA+ 信号を入力した場合、画像がスクリーンからはみ出してしまうことがあります。その場合、画像のまわりに黒い部分が映っていない信号を入力し、接続しているケーブルの抜き差しをするか、INPUT キーを押して再度入力信号を選んでください。

電源接続時のご注意

本機を国内でご使用の際は付属の電源コードを、国外でご使用の際は以下の表を参照してその国の規格に適合する電源コードをご使用ください。

	アメリカ合衆国、 カナダ	ヨーロッパ 諸国	イギリス	オーストラリア	日本
プラグ型名	YP-11	YP-21	SP-61	B8	YP-13
コネクタ型名	YC-13L	YC-13L	YC-13L	C7-2	YC-13L
コード型名	SPT-2	H03VVH2-F	H03VVH2-F	H03VVH2-F	VCTFK
定格電圧・ 電流	10A/125V	2.5A/250V	2.5A/250V	2.5A/250V	7A/ 125V
安全規格	UL/CSA	VDE	BS	SAA	電安
コード長さ (最長)	4.5m	—	—	—	—

その他

索引

あ

- 「RGB シャープネス」... 42
- 「明るさ」..... 41
- イルミネーション 45
- 「色あい」..... 42
- 「色温度」..... 42
- 「色の濃さ」..... 41
- INPUT A 端子 18
 - ピン配列 61
- エアフィルター 51
- 「オ - ト入力サーチ」... 45
- 「音量」..... 41

か

- 各部の名称と働き
 - 後面 / 右側面 / 底面 14
 - コネクターパネル 18
 - コントロールパネル 17
 - 天面 / 前面 / 左側面 14
 - リモートコマンダー 19, 21
- 画質調整メニュー 41
- 「画質モード」..... 41
- 画像の大きさの調整... 32
- 「画像反転」..... 47
- 画像を映す 30
- 「傾き調整」..... 47
- 「画面表示」..... 46
- 「カラー方式」..... 45
- 「ガンマモード」..... 42
- 結露 57
- 高地で使用する場合... 11
- 「コントラスト」..... 41

さ

- 「シフト」..... 43
- 「シャープネス」..... 42
- 仕様 59
- 使用上のご注意..... 57

- 初期設定メニュー 44
- 信号設定メニュー 42
- 「垂直周波数」..... 48
- 「水平サイズ」..... 43
- 「水平周波数」..... 48
- 「スキャンコンバーター」 43
- スクリーン
 - スクリーンサイズ 23, 60
- スタートアップ画面... 30
- スマート APA 44
- セキュリティロック... 33
- 接続

- コンピューターを接続する..... 24
- コンボ - ネット機器を接続する 27
- ビデオ機器を接続する 26
- 設置設定メニュー 47
- 設置例
 - ご注意 10
 - 使用に適さない状態 11
 - 設置に適さない場所 10

た

- 調整
 - 画質の調整..... 41
 - 画像のサイズ / シフト調整..... 43
 - 設定値の記憶 40
- デジタルズーム機能... 37
- 電池についての安全上のご注意..... 8
- 電池の入れかた..... 21
- 電動チルトアジャスター 16
- 「ドットフェーズ」..... 43
- トラブル時の対処 52

な

- 「入力 A 信号種別」..... 45

は

- 「パワーセービング」 17, 45
- 「表示言語」
 - 表示言語を切り換える..... 28
- 表示言語..... 46
- ピン配列..... 61
- 「V キーストーン」..... 47
- 付属品 61
- 別売りアクセサリー... 61
- 保証書とアフターサービス... 59

ま

- 「無信号入力時背景」... 47
- メッセージ
 - 警告メッセージ... 55
 - 注意メッセージ... 56
- メニュー
 - 画質設定 41
 - 初期設定 44
 - 信号設定 42
 - 設置設定 47
 - メニュー設定 46
 - 情報..... 48
 - 「メニュー位置」..... 46
 - メニュー画面を消す... 40
 - 「メニュー色」..... 46
 - メニューの操作方法... 39

や

- USB 端子 18, 25

ら

- 「ランプ使用時間」..... 48
- ランプについての安全上のご注意..... 9
- ランプの交換 49
- 「ランプモード」..... 47
- リセット
 - 設定値をリセットする 40
 - リセットできる項目 40
- リチウム電池 22

リモートコマンダー
各部の名称と働き
19, 21
リチウム電池の交換
..... 22
電池の入れかた ... 21
リモコン受光部
後部リモコン受光部
..... 15
前面リモコン受光部
..... 15
レンズプロテクター ... 15

わ

「ワイドモード」..... 42



その他

警告

为避免引发意外的火灾或遭受雷击的危险，请勿将本机置于雨点所及或者潮湿的地方。

不要打开本机机壳，以免遭受电击。除非是本公司指定的合格技术员，否则请勿进行维修。

输出插座应安装于设备附近使用方便的地方。

目录

概要

使用前须知	4
安装注意事项	5
不当安装	5
不适环境	5
在高海拔地区使用	6
特点	6
控制器的位置和功能	8
上面/前面/左侧	8
后面/右侧/底面	8
控制面板	10
连接器面板	10
遥控器	11

安装和投影

安装投影机	15
连接投影机	16
连接电脑	16
连接录像机或 15k RGB/ 分量装置	18
选择菜单语言	20
投影	22
便于您发表的有效工具	28

使用菜单的调整和设定

使用菜单	30
图像设置菜单	32
输入设定菜单	33
操作设定菜单	35
菜单设定	36
安装设定菜单	37

信息菜单	38
------------	----

维修保养

维修保养	39
更换投影灯泡	39
清洁空气滤网	40
故障排除	42
警告信息	44
提示信息	45

其它

规格	47
索引	52

使用前须知

安全须知

- 请检查本机的工作电压是否与当地的供电电压一致。
- 万一有液体或固体落入机壳内，请按下本机的电源插头，并请专业技术人员检查后再使用。
- 数日不使用本机时，请将本机的电源插头从墙上电源插座拔出。
- 拔电源线时，请手持插头将其拔出。切勿拉扯电线本身。
- 墙上电源插座应靠近本机并便于接线。
- 即使本机的电源已关闭，只要其插头还连接在墙上电源插座上，本机便未脱离交流电源。
- 投影灯点亮时，请勿直视透镜。
- 请勿将手或物体放在通风孔附近。因为排出的空气很热。
- 小心不要被调节器夹住手指。在电源接通时，本机的动力倾斜度调节器自动伸出，并在电源关闭时，将自动收回。在调节器运转时，请勿触摸本机。在动力倾斜度调节器自动操作完成后，对其进行精细地调节。
- 请勿在本机下垫布或纸。

照明须知

- 为获得最佳图像，不可使屏幕正面暴露在直射光线或阳光之下。
- 建议使用吊装荧光灯。请用灯罩遮住荧光灯以免降低对比度。
- 用不透光的帷幕遮住面对屏幕的所有窗户。
- 最好将投影机安装在地板和墙壁都不是反光材料制成的房间内。如果地板和墙壁是反光材料制成的，最好将地毯和壁纸改为暗色的。

防止内部聚热须知

用 I/⏻ 键关闭电源后，在冷却扇还在运转时，请勿将本机的电源插头从墙上电源插座上拔出。

注意

投影机有通风（进气）孔和通风（排气）孔。请勿堵塞这些孔或在其附近放置任何物体，否则可能发生内部聚热，从而导致图像劣化或投影机受损。

清洁须知

- 为使机壳外观一往如新，请定期用软布清洁。顽固的污迹可用稍蘸中性洗涤剂的布擦除。切勿使用稀释剂、汽油或抛光剂等强性溶剂，否则会损坏机壳。
- 请勿触摸透镜。请用柔软的干布擦除透镜上的灰尘。请勿使用湿布、洗涤剂或稀释剂。
- 请定期清洁滤网。

关于液晶显示数据投影机

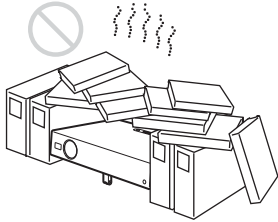
- 液晶显示数据投影机是采用高精密技术制造的。但您可能会在液晶显示数据投影机上发现有少许小黑点和（或）小亮点（红色、蓝色或绿色）。这是制造过程中的正常结果而非故障。

安装注意事项

不当安装

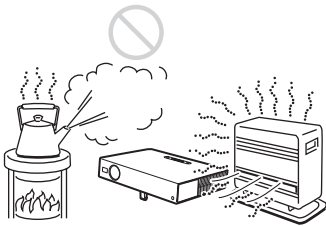
请勿将投影机安装在下列场所。否则可能导致故障或损坏投影机。

通风不良



- 保证通风良好以免内部热量聚积。请勿将本机放置在可能堵塞通风孔的（地毯、毛毯等）表面或（窗帘、帷幕等）物品附近。因堵塞而使内部热量聚积时，温度感应器将发出信息“操作温度过高！将在1分钟之后关灯”。电源将在1分钟之后自动关闭。
- 在本机四周留出30 cm 以上的空间。
- 小心通风孔可能会吸入微小物体，例如纸屑等。

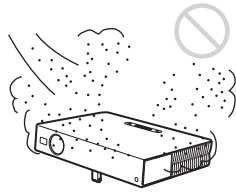
高温和高湿度



- 勿将本机安装在温度或湿度极高，或温度极低之处。
- 为避免湿气凝结，请勿将本机安装在温度可能迅速升高之处。

多尘

勿将本机安装在多尘之处，否则空气滤网会被堵塞。灰尘会阻碍空气透过滤网从而可能导致投影机内部热量升高。请定期清洁空气滤网。

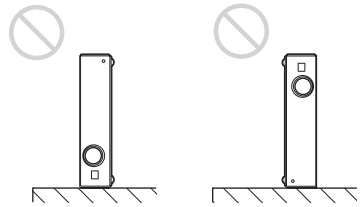


不适环境

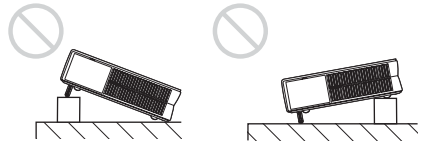
请勿在下列情况下使用投影机。

倾倒本机

勿在本机倾倒着的情况下使用。否则可能引起故障。

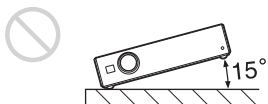


超出调节器设定范围倾斜本机



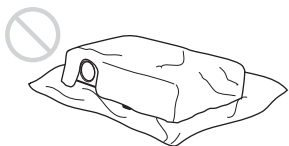
当本机处于超出调节器设定范围的倾斜状态时，请勿使用。这种安装方式可能会导致色彩阴影或大大缩短投影灯的寿命。

向右或左倾斜本机



不要将本机倾斜 15 度的角度，并且除了将本机放置在地板上或从天花板上悬挂外，不要以任何其它方式安装本机。这种安装可能导致彩色阴影或大大缩短投影灯的寿命。

堵塞通风孔



勿用物品盖住通风孔（排气/进气）；否则，内部热量会聚积。

有关通风孔（进气/排气）的详细信息，请参阅第 8 页上的“控制器的位置和功能”。

在高海拔地区使用

当在海拔 1,500 米或更高的地区使用投影机时，请打开安装设定菜单中的“高海拔高度模式”。

当在高海拔地区使用投影机时，如果没有设定此模式，可能会产生不利的效果，诸如降低某些组件的性能。

注意

本机是采用高精密度技术制造的。当运输存放于软包内的本机时，切勿掉下本机或使其遭受撞击，因为这样可能导致损坏。当将本机存放于软包中时，请断开交流电源线以及所有其它连接着的电缆，且将随机附带的附件保存在软包的口袋里。

特点

便于操作

• 智能自动设置功能

只需按电源键，投影机便自动执行使用前所需的设置。投影机打开透镜保护器，校正垂直梯形失真，且对投影机设定最适环境。此功能被称作智能自动设置。

为了便于操作，经常使用的键位于投影机顶部。

装备有短焦距透镜（仅限于 VPL-CS6/CX6 机型）

装备有短焦距透镜的投影机，以便即使在狭窄的空间里也能输出到大屏幕上。

接收各种输入信号

• 装有扫描转换器

本投影机有一内置式扫描转换器，它可转换 1024 × 768 点（VPL-CX6/EX1 机型）或 800 × 600 点（VPL-CS6 机型）以内的输入信号。

• 与各种输入信号兼容

本投影机接收复合、S 视频和分量视频信号及 VGA、SVGA、XGA、SXGA¹⁾ 和 SXGA+¹⁾ 信号，并进行显示。

• 与六种彩色制式兼容

可自动选择 NTSC，PAL，SECAM，NTSC_{4.43}²⁾，PAL-M，或 PAL-N 彩色制式。

1) SXGA 和 SXGA+ 信号仅可用于 VPL-CX6/EX1 机型。

2) NTSC_{4.43} 是在 NTSC_{4.43} 制式录像机上播放以 NTSC 录制的录像带时使用的彩色制式。

便于显示

• 外接装置装配简便

本投影机对输入信号有 38 种³⁾ (VPL-CX6/EX1 机型) 预设数据。只需随投影机附带的电缆连接外部装置, 就可以从外部信号源获取合适的图像。用 USB 电缆将投影机⁴⁾。与电脑相连接时, 可以将附带的遥控器用作无线鼠标器。也可以用投影机附带的应用软件 (Projector Station)⁵⁾ 从运行 Windows 98、Windows 98 SE、Windows ME、Windows 2000 或 Windows XP 的电脑上控制投影机。

便于使用遥控器

遥控器设有各种方便按键, 包括拉近图像的 D ZOOM 键, 以及装置被切断时维持所投影图像的 FREEZE 键。

Memory Stick 槽 (仅限于 VPL-CX6 机型)

通过将 Memory Stick 插入内置的 Memory Stick 槽中, 可以方便地在未连接电脑时显示。

高亮度、高画质

• 高亮度

采用 Sony 公司独特的、高效光学系统, 确保用 165W UHP 灯泡, 光输出 2000 ANSI 流明 (仅限于 VPL-CX6 机型), 1800 ANSI 流明 (仅限于 VPL-CS6 机型) 或 1500 ANSI 流明 (仅限于 VPL-EX1 机型)。
(该亮度值为工厂出厂时的典型值; 亮度设定为 100% 时)

• 高清晰度

对于 VPL-CX6/EX1 机型: 采用 3 个超高孔径 0.7 英寸、约 790,000 像素且微透镜排的 XGA 面板, 本投影机对 RGB 输入信号提供 1024 × 768 点 (水平/垂直) 的分辨率, 对视频输入信号提供 750 行电视线。

对于 VPL-CS6 机型: 采用 3 个超高孔径 0.7 英寸、约 480,000 像素的 SVGA 面板, 本投影机对 RGB 输入信号提供 800 × 600 点 (水平/垂直) 的分辨率, 对视频输入信号提供 600 行电视线。

便于携带

• 轻量/小型/简便的设计

本投影机通过小型化设计, 达到了重约 2.7 kg、大小如 B5 文件纸的尺寸。它的简单而精炼的设计适合于您的办公室。


安全锁

通过设定密码, 您能够安全锁定本投影机的功能。

3) VPL-CS6 机型可预设 25 种输入信号。

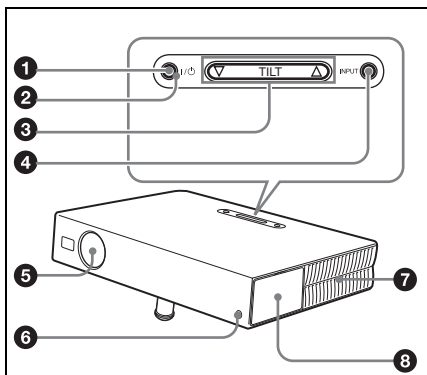
4) VPL-CS6 附有可用于无线鼠标的遥控器和 USB 电缆。

5) 应用软件 (Projector Station) 仅可被用于 VPL-CX6 机型。

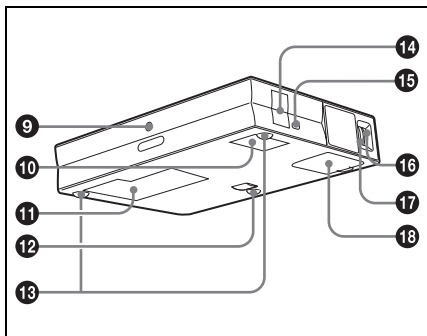
- Windows 是微软公司在美国和/或其他国家的注册商标。
- IBM PC/AT、VGA、SVGA、XGA 和 SXGA 是美国 IBM 公司的注册商标。
- Kensington 是肯辛顿技术组的注册商标。
- Macintosh 是苹果电脑公司的注册商标。
- VESA 是视频电子标准协会的注册商标。
- Display Data Channel 是视频电子标准协会的注册商标。
- Memory Stick 和  是 Sony 公司的注册商标。

控制器的位置和功能

上面/前面/左侧



后面/右侧/底面



- 1 I/⏻ (接通/待机) 键**
投影机处于待机状态时，用于接通投影机电源。在电源接通时，I/⏻键周围的ON/STANDBY指示灯点亮呈绿色。关闭电源时，请按照屏幕上的信息指示按两次I/⏻键，或按住该键约2秒钟。

有关关闭电源的详细步骤，请参见第27页上的“要关闭电源”。

- 2 ON/STANDBY 指示灯 (位于 I/⏻ 键周围)**

在以下情况时点亮或闪烁：

– 在交流电源线插头插入墙上电源插座时点亮呈红色。一旦进入待机状态，即可按 I/⏻ 键接通投影机电源。

– 在电源接通时点亮呈绿色。

– 按 I/⏻ 键关闭电源后，冷却扇转动时闪烁呈绿色。在关闭电源后，冷却扇会转动约 90 秒钟。

ON/STANDBY 指示灯在最初的 60 秒钟迅速闪烁。在此期间，按 I/⏻ 键也无法点亮 ON/STANDBY 指示灯。

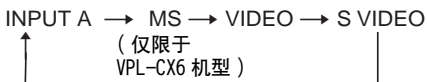
有关 LAMP/COVER 和 TEMP/FAN 指示灯的细节，请参见第 44 页。

- 3 TILT (倾斜度) 调节键**

有关细节，请参阅第 9 页上的“动力倾斜度调节器的使用方法”。

- 4 INPUT (输入) 键**

用于选择输入信号。每按一次此键，输入信号转换如下：



- 5 透镜保护器 (透镜盖板)**

当电源接通时，透镜保护器自动打开。

- 6 前方遥控检测器**

- 7 通风孔 (排气)**

- 8 控制/连接器面板**

有关细节，请参阅“控制面板”和第 10 页上的“连接器面板”。

- 9 后方遥控检测器**

- 10 通风孔 (进气)**

- 11 通风孔 (吸气)/灯盖**

- 12 动力倾斜度调节器**

13 调节器（后垫）

将调节器向右或向左旋转，用于微调所投影图像的倾斜度。

14 扬声器

15 安全锁

连接上一选购的安全缆线（肯辛顿制）。

网址：

<http://www.kensington.com/>

16 对焦圈

调整图像焦距。

17 变焦圈

调整图像尺寸。

18 通风孔（进气）/空气滤网盖板

注意

- 请勿在通风孔附近放置任何物体，否则可能引起内部聚热。
- 请勿将手或物体放在通风孔附近以防排出空气聚热。
- 为了保持最佳的工作状态，请每使用300小时清洁一次空气滤网。

有关细节，请参阅第40页上的“清洁空气滤网”。

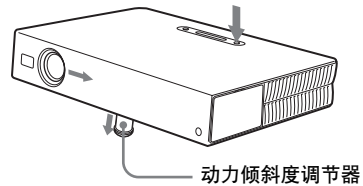
动力倾斜度调节器的使用方法

要调整高度时

按以下方法调整投影机的高度：

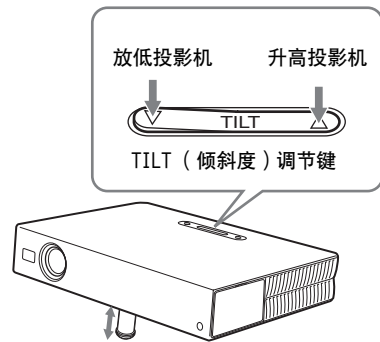
1 请按 I/⏻ 键。

透镜保护器打开，并且动力倾斜度调节器自动升高。调节器将停在以前所调节的位置。



2 按下 TILT 键上的 Δ 或 ▽ 以调节投影机的倾斜度。

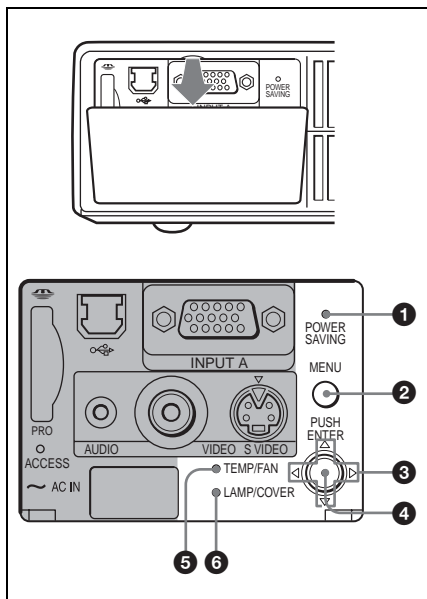
您可以按下遥控器上的 KEYSTONE 键（VPL-CS6/CX6 机型）或 D KEYSTONE 键（VPL-EX1 机型）以显示倾斜度菜单并且使用 ↑/↓/←/→ 键调节倾斜度。



注意

- 请小心勿使投影机压住您的手指。
- 请勿在动力倾斜调节器伸出时用力按压投影机顶部。否则可能会引起故障。

控制面板



- 1 POWER SAVING (节电) 指示灯**
在投影机处于节电方式时点亮。当操作设定菜单中“节电方式”项目被设定为“开”时，若持续 10 分钟无信号输入，投影机进入节电方式。投影灯熄灭，但冷却扇会继续转动。有信号输入或按了任何键后，节电方式即解除。在节电方式下，投影灯熄灭后，任何键在最初的 60 秒种都不起作用。
- 2 MENU (菜单) 键**
用于显示屏幕显示菜单。要消除该菜单时，再按一次该键。
- 3 箭头键 (△/▽/◀/▶)**
用于选择菜单或进行各种调整。
- 4 ENTER (输入) 键**
用于输入菜单系统中项目的设定值。

5 TEMP (温度) / FAN (风扇) 指示灯

在以下情况时点亮或闪烁：
– 投影机内部温度变得异常高时点亮。
– 风扇损坏时闪烁。

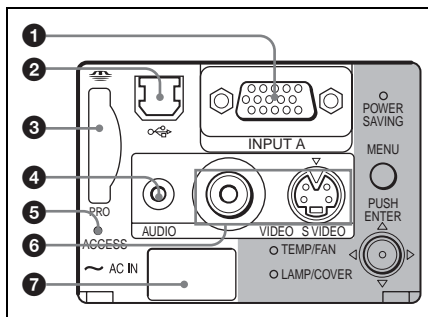
有关 TEMP/FAN 指示灯的细节，请参阅第 44 页。

6 LAMP (投影灯) / COVER (盖板) 指示灯

在以下情况时点亮或闪烁：
– 投影灯已无法再使用或高温时点亮。
– 灯盖或空气滤网盖未装严时闪烁。

有关 LAMP/COVER 指示灯的细节，请参阅第 44 页。

连接器面板



- 1 INPUT A (输入 A) 连接器 (HD D 副 15 芯, 雌)**
连接到外接装置，如电脑。
用随机附带的电缆连接电脑上的显示器输出端口。输入分量信号或 15k RGB 信号时，请使用选购的电缆。
有关细节，请参阅第 19 页上的“连接 15k RGB/ 分量装置”。

② USB 连接器 (上游 USB 插头, 4 芯)

连接至电脑的 USB 连接器。将投影机连接至电脑时, 可以用自带的遥控器控制鼠标器功能。(当您使用 VPL-EX1 机型时, 要求使用选购的遥控器进行用遥控器控制鼠标器功能。) 附带的应用软件 (仅限于 VPL-CX6 机型) 可以安装在连接于此连接器的电脑中。

③ Memory Stick 槽 (仅限于 VPL-CX6 机型)

Memory Stick 可以被插入。请勿插入 Memory Stick 以外的物体。

有关细节, 请参阅附带的关于 Memory Stick 的“操作说明”。

④ AUDIO (音频) (立体声微型插孔) 连接器

收听从电脑输出的声音时, 与电脑的音频输出连接。

收听从录像机输出的声音时, 与录像机的音频输出连接。

⑤ 存取灯 (仅限于 VPL-CX6 机型)

在访问 Memory Stick 过程中, 此灯点亮。

在存取灯点亮时, 请勿取出 Memory Stick。

⑥ 视频输入连接器

连接到外接视频装置, 如录像机。

- VIDEO (视频) (屏蔽型): 连接视频装置的复合视频输出端口。
- S VIDEO (S 视频) (微型 DIN 4 芯): 连接视频装置的 S 视频输出 (Y/C 视频输出) 端口。

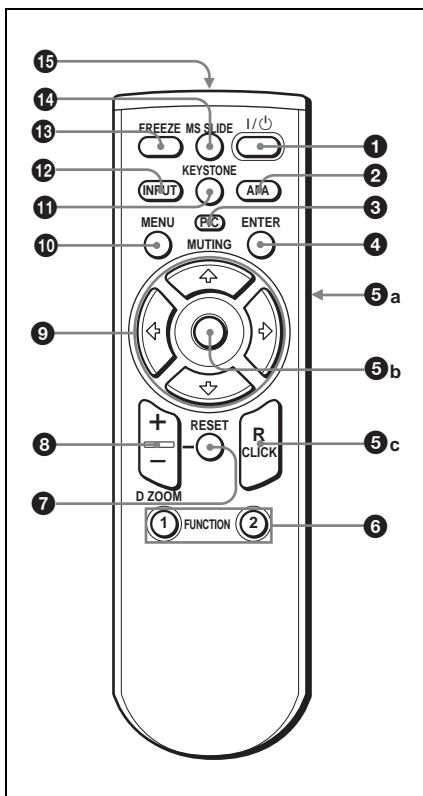
⑦ AC IN (交流电输入) 插座

用于连接随机附带的交流电源线。

遥控器

与控制面板上的键名称相同的遥控器按键, 其功能也相同。

关于 VPL-CS6/VPL-CX6 机型



① I/ON (接通/待机) 键

② APA (自动像素校正) 键

输入来自电脑的信号时, 用于自动将要投影的图像调整至最清晰。在操作设定菜单中“智能 APA”被设为“关”时, 使用该键。通常设为“开”。

注意

- 当完整的图像显示在屏幕上时, 按 APA 键。如果图像周围有黑边, APA 功能无法正常运作, 且图像可能超出屏幕。

- “调节” 出现在屏幕上时，再次按 APA 键可取消调节。
- 根据输入信号的种类不同，图像可能无法正确调整。
- 手动调整图像时，请调整输入设定菜单中的“点相位”、“尺寸 H”和“移位”项目。

③ PIC MUTING (图像减弱) 键

用于暂时减弱图像的色调。再按一次此键可恢复图像。

④ ENTER (输入) 键

⑤ 这些键仿效一个鼠标器

这些键的功能与通过 USB 电缆和投影机连接的电脑的鼠标键相同。

- a) L Click (左点按) 键 (后面): 发挥鼠标器上左侧按钮的作用。
- b) 操纵杆
- c) R Click (右点按) 键: 发挥鼠标器上右侧按钮的作用。

注意

只有在使用 USB 电缆将投影机连接到电脑上时，这些键的功能才与电脑鼠标键的功能相同。

有关细节，请参阅第 24 页上的“要用随机附带的遥控器控制电脑”。

⑥ FUNCTION (功能) 1, 2 键 (仅限于 VPL-CX6 机型)

将投影机连接至电脑时，只需按 FUNCTION 键便可打开屏幕上的文件。这样便可增强您的发表效果。要使用此功能时，请用所附带的应用软件将文件分配给 FUNCTION 键。

有关细节，请参阅应用软件附带的 README 文件和 HELP 文件。

注意

使用 USB 电缆将电脑连接到投影机上以便激活 FUNCTION 键。

有关细节，请参阅第 17 页上的“连接 IBM PC/AT 兼容电脑”。

⑦ RESET (重设) 键

用于将某项目值恢复其出厂预设值，或将放大的图像恢复其原来的尺寸。此键在菜单或设定项目显示在屏幕上时起作用。

⑧ D ZOOM (数字变焦) + / - 键

用于在屏幕上所需位置放大图像。

+ : 单击 + 键显示图标。该图标表示所要放大的位置。用箭头键 (↑/↓/←/→) 将图标移至您想要放大的位置。反复按 + 键直至该图像被放大到所需的尺寸。

- : 按 - 键将已用 D ZOOM (数字变焦) + 键放大的图像缩小。

⑨ 箭头键 (↑/↓/←/→)

⑩ MENU (菜单) 键

⑪ KEYSTONE (调整梯形失真) 键

用于手动调整投影机的倾斜度，或图像梯形失真。每按一次此键，倾斜度菜单和调整梯形失真菜单会交替显示。对于调整可使用箭头键 (↑/↓/←/→) 进行调整。

⑫ INPUT (输入) 键

⑬ FREEZE (固定) 键

用于固定所投影的图像。要取消固定图像时，请再按此键。

⑭ MS SLIDE (MS 幻灯片) 键 (仅限于 VPL-CX6 机型)

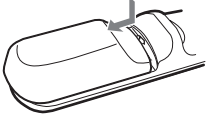
用于执行放映幻灯片。输入的信号是非 MS 时，将切换到 MS。要开始放映幻灯片，请再按一次此键。

⑮ 红外发射器

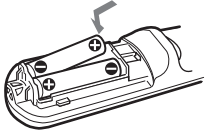
安装电池

- 1 按压并推开电池盖，然后以正确的极性装入两节 AA 尺寸 (R6) 电池 (随机附带)。

在按住盖子的同时推动。

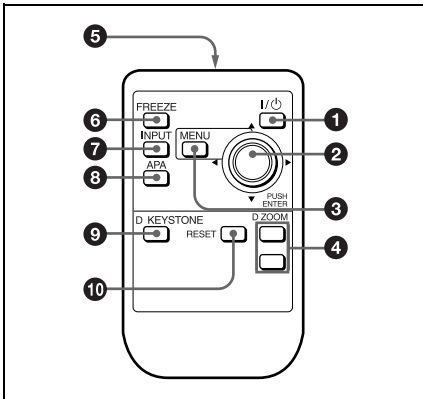


务必先装入电池的 ⊖ 极。



- 2 装回电池盖。

对于 VPL-EX1 机型



- 1 I/⏻ (接通/待机) 键
- 2 ENTER (输入) / 箭头键 (↑/↓/←/→)
按压此键的中央以使用 ENTER (输入) 键。
- 3 MENU (菜单) 键

- 4 D ZOOM (数字变焦) +/- 键
用于在屏幕上的所需位置放大图像。

+ : 单击 + 键显示图标。该图标表示所要放大的位置。用箭头键 (↑/↓/←/→) 将图标移至您想要放大的位置。反复按 + 键直至该图像被放大到所需的尺寸。

- : 按 - 键将已用 D ZOOM (数字变焦) + 键放大的图像缩小。

- 5 红外发射器

- 6 FREEZE (固定) 键

用于固定所投影的图像。要取消固定图像时，请再按此键。

- 7 INPUT (输入) 键

- 8 APA (自动像素校正) 键

输入来自电脑的信号时，用于自动将图像调整至最清晰。在操作设定菜单中“智能 APA”被设为“关”时，使用该键。通常设为“开”。

- 9 D KEYSTONE (数字调整梯形失真) 键

用于手动调整投影机的倾斜度，或图像梯形失真。每按一次此键，倾斜度菜单和垂直梯形失真校正菜单会交替显示。使用箭头键 (↑/↓/←/→) 进行调整。

- 10 RESET (复原) 键

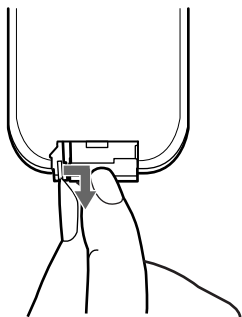
用于将某项目值恢复其出厂预设值，或将放大的图像恢复其原来的尺寸。此键仅在菜单或设定项目显示在屏幕上时起作用。

使用遥控器之前应注意

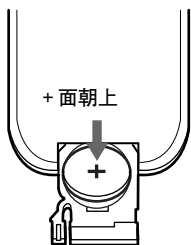
请从锂电池固定器上去除透明膜。

若要替换电池

- 1 摘掉锂电池固定器以解开锁，然后从遥控器取出固定器。



- 2 安装锂电池。



- 3 将锂电池固定器放回到遥控器中。

关于锂电池的注意事项

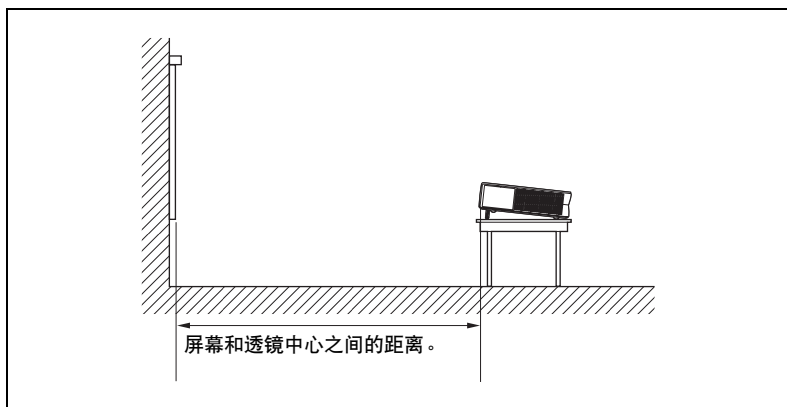
- 将电池置于小孩够不到的地方。
- 如果电池被吞咽，应立即去医院。

关于遥控器操作的注意事项

- 确保在遥控器和投影机上的遥控检测器之间无阻碍红外光束之物。请将遥控器直接对准前方或后方的遥控检测器。
- 有效操作范围是有限的。遥控器和投影机之间的距离越短，遥控器可控制投影机的角度就越宽。

安装投影机

本节说明如何安装投影机。
透镜和屏幕之间的距离依屏幕尺寸而异。请参照下表。



VPL-CS6/VPL-CX6

单位：米

屏幕尺寸	40	60	80	100	120	150
最小距离	1.2	1.9	2.5	3.2	3.8	4.7
最大距离	1.5	2.3	3.0	3.8	4.6	5.7

在实际值和上面表中所显示的设计值之间可能有微小的差异。

VPL-EX1

单位：米

屏幕尺寸	40	60	80	100	120	150
最小距离	1.5	2.3	3.1	3.9	4.7	5.9
最大距离	1.9	2.9	3.8	4.8	5.7	7.2

在实际值和上面表中所显示的设计值之间可能有微小的差异。

注意

当要通过从天花板悬挂来使用投影机时，请与 Sony 公司专业技术人员咨询。（收费）

连接投影机

在连接投影机时，请确保：

- 在进行任何连接之前，关闭所有装置的电源。
- 使用正确的电缆进行各种连接。
- 牢固插入电缆的插头；不牢固的连接可能增加噪音和降低图像信号的性能。拔出电缆时，务必拿住插头将其拔出，不可拉扯电缆本身。

请参阅下一页和以后各页上的图示连接投影机。

连接电脑

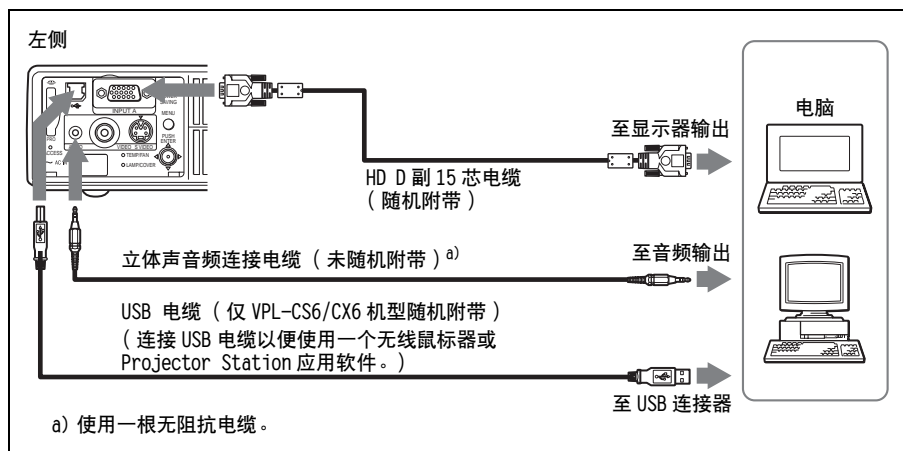
本节说明如何连接投影机至电脑。
欲知详情，请参阅电脑使用说明书。

注意

- 本投影机接收 VGA, SVGA, XGA, SXGA（仅限于 VPL-CX6/EX1 机型）和 SXGA+（仅限于 VPL-CX6/EX1 机型）信号。但是，对于外接显示器，建议最好将电脑的输出方式设定为 XGA 方式（VPL-CX6/EX1 机型）或 SVGA 方式（VPL-CS6 机型）。
- 若将电脑，如笔记本型，设定为同时向电脑的显示屏和外接显示器输出信号，外接显示器的图像可能不会正常显示。此时，请将电脑的输出方式设定为仅向外接显示器输出信号。
有关细节，请参阅随电脑附带的使用说明书。
- 本机与 DDC2B（数字数据频道 2B）兼容。若您使用的电脑也与 DDC 兼容，请按照以下步骤打开投影机的电源。

- 1 使用随机附带的 HD D 副 15 芯电缆将本机与电脑相连接。
- 2 打开本机电源。
- 3 启动电脑。

连接 IBM PC/AT 兼容电脑



关于 USB 功能

首次用 USB 电缆连接电脑和投影机时，电脑可自动识别以下装置。

- 1 USB 集线器 (通用) (仅限于 VPL-CX6 机型)
- 2 USB 人机界面装置 (无线鼠标器功能)
- 3 USB 人机界面装置 (投影机控制功能) (仅限于 VPL-CX6 机型)

推荐的操作环境

使用 USB 功能时，如上图所示连接 USB 电缆。应用软件和 USB 功能可以在预先安装 Windows 98、Windows 98 SE、Windows ME、Windows 2000 或 Windows XP 的电脑上使用。

注意

- 当电脑通过 USB 电缆与投影机相连时，电脑可能无法正常启动。此时，请先拔下 USB 电缆重新启动电脑，然后再用 USB 电缆将电脑与投影机相连接。
- 在暂停和待机模式下不能保证本投影机的使用。在暂停和待机模式下使用本投影机时，请切断投影机与电脑 USB 接口的连接。
- 当从 VPL-EX1 机型上控制电脑的鼠标时，需要选购一个遥控器及 USB 电缆。
- 不能保证在所有推荐电脑环境下的操作。

连接 Macintosh 电脑

连接装备双排芯型视频输出连接器的 Macintosh 电脑，请使用市售的插头适配器。在使用 USB 电缆将可用 USB 的 Macintosh 电脑连接到投影机上时，无线鼠标器功能变为有效。

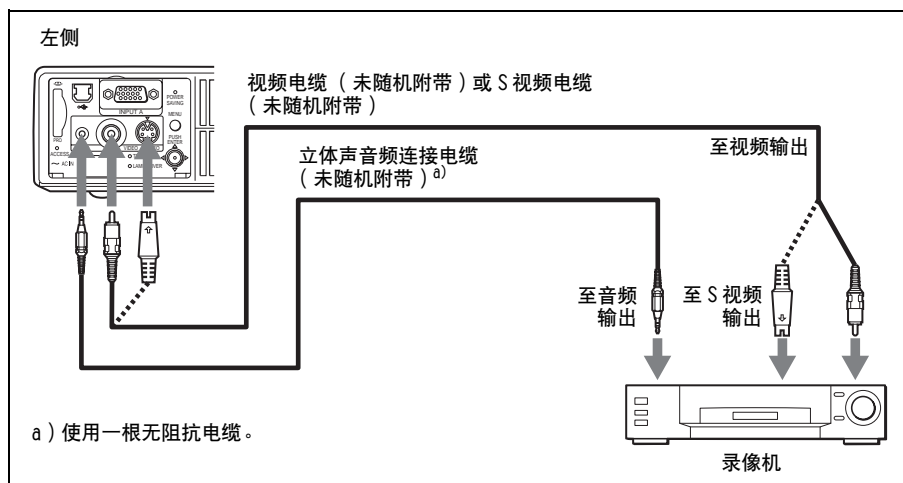
注意

随机附带的软件不能在 Macintosh 电脑上运行。

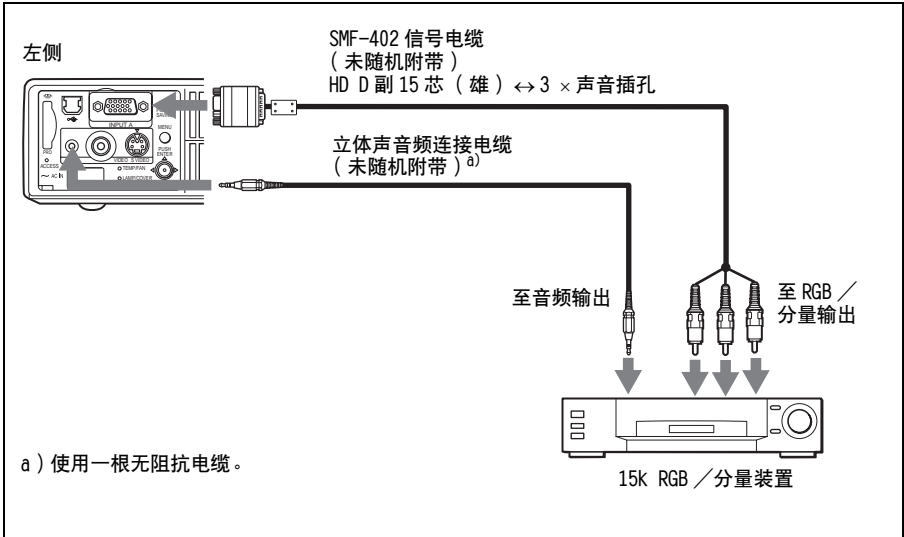
连接录像机或 15k RGB/ 分量装置

本节说明如何将本机与录像机和 15k RGB/ 分量装置相连接。欲知详情，请参照要连接装置的使用说明书。

连接录像机



连接 15k RGB/ 分量装置



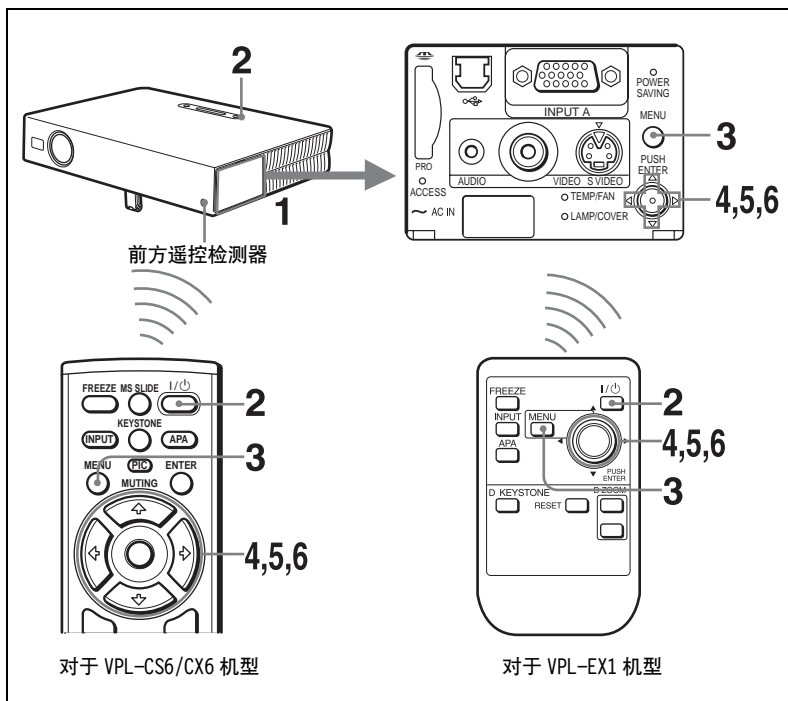
注意

- 根据输入信号，请使用输入设定菜单中的“宽模式”项目设定纵横比。
- 本机与 15k RGB 或分量视频装置连接时，用操作设定菜单中的“输入 A 信号选择”设定选择视频 GBR 或分量信号。
- 在由 15k RGB / 分量装置输入外接同步信号时，请使用复合同步信号。

选择菜单语言

可以从 13 种语言中选择一种用于显示菜单和其它屏幕显示的语言。出厂预设值为英语。

要改变菜单语言，请进行如下操作：



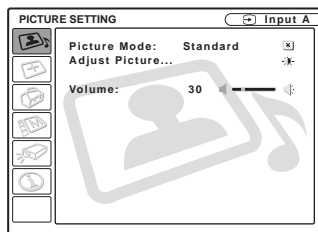
1 打开连接器面板，然后将交流电源线插入墙上的电源插座。

2 按 I/⏻ 键接通投影机电源。

3 按 MENU 键。

菜单显示。

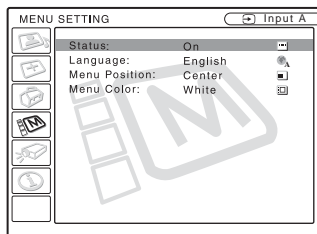
当前所选菜单以黄色钮显示。



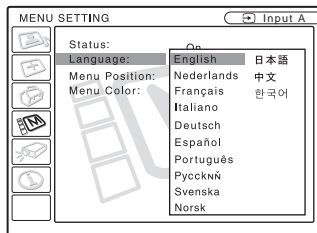


- 按 **↑** 或 **↓** 键选择 MENU SETTING (菜单设定) 菜单, 然后按 **→** 或 ENTER 键。

显示所选菜单。



- 按 **↑** 或 **↓** 键选择 “Language” (语言), 然后按 **→** 或 ENTER 键。



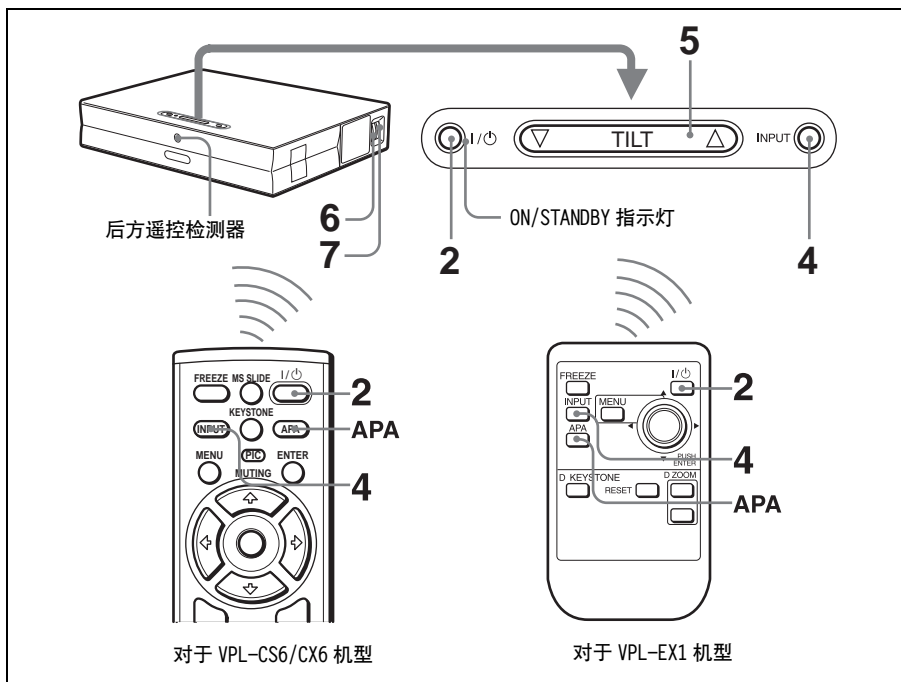
- 按 **↑**, **↓**, **←** 或 **→** 键选择一种语言, 然后按 ENTER 键。
菜单语言改变为所选语言。

取消菜单

按 MENU 键。

若 1 分钟内未按任何键, 菜单将自动取消。

投影



1 打开连接器面板，将交流电源线插头插入墙上电源插座，然后连接所有装置。

ON/STANDBY 指示灯点亮呈红色，投影机进入待机状态。


2 按 I/ON 键。

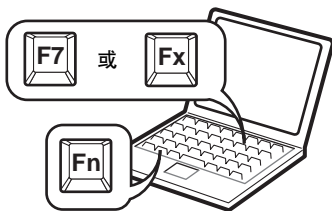
ON/STANDBY 指示灯点亮呈绿色且智能自动设置开始。透镜保护器打开，且动力倾斜度调节器升高并停在以前所调节的位置。

注意

在投影机被接通电源时，启动屏幕被弹出（仅限于 VPL-CX6 机型）。有关启动屏幕的详情，请参阅附带的“关于 Memory Stick（记忆杆）的操作说明”。

3 接通连接到投影机的装置的电源。

根据电脑类型，例如笔记本型或全屏液晶显示型，您可能必须通过按特定键（如 LCD/VGA,  等）或改变电脑的设置切换电脑使之输出到投影机上。



4 按 INPUT 键选择输入源。

输入源	按 INPUT 键显示
与 INPUT A 连接器连接的电脑	输入 A
Memory Stick 插入到 Memory Stick 槽（仅限于 VPL-CX6 机型）	MS
与 VIDEO 输入连接器连接的视频装置	视频
与 S VIDEO 输入连接器连接的视频装置	S 视频

智能 APA（自动像素调整）调节所连接装置的图像以使其被清晰地投影。

注意

- 若“自动输入搜索”被设为“开”，投影机从所连接的装置搜索信号，且显示所发现的输入信号的输入频道。

有关详情，请参阅第 35 页上操作设定菜单中的“自动输入搜索”。

- 智能 APA 仅对来自电脑上的输入信号有效。

5 通过按 TILT 键调整图像的位置。

要使用遥控器调整图像的位置，请按遥控器上的 KEYSTONE 键（VPL-CS6/CX6 机型）或 D KEYSTONE 键（VPL-EX1 机型）以显示倾斜度菜单，然后用 ↑/↓/←/→ 键调整倾斜度。

有关 TILT 调整键的细节，请参阅第 9 页上的“动力倾斜度调节器的使用方法”。

注意

在用 TILT 键调整动力倾斜度调节器时，将同时被执行自动梯形失真校正调整器。若您不想执行自动梯形失真调整，请将垂直梯形失真校正菜单设为“手动”。（参见第 37 页。）

6 转动变焦圈调整图像的尺寸。

7 转动对焦圈调整聚焦。

注意

根据房间温度或屏幕角度的不同，自动垂直梯形失真校正调整器可能无法正确校正梯形失真。此时，请进行手动调节。按压遥控器上的 KEYSTONE 键（VPL-CS6/CX6 机型）或 D KEYSTONE 键（VPL-EX1 机型），直至“垂直梯形失真校正”显示在屏幕上，然后用 **↑/↓/←/→** 键调整数值。所校正的数值至关闭电源时是有效的。

小心

投影时直视透镜可能会损伤您的眼睛。

要从智能自动设置功能切换到手动调整

您可使用菜单将如下功能从智能自动设置切换到手动调整。

- **垂直梯形失真校正（梯形失真的校正）**
将安装设定菜单中的“垂直梯形失真校正”项目设为“手动”。
- **智能 APA（自动像素调整）**
将操作设定菜单中的“智能 APA”设为“关”。
- **自动输入搜索**
将操作设定菜单中的“自动输入搜索”设为“关”。

关于菜单操作的详细情况，请参阅第 30 页上的“使用菜单”。

要调节音量

音量可在屏幕菜单中调整。请参阅第 32 页上的图像设置菜单中的“音量”。

要暂时减弱图像的色调（仅限于 VPL-CS6/CX6 机型）

按遥控器上的 PIC MUTING 键。再按一次该键以恢复图像。

要用随机附带的遥控器控制电脑

用 USB 电缆将 IBM PC/AT 兼容电脑与投影机连接时，可用遥控器控制电脑鼠标。

R/L CLICK 键和操纵杆功能如下所示：

键和操纵杆	功能
R CLICK（前）	右键
L CLICK（后）	左键
操纵杆	对应于鼠标器动作。

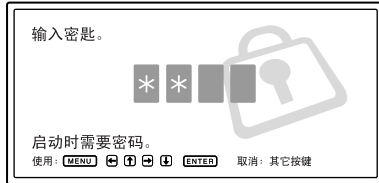
关于 USB 连接器的详细情况，请参阅第 17 页上的“连接 IBM PC/AT 兼容电脑”。

注意

确保在遥控器和投影机上的遥控检测器之间无阻碍红外光束之物。

若要使用安全锁

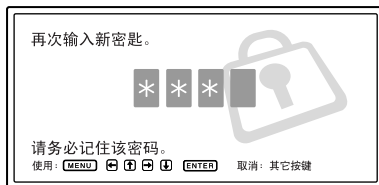
- 1 请按安装设定菜单上的 MENU（菜单）键，然后打开“安全锁”设定。
- 2 输入密码。
使用 MENU，↑/↓/←/→，和 ENTER 键以输入四位数的密码。（默认设定为“ENTER，ENTER，ENTER，ENTER”。）



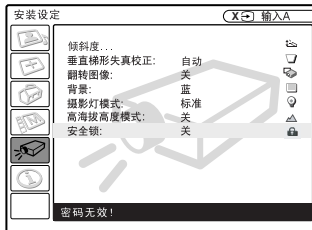
接着，用于输入新密码的屏幕被显示。（即使您想保存当前密码，在此屏幕上输入密码。）



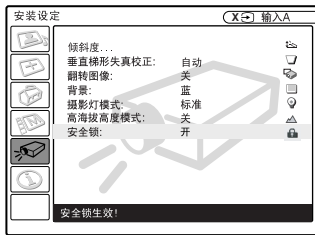
- 3 再次输入密码以确认。



若输入错误的密码，菜单屏幕上显示“密码无效”信息。



4 安全锁被完成。



注意

- 如果您忘记密码并且密码管理人是无效时，您将无法使用投影机。在此情形下，应意识到安全锁也可妨碍有效使用。建议您对所选的密码作一记录。
- 一旦安全锁被设定且主电源被关闭，当下次电源被接通时，用于输入密码的屏幕将被显示。输入已设置的密码。如果您三次输入了不正确的密码，投影机将无法被使用。在此情况下，请按 I/⏻ 键关闭电源。
- 如果在第 2 部和第 3 步中没有输入正确的密码，或按了 MENU (菜单)，箭头键 (↑/↓/←/→)，和 ENTER 键以外的其它键，安全锁将未被设定。
- 若因为您忘记密码而打电话给售后服务中心，您将需要校验投影机的序列号和您的身份。(在其它国家，这个程序可能不同。) 一旦身份已被确认，我们将提供密码给您。

要关闭电源

1 按 I/⏻ 键。

屏幕显示“电源关闭？请再次按 I/⏻ 键”，以确认是否要关闭电源。

注意

若按了 I/⏻ 键以外的任何键，或有 5 秒钟未按任何键，该信息将消失。

2 再按一次 I/⏻ 键。

动力倾斜度调节器收回到投影机中，并且透镜保护器关闭。ON/STANDBY 指示灯闪烁呈绿色，而风扇将继续运转约 90 秒钟以降低内部热量。而且，ON/STANDBY 指示灯在最初的 60 秒钟迅速闪烁。在此期间，按 I/⏻ 键也无法再点亮 ON/STANDBY 指示灯。

3 在风扇停止运转，并且 ON/STANDBY 指示灯点亮呈红色后，将交流电源线插头从墙上插座拔出。

无法确认屏幕上的信息时

在特定条件下无法确认屏幕上的信息时，可通过按住 I/⏻ 键约 2 秒钟关闭电源。

注意

风扇仍在运转时，请勿拔出交流电源线插头；否则，即使在内部热量很高时风扇也会停止运转，由此可能导致损坏投影机。

空气滤网须知

为了保持最佳的工作状态，请每使用 300 小时清洁空气滤网一次。

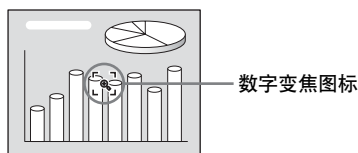
有关细节，请参阅第 40 页上的“清洁空气滤网”。

要放大图像（数字变焦功能）

您可以选择图像的某一位置进行放大。此功能在从电脑输入信号时或在投影存储在 Memory Stick 中的静止图像（除活动图像）时工作（仅限于 VPL-CX6 机型）。

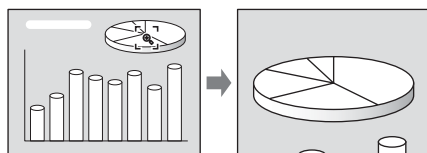
此功能在输入视频信号时不工作。

- 1 投影一个标准图像，并按遥控器上的 D ZOOM + 键。
数字变焦图标出现在图像的中央。

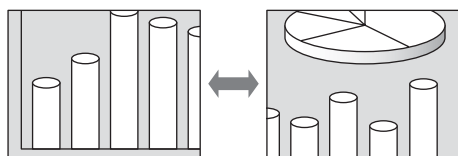


- 2 将图标移至您想要放大图像的位置。使用箭头键（↑/↓/←/→）移动图标。
- 3 再次按 D ZOOM + 键。

图标标示的图像部分被放大。放大比例显示在屏幕上数秒钟。通过反复按+键，图像尺寸增大（放大比例：最大4倍）。



按箭头键（↑/↓/←/→）滚动所放大的图像。



要使该图像恢复其原来尺寸时

按 D ZOOM - 键。

只需按 RESET 键便可将图像立即恢复其原来的尺寸。

要固定所投影的图像（固定功能）

按 FREEZE 键。按此键时出现“固定”字样。此功能在从电脑输入信号时或在投影存储在 Memory Stick 中的静止图像时工作（仅限于 VPL-CX6 机型）。

要恢复原画面，请再按 FREEZE 键。

使用菜单

本投影机配备有用于进行各种调整和设定的屏幕显示菜单。设定项目显示在弹出菜单或下拉菜单中。若选择一个带有圆点的项目名称 (...), 有设定项目的下拉菜单会出现。您可改变菜单显示的色调和更换屏幕显示菜单所使用的语言。

要更换菜单语言, 请参阅第 20 页上的“选择菜单语言”。

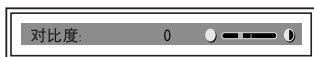
显示项目

输入信号指示灯



输入信号设定指示灯

图像调整菜单



输入信号指示灯

显示所选择的输入频道。在无信号输入时, 显示 x(▶)。可用菜单设定中的“状态”项目隐藏此显示。

输入信号设定指示灯

输入 A: 显示“电脑”、“分量”或“视频信号输入 GBR”。

输入视频/S 视频: 在操作设定菜单中显示“自动”或“彩色制式”设定。

- 1 按 MENU 键。
菜单显示。
当前所选菜单以黄色钮显示。

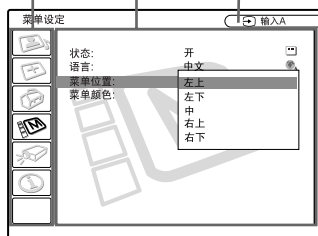


- 2 用 ↑ 或 ↓ 键选择一个菜单, 然后按 → 或 ENTER 键。
显示所选菜单。

- 3 选择项目。
用 ↑ 或 ↓ 键选择项目, 然后按 → 或 ENTER 键。
设定项目显示在弹出菜单或下拉菜单中。

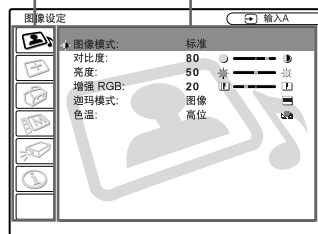
弹出菜单

菜单 设定项目 选择输入信号



下拉菜单

菜单 设定项目



4 对某一项目进行设定或调整。

- 改变调整值时：
要增加数值，按 **↑** 或 **→** 键。
要减少数值，按 **↓** 或 **←** 键。
按 ENTER 键，恢复原画面。
- 改变设定时：
按 **↑** 或 **↓** 键改变设定。
按 ENTER 或 **←** 键，恢复原画面。

在设定菜单语言时，请参阅第 20 页上的“选择菜单语言”。

要取消菜单

按 MENU 键。

若 1 分钟内未按任何键，菜单将自动取消。

要使已调整项目的设定复原

按遥控器上的 RESET 键。

“完毕！”出现在屏幕上，且屏幕上出现的各种设定被复原为其出厂预设值。

可复原的项目为：

- 调整图像... 菜单中的“对比度”、“亮度”、“色彩”、“色调”、“锐度”和“增强 RGB”。
- 调整信号... 菜单中的“点相位”、“尺寸 H”和“移位”。

关于设定值的存储

设定值被自动存入投影机的存储器中。

无信号输入时

若无信号输入时，“无法调节此项目”出现在屏幕上。

关于菜单显示

您可以根据您的爱好设定菜单的显示位置、背景图像的亮度和菜单项目的色调。

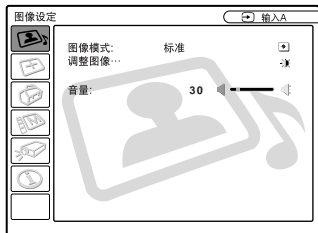
有关细节，请参阅第 36 页上的“菜单设定”。

图像设置菜单

图像设置菜单用于调整图像或声音。

根据输入信号不同，菜单中无法调整的项目不显示。

有关无法调整的项目的细节，请参阅第 49 页。



菜单项目

图像模式

选择图像模式。

动态：强调对比度以产生“动态”图像。

标准：通常选择此设定。若在“动态”设定时图像有粗糙感，此设定可减少粗糙感。

音量

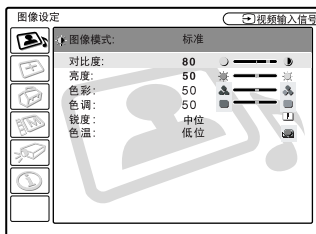
调节音量。

调整图像... 菜单项目

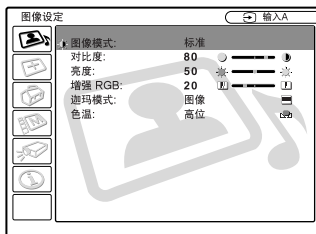
对于每个“动态”或“标准”图像模式，本机可以分别存储下列下拉菜单项目的设定值。

调整图像...

输入视频信号时



输入 RGB 信号时



对比度

调节图像对比度。设定值越高，图像暗部和亮部之间的对比度越大。设定值越低，对比度越小。

亮度

调节图像亮度。设定值越高，图像越亮。设定值越低，图像越暗。

色彩

调节色彩浓度。设定值越高，浓度越大。设定值越低，浓度越小。

色调

调整色调。设定值越高，图像越偏绿。设定值越低，图像越偏紫。

锐度

从“高位”、“中位”和“低位”中选择图像锐度。“高位”设定值使图像鲜明；“低位”设定值使其柔和。

增强 RGB

输入 RGB 信号时调节图像锐度。

设定值越高，图像越鲜明。设定值越低，图像越柔和。

伽玛模式

选择一种伽玛校正曲线。

图像：改善中间色调的再现效果。照片可以自然色调再现。

文本：增强黑白对比度。适用于含大量文字的图像。

色温

调节色温。

高位：使白色偏蓝。

低位：使白色偏红。

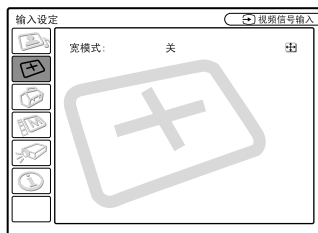
输入设定菜单

输入设定菜单用于调整输入信号。

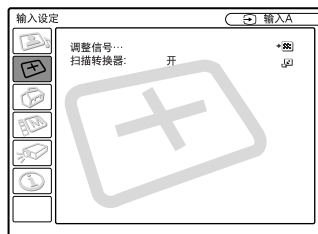
根据输入信号不同，菜单中无法调整的项目不显示。

有关无法调整的项目的细节，请参阅第 49 页。

输入视频信号时



输入 RGB 信号时



菜单项目

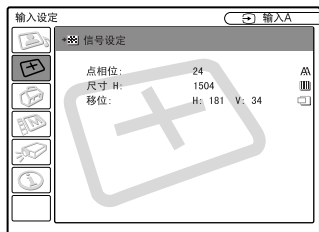
宽模式

设定图像的纵横比。从 DVD 播放机等装置输入 16:9（压缩）信号时，设定为开。

关：输入纵横比为 4:3 的图像时。

开：输入纵横比为 16:9（压缩）的图像时。

调节信号 ... 菜单项目 (仅在输入 RGB 信号时)



点相位

调整液晶显示面板和从电脑输出信号的点相位。

在按 APA 键调整图像之后进一步调整，以获取更清晰的图像。
将图像调整至最清晰。

尺寸 H

调整从连接器输出图像的水平尺寸。设定值越高，图像的水平尺寸越大。设定值越低，图像的水平尺寸越小。请根据输入信号的点数调整设定值。

关于预设信号合适值的详细说明，请参阅第 50 页。

移位

调整图像的位置。H 调整图像的水平位置。V 调整图像的纵向位置。随着 H 设定值的增大，图像向右移动；随着该设定值的减小，图像向左移动。

随着 V 设定值的增大，图像向上移动；随着该设定值的减小，图像向下移动。用 ← 或 → 键调整水平位置，用 ↑ 或 ↓ 键调整纵向位置。

扫描转换器

转换信号以根据屏幕尺寸显示图像。

开：根据屏幕尺寸显示图像。图像清晰度将下降。

关：在匹配输入图像信号和液晶显示屏的像素时显示图像。图像清晰但图像尺寸会变小。

注意

- 输入 XGA, SXGA 或 SXGA+ 信号时，此项目不会显示出来 (VPL-CX6/EX1 机型)。
- 输入 SVGA 或 XGA 信号时，此项目不会显示出来 (VPL-CS6 机型)。

关于预设存储号码

本投影机连接器有 38 种输入信号 (对于 VPL-CX6/EX1 机型) (VPL-CS6 机型有 25 种) 预设数据 (预设存储器)。输入预设信号时，本投影机自动检测信号类型，并从预设存储器中调用该信号的数据以调整该信号获得最佳图像。该信号的存储号码和信号类型显示在信息菜单中 (请参阅第 38 页)。也可由输入设定菜单调整预设数据。

本投影机对 INPUT-A 连接器还有 20 种用户存储，可存储非预设输入信号的调整数据的设定值。

第一次输入非预设信号时，存储号码显示为 0，若在输入设定菜单中调整了信号数据，它将被登录于投影机中。如果登录了 20 种以上用户存储时，最新的存储值会自动取代最旧值。

参阅第 50 页的表格，查明信号是否已登录于预设存储器。

因为从预设存储器调用下列信号的数据，可通过调整“尺寸H”项目使用这些预设数据。通过调整“移位”项目进行精细调整。

信号	存储号码	尺寸
Super Mac-2	23	1312
SGI-1	23	1320
Macintosh 19"	25	1328
下列各项仅限于 VPL-CX6/EX1 机型。		
Macintosh 21"	27	1456
Sony News	36	1708
PC-9821 1280x1024	36	1600
WS Sunmicro	37	1664

注意

输入信号的纵横比不是 4:3 时，部分画面显示为黑色。

操作设定菜单

操作设定菜单用于改变投影机的操作设定。



菜单项目

智能 APA

激活或停用智能 APA¹⁾。

开：通常选择此设定。在从电脑输入信号时，APA 自动执行以便可以清晰地看到图像。一旦所指定的输入信号被智能 APA 调整，即使在电缆断开并重新连接或改变输入频道时，将不会重新调整。即使智能 APA 设为“开”，您也可通过按遥控器上的 APA 键调整图像。

关：在您按遥控器上的 APA 键时，APA 工作。

1) 对于来自电脑的输入信号，APA（自动像素调整）自动调整输入设定菜单中的“点相位”、“尺寸H”和“移位”。

自动输入搜索

通常设为“关”。

在设为“开”时，投影机按照以下顺序检测输入信号：输入 A/MS（仅限于 VPL-CX6 机型）/视频/S 视频。在电源接通或 INPUT 键被按下时，将显示输入频道。

输入 A 信号选择

选择由 INPUT A 连接器输入的电脑、分量或视频 GBR 信号。

注意

如果该设定不正确，图像色彩变得异常或“请确认输入 A 设定”出现在屏幕上，并且不显示图像。

彩色制式

选择输入信号的彩色制式。

若选择“自动”，投影机将自动检测输入信号的彩色制式。若图像失真或无色彩，根据输入信号选择彩色制式。

节电方式

设定为“开”时，在无信号输入状态下，若持续 10 分钟未操作本机，投影机即进入节电方式。

红外线接受器

选择投影机前面和后面的遥控探测器（红外线接受器）。

前面或后面：同时激活前面和后面探测器。

前面：仅激活前面探测器。

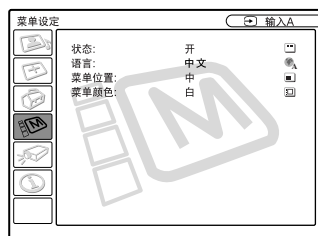
后面：仅激活后面探测器。

照明

选择当投影机接通电源时投影机后部的 SONY 标志图是否点亮。通常此设定为“开”。若想使之完全变黑或认为此设定不必要，请改变此设定为“关”。

菜单设定

菜单设定菜单用于改变投影机的操作设定。



菜单项目

状态（屏幕显示）

设定屏幕显示状态。

开：显示所有屏幕显示内容。

关：除菜单、关闭电源时的信息和警告信息之外，关闭所有屏幕显示内容。

语言

选择用于菜单和屏幕显示的语言。

可供选择的语言有：英语，荷兰语，法语，意大利语，德语，西班牙语，葡萄牙语，俄语，瑞典语，挪威语，日语，汉语和韩国语。

菜单位置

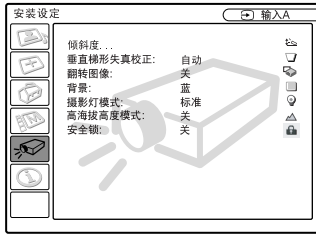
从左上、左下、中、右上和右下中选择菜单的显示位置。

菜单颜色

从黑或白中选择菜单显示的色调。

安装设定菜单

安装设定菜单用于改变投影机的安装设定。



菜单项目

倾斜度 ...

用于调整所投影图像的位置（高度）。 按压 TILT 调整键上的 Δ 或遥控器上的 \uparrow/\rightarrow 键，投影机倾斜度越大，图像的位置越高。 按压 TILT 调整键上的 ∇ 或遥控器上的 \downarrow/\leftarrow 键，投影机倾斜度越小，图像的位置越低。

垂直梯形失真校正

校正因投影角度所引起的梯形失真。 自动校正时请选择“自动”，或使用 \leftarrow 或 \rightarrow 键进行手动校正时请选择“手动”。

当梯形底边比上边长时 \square ：设为较小值。

当梯形上边比底边长时 \square ：设为较大值。

注意

根据房间的温度或屏幕的角度不同，自动垂直梯形失真校正可能无法完全校正梯形失真。

翻转图像

水平和/或垂直翻转屏幕上的图像。

关：图像无法翻转。

HV：水平和垂直翻转图像。

H：水平翻转图像。

V：垂直翻转图像。

注意

当图像翻转被设至“HV”或“V”时，投影机用“标准”设定工作。

背景

选择当无信号被输入至投影机时的，屏幕背景色彩。 选择黑或蓝。 通常设为“蓝”。

摄影灯模式

在投影中设定投影灯亮度。

高位：明亮的照亮所投影的图像。

标准：减少风扇噪音和耗电。 所投影图像的亮度相对于“高位”设定时要低。

高海拔高度模式

关：在正常海拔地区使用投影机时，请使用此设定。

开：在海拔 1,500 m 或更高的地区使用投影机时，请使用此设定。

安全锁

打开投影机的安全锁功能。

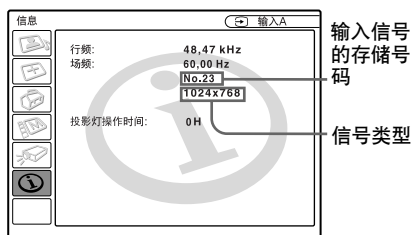
关：关闭安全锁功能。

开：打开安全锁功能，一旦密码被设定，投影机将被锁定。

有关细节，请参阅第 25 页上的“若要使用安全锁”。

信息菜单

信息菜单显示输入信号的水平和垂直频率以及投影灯泡已用的时间。



菜单项目

行频

显示输入信号的水平频率。
所显示的值是约数。

场频

显示输入信号的垂直频率。
所显示的值是约数。

投影灯操作时间

显示投影灯泡已使用的时间。

注意

这些仅显示在屏幕上。您不能改变显示。

维修保养

更换投影灯泡

在下述情况下，请更换投影灯泡：

- 投影灯泡烧坏或变暗
- 显示“请更换灯泡”信息。
- LAMP/COVER 指示灯点亮。

投影灯泡的使用寿命依使用状况而异。请用新的 LMP-C150 投影灯泡进行更换。

使用投影机后更换投影灯泡时

关闭投影机电源，然后拔下电源线。

请至少等 1 小时待灯泡冷却。

注意

用 I / 键关闭投影机电源之后投影灯泡还会很烫。如果此时触摸灯泡，会烫伤手指。更换投影灯泡时，请至少等 1 小时待灯泡冷却。

注意

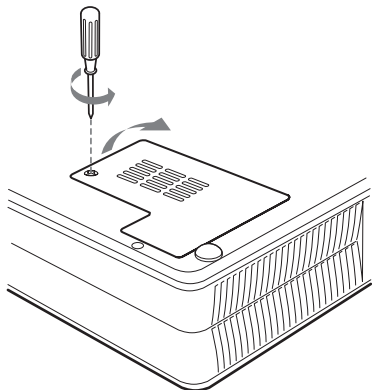
- 如果投影灯泡损坏，请向 Sony 公司专业技术人员咨询。
- 抓住把手将投影灯泡拉出。如果此时触摸灯泡，可能会被烫伤。
- 在取下灯泡时，请务必使之保持水平，然后直着拉出。不要倾斜投影灯泡。如果在倾斜时和灯泡损坏时拉出灯泡，碎片可能散落并导致伤害。

- 1 将保护纸（布）垫在投影机下。将投影机翻倒以便能看到底面。

注意

翻转投影机之后，务必使之平稳。

- 2 用 Phillips 十字螺丝刀（附带于投影灯）拧松螺丝，打开投影灯盖板。



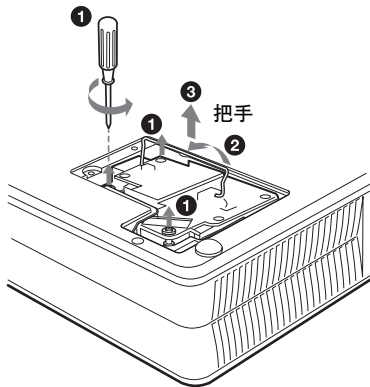
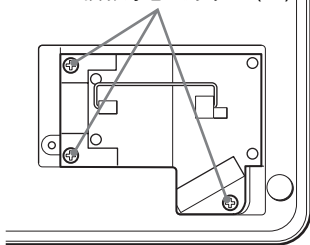
注意

为安全起见，请勿拧松任何其他螺丝。

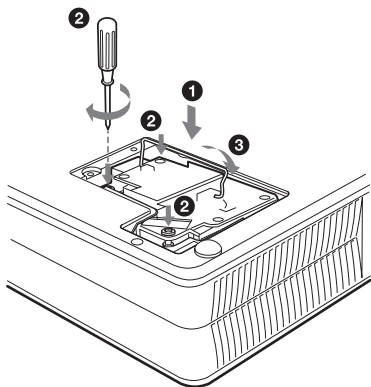
- 3 用 Phillips 十字螺丝刀拧松投影灯泡上的三个螺丝。抓住把手将投影灯泡装置拉出。

底部

投影灯泡上的螺丝（3）



- 4 将新投影灯泡完全插入，使其固定到位。拧紧螺丝。折回把手。



注意

- 小心不要碰到投影灯的玻璃面。
- 如果投影灯泡未装好，将无法接通电源。

- 5 关上投影灯盖板，拧紧螺丝。
- 6 将投影机翻转过来。
- 7 连接电源线。环绕 I/⏻ 键的指示灯点亮呈红色。
- 8 以下列顺序按遥控器上的下列键，按每个键的时间不要超过 5 秒钟：RESET, ←, →, ENTER。

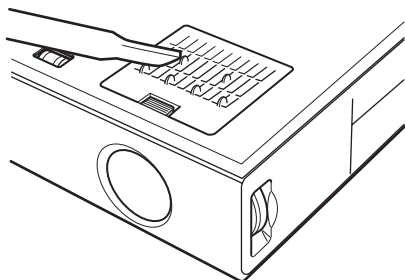
注意

- 请务必用 LMP-C150 投影灯泡进行更换。如果使用 LMP-C150 投影灯泡之外的投影灯泡，投影机可能发生故障。
- 在更换投影灯泡前，请务必关闭投影机电源并拔下电源线。
- 请勿将手指放入投影灯泡更换处，也不要让任何液体或物体落入以免发生触电或火灾。

清洁空气滤网

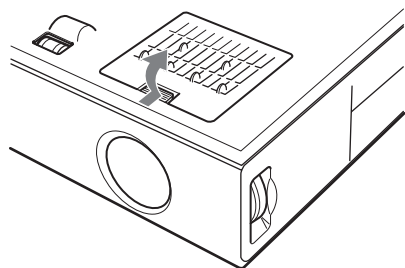
空气滤网应每过 300 小时即清洁一次。

请用真空吸尘器从通风孔外面清除灰尘。

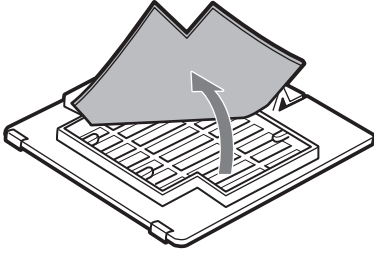


当滤网上的积尘变得难以用真空吸尘器除去时，请取下空气滤网清洗。

- 1 关闭电源并拔出电源线插头。
- 2 将保护纸（布）垫在投影机下，将投影机翻倒。
- 3 拆下空气滤网盖板。



4 卸下空气滤网。



5 用中性清洁剂溶液清洗空气滤网并在阴凉处凉干。

6 装上空气滤网并将盖板复位。

注意

- 如果忽视清洁空气滤网，将会导致灰尘集聚。从而内部聚热，以致引发机器的故障或火灾。
- 如果积尘无法从空气滤网去除，请用随机附带的新空气滤网更换。
- 请务必牢固安装空气滤网盖板，若闭合不牢，则无法接通电源。
- 空气滤网有正面和反面。安装时，请将其安装在空气滤网盖板上的槽口内。

故障排除

如果投影机工作失常，请参照下列指示进行检查并解决问题。如果问题得不到解决，请向 Sony 公司的专业技术人员咨询。

电源

症状	原因和对策
电源接不通。	<ul style="list-style-type: none">• 在很短的时间间隔内用 I/⏻ 键关闭和接通电源。 → 等 90 秒种左右再接通电源（请参阅第 27 页）。• 投影灯盖板脱落。 → 关严投影灯盖板（请参阅第 39 页）。• 空气滤网盖板脱落。 → 关严空气滤网盖板（请参阅第 40 页）。
LAMP/COVER 和 TEMP/FAN 指示灯都点亮。	<ul style="list-style-type: none">• 电气系统损坏。 → 请向 Sony 公司专业技术人员咨询。
动力倾斜度调节器和透镜保护器不能关闭。	<ul style="list-style-type: none">• 在投影机的电源接通时，交流电源线被拔下。 → 再次连接电源线插头到交流电源插孔，然后关闭投影机电源。
动力倾斜度调节器和透镜保护器不能工作。	<ul style="list-style-type: none">• 电气系统损坏。 → 请向 Sony 公司专业技术人员咨询。若在紧急情况下必须使用投影机，请于紧急模式下使用本机。（请参阅第 46 页）。

图像

症状	原因和对策
无图像。	<ul style="list-style-type: none">• 电缆脱落或接线错误。 → 检查接线是否正确（请参阅第 16 页）。• 输入选择不正确。 → 用 INPUT 键正确选择输入源。（请参阅第 23 页）。• 图像被减弱色调。 → 按 PIC MUTING（图像减弱）键以解除图像的减弱（请参阅第 24 页）。• 电脑的信号未被设定为向外接显示器输出或电脑的信号被同时设定为向电脑的外接显示器和液晶显示屏输出。 → 将电脑的信号设定为仅向外接显示器输出。（请参阅第 16 页）。
图像有杂纹。	<ul style="list-style-type: none">• 根据从连接器输入的点数与液晶显示面板的像素数的组合情况，背景上可能出现杂纹。 → 改变所连接电脑的桌面图案。
来自 INPUT A 连接器的图像色彩异常。	<ul style="list-style-type: none">• 操作设定菜单中“输入 A 信号选择”项目的设定不正确。 → 根据输入信号正确选择“电脑”，“视频信号输入 GBR”或“分量信号”（请参阅第 36 页）。
尽管从 INPUT A 输入了正确的信号，“请确认输入 A 设定”信息仍出现。	<ul style="list-style-type: none">• 操作设定菜单中“输入 A 信号选择”项目的设定不正确。 → 根据输入信号正确选择“电脑”，“视频信号输入 GBR”或“分量信号”（请参阅第 36 页）。

症状	原因和对策
屏幕显示画面不出现。	<ul style="list-style-type: none"> • 菜单设定菜单中的“状态”项目被设定为“关”。 → 将菜单设定菜单中的“状态”项目被设定为“开”（请参阅第 36 页）。
彩色平衡不正确。	<ul style="list-style-type: none"> • 图像未调整好。 → 调整图像（请参阅第 32 页）。 • 投影机的彩色制式设定有误。 → 对照输入的彩色制式设定操作设定菜单中的“彩色制式”项目（请参阅第 36 页）。
图像太暗。	<ul style="list-style-type: none"> • 对比度或亮度未调整好。 → 调整好“调整图像...”菜单中的对比度或亮度（请参阅第 32 页）。 • 投影灯泡已烧坏或发暗。 → 换上新投影灯泡（请参阅第 39 页）。
图像不清晰。	<ul style="list-style-type: none"> • 图像焦点未对准。 → 调整焦距（请参阅第 23 页）。 • 镜头上有结露。 → 接通投影机电源约两小时。
图像超出屏幕。	<ul style="list-style-type: none"> • 在图像四周有黑边，但按了 APA 键。 → 在屏幕上显示完整的图像，然后按 APA 键。 → 调整好输入设定菜单中的“移位”项目（请参阅第 33 页）。
图像闪烁。	<ul style="list-style-type: none"> • 输入设定菜单中的“点相位”项目未调整好。 → 调整好输入设定菜单中的“点相位”项目（请参阅第 34 页）。

声音

症状	原因和对策
无声音。	<ul style="list-style-type: none"> • 电缆脱落或接线错误。 → 检查接线是否正确（请参阅第 16 页）。 • 音频连接电缆不正确。 → 使用了无阻抗的立体声音频电缆（请参阅第 17 页）。 • 声音未被调整好。 → 调整声音（请参阅第 24 页）。

遥控器

症状	原因和对策
遥控器不运作。	<ul style="list-style-type: none">• 遥控器电池已用完。 → 换上新电池（请参阅第 13 和 14 页）。

其他

症状	原因和对策
LAMP/COVER 指示灯闪烁。	<ul style="list-style-type: none">• 投影灯盖板或空气滤网盖板脱落。 → 装严盖板（请参阅第 39 和 41 页）。• 由于故障，透镜保护器无法打开。 → 请向 Sony 公司专业技术人员咨询。若在紧急情况下必须使用投影机，请于紧急模式下使用本机，（请参阅第 46 页）。
LAMP/COVER 指示灯点亮。	<ul style="list-style-type: none">• 投影灯泡寿命已到。 → 换上投影灯泡（请参阅第 39 页）。• 投影灯泡高温。 → 等 90 秒种使灯泡冷却，然后再重新接通电源（请参阅第 27 页）。
TEMP/FAN 指示灯闪烁。	<ul style="list-style-type: none">• 风扇损坏了。 → 请向 Sony 公司专业技术人员咨询。
TEMP/FAN 指示灯点亮。	<ul style="list-style-type: none">• 内部温度异常高。 → 检查是否有物体堵塞住通风孔。
LAMP/COVER 和 TEMP/FAN 指示灯都点亮。	<ul style="list-style-type: none">• 电气系统损坏。 → 请向 Sony 公司专业技术人员咨询。

警告信息

请参照下表查看屏幕显示信息的含义。

信息	含义和对策
操作温度过高！ 将在 1 分钟之后关灯。	<ul style="list-style-type: none">• 内部温度过高。 → 关闭电源。 → 检查是否有物体堵塞住通风孔。
频率在接收范围之外！	<ul style="list-style-type: none">• 由于此输入信号的频率超出了投影机的接收范围，故其无法被投影。 → 输入频率范围内的信号。• 电脑输出信号的分辨率设定得过高。 → 将该输出值设定为 XGA（VPL-CX6/EX1 机型）或 SVGA（VPL-CS6 机型）（请参阅第 16 页）。
请确认输入 A 设定。	<ul style="list-style-type: none">• 在操作设定菜单中的“输入 A 信号选择”被设定为“分量信号”时，从电脑输入了 RGB 信号。 → 正确设定“输入 A 信号选择”（请参阅第 36 页）。
请更换灯泡。	<ul style="list-style-type: none">• 该是更换投影灯泡的时间了。 → 更换投影灯泡。

提示信息

请参照下表查看屏幕显示信息的含义。

信息	含义和对策
不适用!	<ul style="list-style-type: none">• 按错了键。 → 按适当的键。



关于紧急模式

在运行下列程序之前，使用在“故障排除”（42页）中所描述的说明设法诊断故障。如果故障持续，请阅读并完全按照以下程序进行。

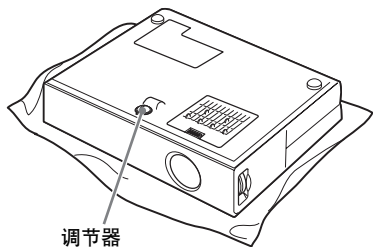
对于透镜保护器和动力倾斜度调节器，投影机装备有紧急模式。如果动力功能不起作用时，您可以手动操作透镜保护器和倾斜度调节器（紧急模式）。

注意

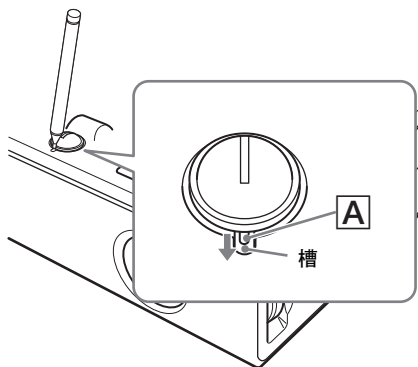
仅仅在紧急情况下操作此程序。若操作此程序，您还无法自己恢复动力功能。在紧急模式下使用投影机后，请立即与 Sony 公司的专业技术人员咨询。

要切换到紧急模式，请按照下列步骤进行。

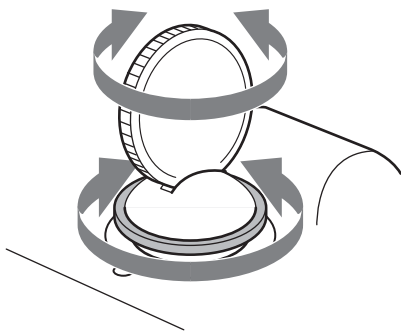
- 1 将保护纸（布）垫在投影机下。将投影机翻倒以便能看到底面。



- 2 用原子笔的尖。按照箭头方向滑动调节器前方槽中切换开关 A。（朝向投影机前面面板）。
透镜保护器和倾斜度调节器被切换到紧急模式。



- 3 当打开/关闭透镜保护器时，用一个硬币转动调节器凹槽。
当透镜保护器保持打开状态，或倾斜度调节器被伸出时，请逆时针转动凹槽（按箭头方向）。



规格

光学特性

投影系统	3 块液晶显示板、1 个透镜、投影系统
液晶显示板	VPL-CS6 机型：超高孔径的 0.7 英寸 SVGA 显示板，1,440,000 像素 (480,000 像素 × 3) VPL-CX6/EX1：超高孔径的 0.7 英寸带微透镜阵列的 XGA 显示板，约 2,360,000 像素 (786,342 像素 × 3)
透镜	1.2 倍变焦镜头（手动） VPL-CS6/CX6：f23.0 至 27.6 mm/F1.8 至 2.1 VPL-EX1：f28.2 至 33.8 mm/F1.8 至 2.15
投影灯	165 W UHP
投影图像尺寸	范围：40 至 150 英寸（对角线测量）
光输出	VPL-CS6 机型：ANSI 流明 ¹⁾ 1800 lm VPL-CX6 机型：ANSI 流明 ¹⁾ 2000 lm VPL-EX1：ANSI 流明 ¹⁾ 1500 lm（当投影机模式设为“高位”时）
投影距离（当放置于地板上时）	输入 XGA 信号时 VPL-CS6/CX6： 40 英寸：1.2 至 1.5 m 60 英寸：1.9 至 2.3 m 80 英寸：2.5 至 3.0 m 100 英寸：3.2 至 3.8 m 120 英寸：3.8 至 4.6 m 150 英寸：4.7 至 5.7 m VPL-EX1： 40 英寸：1.5 至 1.9 m 60 英寸：2.3 至 2.9 m 80 英寸：3.1 至 3.8 m 100 英寸：3.9 至 4.8 m 120 英寸：4.7 至 5.7 m 150 英寸：5.9 至 7.2 m

在实际值和以上所显示的设计值之间可能有微小的差别。

1) ANSI 流明是美国国家标准 IT 7.228 定义的一种测量方法。

（该亮度值为工厂出厂时的典型值；亮度设定为 100% 时）

电气特性

彩色制式	NTSC3.58/PAL/SECAM/NTSC4.43/PAL-M/PAL-N 制式；自动/手动转换
分辨率	VPL-CS6：600 行电视线（视频输入） 800 × 600 点（RGB 输入） VPL-CX6/EX1：750 行电视线（视频输入） 1024 × 768 点（RGB 输入）
可接收的电脑信号	VPL-CS6： 行频：19 至 72 kHz 场频：48 至 92 Hz VPL-CX6/EX1： 行频：19 至 92 kHz 场频：48 至 92 Hz （最大输入信号分辨率：XGA 1024 × 768 场频：85 Hz（VPL-CS6 机型），SXGA+ 1400 × 1050 场频：60 Hz（VPL-CX6/EX1 机型）
1) 在投影机可接收预设信号范围内，设定所连接电脑的信号的分辨率和频率。	
适用的视频信号	15 kHz RGB / 分量 50/60 Hz， 复合视频，S 视频
扬声器	单声道扬声器系统，40 × 20 mm，最大 1 W

输入/输出

视频输入	VIDEO：屏蔽型 复合视频 1 V _{p-p} ± 2 dB 负同步（75 Ω 终端） S VIDEO：Y/C 微型 DIN 4 芯型（雄） Y（亮度）：1 V _{p-p} ± 2 dB 负同步（75 Ω 终端） C（色度）：彩色同步 0.286 V _{p-p} ± 2 dB（NTSC）（75 Ω 终端） 彩色同步 0.3 V _{p-p} ± 2 dB（PAL）（75 Ω 终端）
INPUT A	HD D 副 15 芯（雌） 模拟 RGB / 分量 R/R-Y：0.7 V _{p-p} ± 2 dB（75 Ω 终端）

G: 0.7 V_{p-p} ± 2 dB
 (75 Ω 终端)
 带同步信号 G/Y: 1 V_{p-p}
 ± 2 dB 负同步
 (75 Ω 终端)
 B/B-Y: 0.7 V_{p-p} ± 2 dB
 (75 Ω 终端)
 SYNC/HD:
 复合同步输入: 1-5 V_{p-p}
 高阻抗, 正/负极性
 行同步输入: 1-5 V_{p-p}
 高阻抗, 正/负极性
 VD:
 场同步输入: 1-5 V_{p-p}
 高阻抗, 正/负极性

AUDIO 立体声微型插孔
 500 mVrms, 阻抗大于 47 k Ω

USB 上游 (插座) × 1

Memory Stick 槽
 × 1 (仅限于 VPL-CX6 机型)

安全规范 UL60950、cUL (CSA No.
 60950)、FCC B 类、IC B 类、
 NEMKO (EN60950)、CE
 (LVD、EMC)、C-Tick

交流电源线 (1)
 空气滤网 (更换用) (1)
 使用说明书 (1)
 简易说明书 (1)
 安全标签 (1)

设计和规格如有变更, 恕不另行通知。

选购附件

投影灯泡 LMC-C150 (更换用)
 信号电缆 SMF-402 (HD D 副 15 芯 (雄)
 ↔ 3 × 屏蔽型 (雄))
 屏幕 50 英寸便携式屏幕 VPS-50C¹⁾

有些物品在某些地区可能买不到。详细情况
 请就近向 Sony 办事处咨询。

1) VPS-50C 在某些地区可能买不到。详细情
 况请就近向 Sony 办事处咨询。

一般

尺寸 285 × 68 × 228 mm (宽/高/
 深) (不包含凸出部分)

重量 约 2.7 kg

电源 交流 100 至 240 V, 50/60 Hz
 功耗 最大 240 W
 (待机状态:
 VPL-CS6/EX1: 5 W
 VPL-CX6 机型: 7 W)

热耗 819 BTU

工作温度 0 至 35°C

工作湿度 35 至 85% (无结露)

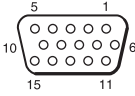
保存温度 -20°C 至 60°C

保存湿度 10 至 90%

随机附件 遥控器 (1)
 AA 尺寸 (R6) 电池 (2)
 (仅限于 VPL-CS6/CX6 机型)
 锂电池 CR2025 (1)
 (仅限于 VPL-EX1 机型)
 HD D 副 15 芯电缆 (2 m) (1)
 (1-791-992-21)
 USB 电缆 A 型-B 型 (1)
 (1-790-081-31)
 (仅限于 VPL-CS6/CX6 机型)
 CD-ROM (应用软件)
 (仅限于 VPL-CX6 机型)
 (1)
 软包 (1)

管脚配制

INPUT A 连接器 (HD D 副 15 芯、雌)



1	R/R-Y	9	N.C.
2	G/Y	10	GND
3	B/B-Y	11	GND
4	GND	12	DDC/SDA
5	GND	13	HD/C.Sync
6	GND (R)	14	VD
7	GND (G)	15	DDC/SCL
8	GND (B)		

输入信号和可调整/设定项目

调整图像... 菜单

项目	输入信号				
	视频或 S 视频 (Y/C)	分量	视频 GBR	电脑	B&W
对比度	●	●	●	●	●
亮度	●	●	●	●	●
色彩	●	●	●	-	-
色调	● (仅限于 NTSC 3.58/4.43)	-	-	-	-
锐度	●	●	●	-	●
增强 RGB	-	-	-	●	-
伽玛模式	-	-	●	●	-
色温	●	●	●	●	●
音量	●	●	●	●	●

● : 可调整/可设定

- : 不可调整/不可设定

输入设定菜单

项目	输入信号				
	视频或 S 视频 (Y/C)	分量	视频 GBR	电脑	B&W
点相位	-	-	-	●	-
尺寸 H	-	-	-	●	-
移位	-	-	-	●	-
扫描转换器	-	-	-	● (VPL- CS6: 低于 VGA, VPL- CX6/EX1: 低于 SVGA)	-
宽模式	●	●	●	-	●

● : 可调整/可设定

- : 不可调整/不可设定

海
尔

预设信号

存储号码	预设信号		行频 (kHz)	场频 (Hz)	同步	尺寸
1	视频 60 Hz		15.734	59.940		
2	视频 50 Hz		15.625	50.000		
3	15k RGB /分量 60 Hz		15.734	59.940	G/Y 同步或 复合同步	
4	15k RGB /分量 50 Hz		15.625	50.000	G/Y 同步或 复合同步	
6	640 × 350	VGA 模式 1	31.469	70.086	H-pos, V-neg	800
7		VGA VESA 85 Hz	37.861	85.080	H-pos, V-neg	832
8	640 × 400	PC-9801 常规	24.823	56.416	H-neg, V-neg	848
9		VGA 模式 2	31.469	70.086	H-neg, V-pos	800
10		VGA VESA 85 Hz	37.861	85.080	H-neg, V-pos	832
11	640 × 480	VGA 模式 3	31.469	59.940	H-neg, V-neg	800
12		Macintosh 13"	35.000	66.667	H-neg, V-neg	864
13		VGA VESA 72 Hz	37.861	72.809	H-neg, V-neg	832
14		VGA VESA 75 Hz	37.500	75.000	H-neg, V-neg	840
15		VGA VESA 85 Hz	43.269	85.008	H-neg, V-neg	832
16	800 × 600	SVGA VESA 56 Hz	35.156	56.250	H-pos, V-pos	1024
17		SVGA VESA 60 Hz	37.879	60.317	H-pos, V-pos	1056
18		SVGA VESA 72 Hz	48.077	72.188	H-pos, V-pos	1040
19		SVGA VESA 75 Hz	46.875	75.000	H-pos, V-pos	1056
20		SVGA VESA 85 Hz	53.674	85.061	H-pos, V-pos	1048
21	832 × 624	Macintosh 16"	49.724	74.550	H-neg, V-neg	1152
22*	1024 × 768	XGA VESA 43 Hz	35.524	86.958	H-pos, V-pos	1264
23		XGA VESA 60 Hz	48.363	60.004	H-neg, V-neg	1344
24		XGA VESA 70 Hz	56.476	69.955	H-neg, V-neg	1328
25		XGA VESA 75 Hz	60.023	75.029	H-pos, V-pos	1312
26		XGA VESA 85 Hz	68.677	84.997	H-pos, V-pos	1376
27	1152 × 864	SXGA VESA 70 Hz	63.995	70.019	H-pos, V-pos	1472
28		SXGA VESA 75 Hz	67.500	75.000	H-pos, V-pos	1600
29		SXGA VESA 85 Hz	77.487	85.057	H-pos, V-pos	1568
30	1152 × 900	Sunmicro L0	61.795	65.960	H-neg, V-neg	1504
31		Sunmicro HI	71.713	76.047	复合同步	1472
32	1280 × 960	SXGA VESA 60 Hz	60.000	60.000	H-pos, V-pos	1800
33		SXGA VESA 75 Hz	75.000	75.000	H-pos, V-pos	1728

存储号码	预设信号		行频 (kHz)	场频 (Hz)	同步	尺寸
34*	1280 × 1024	SXGA VESA 43 Hz	46.433	86.872	H-pos, V-pos	1696
35		SGI-5	53.316	50.062	复合同步	1680
36		SXGA VESA 60 Hz	63.974	60.013	H-pos, V-pos	1696
37		SXGA VESA 75 Hz	79.976	75.025	H-pos, V-pos	1688
38		SXGA VESA 85 Hz	91.146	85.024	H-pos, V-pos	1296
52	1400 × 1050	SXGA+ 60 Hz	63.981	60.020	H-pos, V-pos	1685

存储第 1 至 26 号 (VPL-CS6 机型)

存储第 1 至 38 号, 第 52 号 (VPL-CX6/EX1 机型)

注意

- 当输入上述预设信号以外的信号时, 图像可能不正常。
- 存储第 22 号和 34 号显示交替信号。
- 当输入 SXGA+ 信号时, 图像可能会延伸出屏幕。在此情况下, 输入图像周围没有黑边框的信号, 并且断开然后重新连接电缆, 或通过按 INPUT 键选择输入信号。

电源连接警告

当您在本地使用投影机时, 请使用随机附带的电源线。否则, 请使用符合下列规格的适合的电源线。

	美国、 加拿大	欧共体、 朝鲜	英国	澳大利亚	日本
插头类型	YP-11	YP-21	SP-61	B8	YP-13
阴性端子	YC-13L	YC-13L	YC-13L	C7-2	YC-13L
电线类型	SPT-2	H03VVH2-F	H03VVH2-F	H03VVH2-F	VCTFK
额定电压和电流	10A/125V	2.5A/250V	2.5A/250V	2.5A/250V	7A/125V
安全合格标准	UL/CSA	VDE	BS	SAA	DENAN
电线长 (最大)	4.5 m	—	—	—	—

索引

I

INPUT A (输入 A) 连接器 10
管脚配制 49

U

USB 连接器 17

Z

安全锁 37
安装实例 15
 不当安装 5
 不适环境 5
 注意 5
背景 37
彩色制式 36
菜单
 安装设定菜单 37
 菜单设定 36
 操作设定菜单 35
 取消菜单显示 31
 使用菜单 30
 输入设定菜单 33
 图像设置菜单 32
 信息菜单 38
菜单位置 36
菜单颜色 36
操作设定菜单 35
场频 38
尺寸 H 34
垂直梯形失真校正 37
点相位 34
电源
 接通 22
调整
 设定值的存储 31
 图像 32
 图像尺寸/移位 34
动力倾斜度调节器 9
对比度 32
翻转图像 37
复原
 恢复项目 31
 可复原的项目 31
高海拔模式 37
故障排除 42
管脚配制 49

规格 47
节电 10, 36
空气滤网 40
控制器的位置和功能
 后面/右侧/底面 8
 控制面板 10
 连接器面板 10
 上面/前面/左侧 8
 遥控器 11
宽模式 33
连接
 电脑 16
 分量装置 18
 录像机 18
亮度 32
屏幕尺寸 15, 47
启动屏幕 22
倾斜度 37
锐度 32
扫描转换器 34
色彩 32
色调 32
色温 33
摄影灯模式 37
使用前须知 4
输入 A 信号选择 36
数字变焦功能 28
随机附件 48
通风孔
 进气 9
投影灯操作时间 38
投影灯泡的更换 39
透镜保护器 8
图像模式 32
信息
 警告 44
 提醒 45
行频 38
选购附件 48
遥控检测器
 后方 8
 前面 8
遥控器 11, 13
 控制器的位置和功能
 11, 13
移位 34
音量 32
有关照明 36
语言
 选择菜单语言 20
增强 RGB 33
智能 APA 35
状态 36

自动输入搜索 35
伽玛模式 33
锂电池 13

製品ご相談窓口のご案内

【プロジェクターの技術相談窓口】

テクニカルインフォメーションセンター

電話番号：053-577-3861

（電話のおかけ間違いにご注意下さい）

受付時間：月～金曜日 午前9時～午後8時

土日、祝日 午前9時～午後5時

製品の品質には万全を期しておりますが、万一本機のご使用中に、正常に動作しないなどの不具合が生じた場合は、上記の『テクニカルインフォメーションセンター』までご連絡下さい。修理に関する御案内をさせていただきます。

<http://www.sony.net/>



この説明書は100%古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

キャビネットにハロゲン系難燃剤を不使用

はんだ付けに無鉛はんだ使用

包装用緩衝材から発泡スチロールを全廃

Printed on recycled paper

Sony Corporation Printed in Japan ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35